

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-41)、
廃棄物管理施設(17)、MOX燃料加工施設(2-11))」

2. 日時：令和5年3月15日(水) 10時00分～10時40分
13時15分～17時30分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、岸野主任安全審査官、田尻主任
安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、大岡安全審
査官、上出安全審査官、瀬戸川安全審査専門職、高梨安全審査専門職、
清水係員

日本原燃株式会社 再処理事業部 事業部付部長(設工認・耐震)他27名

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子燃料部門

原燃計画グループリーダー

東北電力株式会社 原子力部 原子力技術 担当

電源開発株式会社 原子力技術部 原子燃料室 上席課長

三菱重工業株式会社 原子力セグメント プラント設計部

総合配置計画課 主任

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和5年3月13日
「日本原燃(株)再処理施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和5年3月14日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	を開始しました。
0:00:03	規制庁清水です。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:08	本日のヒアリングは令和4年12月26日と、令和5年2月28日に申請があった再処理廃棄物管理も、
0:00:18	普通の設工認申請についてヒアリングにて事実確認を行うものになります。
0:00:24	あと規制庁側の出席者を紹介いたしますと本庁会議室からコサク、
0:00:31	オオハシタカナシフジワラタジリカミデキシノシミズ。
0:00:37	いや、その他WEBから濱崎大庭セトガワ、タケダ以上になります。
0:00:45	それで日本原燃の方から出席者の紹介とそれぞれの役割について説明の上、本日の説明項目について、
0:00:53	ご質問お願いします。
0:00:57	はい。日本原燃事務局の中浜です。
0:01:01	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:01:05	まず、事務局ですけど再処理からサトウタカハシセガワ。
0:01:12	フジノナカハマ。
0:01:14	ボックス側から、タニグチイシハラ。
0:01:17	担当者ですけれども共通住民関係でシミズ、SA関係でホリグチ、
0:01:24	外相取りまとめ関係でエビナ、
0:01:27	耐震関係で、ミヤモト、
0:01:30	イナズマ、ホシノ、
0:01:33	以上となります。
0:01:36	本日ですけれどもご確認いただきますと今日認識合わせさせていただきたい案件としましてはまず共通人員関係から、何かありましたらお願いいたします。
0:01:52	はい、日本原電シミズです。
0:01:55	江藤共通中につきましては、関係につきましては昨日、資料の方、出させていただいておりますので、そちらの内容について今後のヒアリングでご説明させていただきたいと思っています。
0:02:08	あとですね、昨日いただいた

0:02:11	耐震関係の進め方の方はですね今ちょっと社内で関係者で今ちょっとまだすり合わせている状況でございます。
0:02:21	今日の午前ももう一度ちょっとすり合わせの方をちょっと進めまして、今後ちょっとどういうことを今検討してるのかっていうのをご説明できるようにしたいというふうに考えております。
0:02:40	はい。
0:02:41	藤共通 12 関係は以上でよろしいですか、一応規制庁側から。
0:02:47	確認でございますでしょうか。
0:02:52	共通中には後で詳細確認することとなるので、よろしくお願いします。
0:02:59	それでは続いて原燃側から説明をお願いします。
0:03:09	日本原燃の堀口です。S A のスケジュールに関して、一つ見直しが発生しているところがありますので説明させていただきます。
0:03:20	今週の金曜日に 8 号取り込み拒否、午前中ヒアリングをしましてその、
0:03:26	ほぼ 2 アボじゃない幅を金曜日に提出ということでスケジュールを置いておりました昨日提示しているところです。No.63 と。
0:03:36	ナンバーの、
0:03:40	66 の、
0:03:41	この取り込みの部分なんですけど、今、先行条文に倣って資料を作ってそれでレビューレビューをしてる最中なんですけれども、そのレビューの中でやっぱり横並びっていう観点で 8 号の取り込みの部分はいいんですけども、
0:03:54	これで全体を、完成版ですっていう形で見いただく際に、ちょっとまだ米とじゃないような記載のばらつきがあるということで、
0:04:05	もう一度しっかりと作業会のような形で横並びをはかって出したいと思ってますのでちょっと 17 に、今、資格提出を置いてる部分に関してはちょっと見直しをさせてください。そして、今、
0:04:20	その分ちょっとす、来週の部分に関しても、ちょっと見直しをしますので、放ってっと連絡をいたしますちょっと提出スケジュール修正いたします。はい。
0:04:33	以上です。
0:04:35	はい。規制庁清水です。清関係について規制庁側から確認でございますでしょうか。規制庁高橋です。ちょっと今の今の点、確認ですけれども、

0:04:46	昨日出されたスケジュールの今遅れていた 63 の方ですかそれとも 66.65 ですか。
0:04:54	すいません 63 と 66 両方になりますとして、その部分で、そうですね正確にお伝えしました 63 と 66 に関してまず遅れ、
0:05:06	遅れます。そして、今日のヒアリングのコメントし、しないで今、22 日に、十時 17 も全条文全部出すっていうふうな形で 17 から 22 のいずれかに提出っていうところも、
0:05:19	横並びの観点でいうと、ここも、
0:05:22	今日のコメント次第では難しいかもしれないでここも全般的にちょっと見直しで、す、なんていうんすかね。
0:05:30	リアルリアルスケジュールやるスケジュールっていう話できたところから出せるようにはスケジュールを置きますが実際に現実的により現実的なスケジュールにちょっと見直させてください。
0:05:43	以上です。
0:05:44	はい。規制庁高梨です。今日のヒアリングを踏まえて明日の朝会なりでまた改めてスケジュール提示ということかと思しますのでよろしくお願ひします。
0:05:53	以上です。
0:05:54	規制庁の藤原です。先ほど 00 資料のところ 8 の取り組みだけじゃなくていろいろと横同士がっていう話だったんですけどそれは、この後のヒアリングで、
0:06:05	その点も、こういったところにばらつきがあるっていうような説明いただけたらと思っていいですか。
0:06:20	はい、日本原燃のホリグチですはいその部分も、
0:06:24	見えているところで説明させていただきたいと思います。以上です。
0:06:29	お願いします。私からは以上です。
0:06:32	はい。
0:06:33	藤規制庁シミズでしょうか規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:06:39	よろしければ続いて次の説明原燃側からお願いします。
0:06:48	はい日本原燃の藤野です。今、いろいろスケジュールのお話出てましたが、昨日の耐震関係のヒアリングでのコメント等も踏まえてですね、資金の採用スケジュールそれから

0:06:59	今日MOXの詳細スケジュールの方も合流させる予定ですので、そちらのスケジュールを提出してまた明日の朝、ご説明させていただければなど。
0:07:08	スケジュール関係を持っていましたので、よろしく願いいたします。以上です。
0:07:16	はい。規制庁清水です。
0:07:20	今の説明はあれですかね、共通12とSA以外はすべてまとめて今日の覆砂スケジュールで明日話したいっていう説明だったってことですかね。
0:07:32	日本原燃の藤尾です。はい、そうですね溢水薬品関係も今、江尻ちょっと言ってるところもございますので、昨日のヒアリングまいてそれぞれ項目ですね、重点的に説明している条文の項目について、
0:07:44	見直しかけて提出したいと思っていました。
0:07:48	はい。規制庁清水です。溢水と薬品関係に話。
0:07:53	話が出たのでちょっと確認なんですけど、ちょっと今日資料提出で明日コメントリストで、
0:08:00	ヒアリングっていう話も聞き、
0:08:04	だったと思うんですけども、今日ってどう、どの内容を出そうとしてるかかって説明いただけますでしょうか。
0:08:13	はい。日本原燃篠崎です。本日、資料として最もと思っておりますのは、コメント対応方針の中6に該当するところがございますが、
0:08:25	イスイ全般で、どんな表を目的で添付書類の説明資料につけますかといった全員を示したような資料を、
0:08:36	提示させていただこうと思っております。
0:08:38	こちらの、もともと内部火災側でも同じコメントをいただいてまして、それと連携してということ、いただきますので、参考で内部火災の
0:08:50	同じような整理表を意識付けさせていただく予定です。目的としましては、
0:08:55	まだ1点、補足説明資料とか出せてございませんので、申請書全般でどこにどんな情報が出てくるのか、お示しできてませんので、
0:09:08	過不足がですね、或いはこのずっとわかりづらいとかそういったところを、早めに共有させていただきたいといったところが目的でございました。以上です。

0:09:20	はい。規制庁清水です。以前、葛西のヒアリングとかで、多分いろんなところに多様な図があって情報が、
0:09:30	いろんなところであって、わかりにくいところも急いでも展開って話があった内容かと思うのでまた資料確認して明日のヒアリングでお話できればと思います。
0:09:43	ほかスケジュール関係で規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:09:51	よろしければ原燃側から本日の朝のヒアリングでの説明項目としてはありますでしょうか。
0:10:01	日本原燃野瀬です。本日は特にございません。
0:10:06	はい。
0:10:07	それではこれで朝のヒアリングを終了したいと思います。
0:10:13	続いてはS Aのヒアリングになると思うんですけども原燃側出席者の入れ替えとかの時間必要でしょうか。
0:10:22	はい。日本原燃事務局中浜です。はい。ちょっとす。そうですね。
0:10:27	5分程度お時間いただければと思います。よろしく申し上げます。はい、わかりました。では十時15分再開でとします。
0:10:37	一旦録音停止します。
0:00:00	そこを開始しました。
0:00:03	それではヒアリング再開いたします。今回の設工認及び事業部の申請については、令和5年12月13日と、順次提出のあった資料をもとにヒアリングを行うものになります。
0:00:16	まず規制庁側の出席者ですが、
0:00:21	規制庁の藤村です。本庁側です。もう最初の坂野土岐にやっているのでその辺はいいと思います。
0:00:27	すいません。それでは資料の説明に進みたいと思いますので、
0:00:32	日本原燃から
0:00:34	議題の構成と説明範囲と達成目標を説明してください。それではよろしく申し上げます。村長会議の藤村です。原燃側に多分出席者の変更があるかもしれない。
0:00:44	それはお伝え。
0:00:51	はい。日本原燃事務局中浜です。
0:00:54	はい。原燃側のす。
0:00:56	出席者紹介いたします。

0:00:59	重大事故関係の取りまとめで、ホリグチタマウチ。
0:01:05	計装関係で、オオシナ、燃料プール関係で、ハヤシアボタケウチ。
0:01:13	防災関係で、クドウ、
0:01:16	以上が参加者となります。事務局には特に変更ございません。
0:01:21	それではですね、本日の案件といたしましては、重大事故の6条文関係の00シリーズの別紙1ですね、こちらの八条取り組みについて、原さん。
0:01:35	すいません、十時17をですね、最初にご説明を差し上げたいと思います。
0:01:45	はい、ありがとうございます。それがですね、令和5年3月14日の資料で、
0:01:53	させていただきたいと思います。
0:01:55	規制庁コサクです。
0:01:57	カラーなんですけど、画像共有していると通信の負荷が高いみたいで、音声はその機械オンになり、抜けが生じるようになってしまっているの
0:02:13	画面共有なし、資料の何ページのところのってというようなことを発話いただきながら、対応したいと思いますのでよろしくお願いします。
0:02:26	日本原燃事務局の赤間です。はい、了解いたしました。画面協議なしで進めさせていただきたいと思います。
0:02:38	はい。日本原燃反町でございます。
0:02:41	それでは資料ですね、振り出しになりますけれども、ページでいきますと、まず5ページをお願いいたします。
0:02:49	はい。5ページにですね、今回示した資料の内容の概要を書いてございますので簡単に説明させていただきます。
0:02:57	まず今回の構成ですけど、第1表第2章と準備しまして、今回主に第1表ご説明させていただきたいと思ってます。
0:03:04	第1表は何かといいますと、文章のですね、2行目あたりから書いてございますが、重大事故等対処設備全体に係る共通的な設計方針を整理したもの。
0:03:14	ということで、今回はですね多様性知的分散と環境条件、この2例をですね、まずは骨格を示させていただいたと。

0:03:22	ということになります。第2号に関しましては、下の段落に書いてございますように、すでに申請させていただいた書類をですね比較できる形式で整理したもので、今後ちょっと役割に応じてですね、
0:03:35	記載の拡充を行っていく状態になっておりますので、こちらは現状こんなものかというところにつけた状態になってます。はい。そうしましたら早速第1表ということで説明させていただきたいと思いますが、
0:03:47	はい。すみませんちょっと1回入れます。日本原燃の瀬川です
0:03:52	今河内から多様性位置的分散と環境条件を示したと言っているところなんですけれども、これで足りてるとは全く思っていない、他にも操作性とかいろいろ観点があるのは承知しております。
0:04:07	実態としてちょっと作業量が結構多くてですね、まず、設計方針の中でも軸となる、この2観点について今回整理させていただいたという趣旨ですんで、
0:04:19	他、他の観点をやらないというわけではなくてそこ順次つぎ足していくという考えでございました。以上です。
0:04:30	はい。日本原燃高松でございますすみませんありがとうございます
0:04:34	はい。そうおっしゃる通りなので、説明をちょっと続けさせていただきたいと思います。
0:04:39	はい。そうしましたらですねまずあの日、第1章の見方から説明させていただきたいと思います6ページをお願いします。
0:04:49	6ページがですね記載例ということで書かせていただいております、表を見ていただければわかるように左側にですね、番号振りまして、そのあとに項目環境条件ですとか、
0:05:00	設備が常設か否かあと交流事象は何か、設備が屋内外なのか共通なのかというのを書いた上で、真ん中の辺にですねS Aの設計上設計方針、
0:05:10	そういうものを書かせていただいております。
0:05:13	是正の設計方針に関しましては、現状の申請書の前で、申請書での記載箇所をですね、C A M S見括弧で、
0:05:22	示す形にしておりまして、
0:05:25	それでですね設計条件が
0:05:28	一番下のですね8番の
0:05:31	要はご覧になっていただきたいんですけども、
0:05:34	設計条件がですね、個別設備の方と、あと

0:05:39	具体的な竜巻ですとか溢水のですね、この設計方針に分かれて説明していく場合にはですね、このように列を分けまして、
0:05:47	比較できる形式です。ね。
0:05:50	記載をしていくという形にしております。
0:05:53	それです。ね、いろんな手の中でいろんな場所ございますけど、いろんな通信があるところはですね、
0:06:00	S A 特有の設計方針のところをですね塗りつぶしております、
0:06:05	わかりやすくするようにしております。
0:06:08	それです。ね右、バックするようにしております。ただ、有賀に飛ばす内容ですとかそういったものがある際には展開先を記載するという書き方にしております。井川に飛ばす際には、同じくセルを塗りつぶして表記するという形にしております、
0:06:23	ここです。ね、健全性の説明書の中で、繋がりを示す場合には右上にございますように、ナンバーだけ記載しまして、
0:06:31	特に
0:06:33	共通方針から常設設備ですとか班に飛ばしますと、
0:06:37	というような形です。ね記載するというような形で表を作っています。
0:06:42	このような形で整理した1例をちょっとご紹介させていただくとともに、昨日のヒアリングでちょっと話題になったところをですね、
0:06:50	回答を少しできればと思っております。はい。
0:06:53	まず津久井の説明なんですけれども、8ページをご覧ください。
0:07:04	はい。具体的に8ページは多様性史跡分散に対する設計方針ということで、えっとですね一番初めに、国内外共通のですね、
0:07:15	事項を記載してる部分になります。具体例でいきますとNo.2番ということで、共通要因です。ね、における条件においてですね想定される重大事故が発生した場合における温度圧力等、
0:07:28	味を考慮しましょうという全体方針があって、それをですね具体的に、右側のフィックを見ていただきますと、ナンバー8、
0:07:36	Sとか、
0:07:37	あと、水の話でいくとですね、ナンバー5なんですけど、ナンバー5で共通要因のうち地震性化学薬品の漏えい、火災による波及的影響や内部飛散物を考慮しましょうと。
0:07:49	こういったものが書いてございまして、これはですねNo.11に飛ばすと。

0:07:53	というような形で示しております。No.8 がまず 9 ページでNo.11 が 10 ページなんですけども、順を追ってまず 9 ページからご覧になっていただきたいと思います。
0:08:10	はい。9 ページの 8 番をご覧になっていただくと、先ほどの、
0:08:14	えーとですね。
0:08:17	条件を展開して設常設設備にですね、
0:08:21	先ほど、
0:08:22	設計条件を展開していきましようというところがわかるようにひもづけをしていると。
0:08:28	ということになります。
0:08:30	はい。それであと、10 ページをご覧ください。
0:08:37	10 ページにNo.11 というものがございまして、
0:08:40	こちらで常設に対しまして溢水関係役員漏えいですとか、火災、
0:08:46	及び設計条件より設計基準より厳しい条件の要因となる配管の全周破断、
0:08:52	というものをですね考慮してこれに対して機能を確保するしましようという方針が展開されております。
0:08:59	はい。ここのですね、11 番の一番上の設計方針ご覧になっていただきますと、ここに記載しておりますように、
0:09:05	考慮する事象として内的事象の配管の全周破断というものがございませけれども、
0:09:11	こちらは、それも書きたいじゃなくて申し訳ないんですけど、内的事象の羽田の原子方に関しましては、
0:09:17	S A 側での想定になっておりますので、整理としては S A 側で想定して、
0:09:25	いくと。
0:09:26	ということになります。これを具体的に、
0:09:30	その下ですね、行というか、に書いとるですね溢水側の方にどう展開するかっていうところもしっかり書くべきだったんですが書いてなくて、今後ちょっと追記をしようと思うんですけども、
0:09:41	具体的にはですね。
0:09:43	S A 時の内的事象の全周破断に関しましては単独で、
0:09:49	想定しまして、

0:09:51	腐食性流体が流れてるところの配管の漏えいを想定しますので、
0:09:55	基本的にはセル内、
0:09:57	どれが起こります。
0:09:59	ということになります。同時にですね回収系の更新も想定しておりましたが、それでもですね、2系統で回収ができるですとか対応ができますということと、あと周りの配管に関してはさす。
0:10:13	それですね、植生の流体に対して耐性がありますと。
0:10:17	ということから他の石毛の発生に繋がらない。
0:10:20	ということで、
0:10:22	この事象に関しては、水源に加味しないと、そういった設計条件を、ちょっとこう見えるようにですね、していきたいと思っております。
0:10:30	あとですね、
0:10:32	今ちょっと軌跡分散のところでちょっと話をしてしまってるのでここでちょっとだけ述べさせていただきたいんですけども、
0:10:38	その下にですね、
0:10:40	今のこの牧田のSS設計方針の6-1-1の4-2-1というところで溢水による損傷防止に対する基本設計方針ということで、
0:10:51	書いている内容がですね、溢水から防護する設備、
0:10:55	重大事故対処設備を石井から防護するってって、
0:10:59	機能喪失しない設計としますって言うんですけど、言うてるわけです、具体的な評価はDB引き継ぎますしか今ちょっと書いてなくてですね。
0:11:09	実際は具体的に何を渡すんですかっていうところは、ちょっと今後書かなきゃなんないんですけども、
0:11:15	書く内容としては、
0:11:17	やはり何を言っ水源としますかっていうことと、あと、
0:11:21	防護対象設備は何ですかというところ、あと、溢水防護区画は、
0:11:26	末田のところなのか。
0:11:28	あとですね
0:11:30	アクセスルートの扱いをどうするのか。
0:11:32	そういったところをちょっと見えるように書こうと思っております。
0:11:36	具体的には1水源は1.3ですので地震。
0:11:40	ごめんなさい。ちょっと情報過多になって、

0:11:43	話が発散しそうなですけど、
0:11:47	今言われたや、ここ宣言するって言ったら申し、具体的な申請内容、こっちで説明しますって言ってるような感じがしちゃうんですけど。
0:11:57	それって合理的ですか。
0:12:01	ていうところを議論したいんですけど、それを議論するのはいつ強やる。
0:12:11	はい日本原燃のタマウチです。
0:12:15	そうですね今ちょっと議論させていただきたかったのは、今申し上げた内容を、ある程度その申請書に書く形のようなイメージで拡充していく。
0:12:26	隠居出すパターンと、あと申し上げたような内容を箇条書きで設計条件をしっかりと見えるようにするというパターンをちょっと考えてまして、
0:12:35	やり方としては、
0:12:37	お車で書くのかなというふうに個人的には考えていたんですが、
0:12:41	その辺の整理の仕方は、今後ご相談したいと思っておりました。以上です。
0:12:51	古作です。その相談は今日やりたい。
0:13:02	はい。日本原燃のタマウチです。そう考えていたんですけども、やはりあれですね今ちょっと言葉だけで話をしていると、何が何だかよくわからないと思いますので、
0:13:14	所属ですところで、ちょっと思ってた方がよろしいでしょうか。すみません。
0:13:20	田村さんあんまり先は知らなくていいですよ。
0:13:25	ガーンと言われたので認識をちょっと確認したかったっていうだけなので、今日は話をするつもりつけたということなら、話をすればいいと思うんですけど。
0:13:35	一気にダーッとと言われてもう、その話をしたかったっていう項目はこちらがテイクノートできない状態で進んでるような感じがしたので、
0:13:45	医師、まず、説明は、概略、やりたいことはこれですっていうぐらいにして、具体の説明それ一つ一つにしませんか。
0:14:01	はい。日本原燃戸松です。はい。すみません承知しました

0:14:05	やりたいことはですね、まさにここでは 36 条の設計方針で何を書くかというところ、あと S A の預け性と D B の関係を示す資料として、
0:14:18	このような作りで、
0:14:22	情報を整理しましょう。
0:14:23	今はまずこの表のやりたいことでした。
0:14:26	古作です。
0:14:28	今もう前回、瀬川さんにちょっと勇み足ですと言ったことなんですけど、
0:14:35	どの程度変えていくかっていう話は、まだ次のフェーズの話で、
0:14:40	ここではまずどういう内容を引き継がなきゃいけないのかと。
0:14:44	いうことの認識を合わせるということです。
0:14:49	で、
0:14:52	藤。
0:14:53	その点で、
0:14:57	一つ一つ内容で話をしなきゃいけないと思うので、大枠はそうですけど そういう、
0:15:04	のを議論しなきゃいけない項目って何がありますかと。
0:15:08	ということで今溢水について例示を挙げていただきましたけど今日やりたいその項目は後何かありますか。
0:15:29	日本原燃タマウチです。今ちょっと音声が二重になってしまったので少し間があいてしまったかもしれないんですけど、
0:15:36	今日やりたいところ
0:15:38	S A と D B との
0:15:42	インターフェースの例として、溢水でこういう情報を引き渡すべきですと S F P の情報検索するという項目のですね、認識を合わせたいというふうに思ってます。以上です。
0:15:55	コサクです。こんだけ作業しておいて、溢水だけなんですね。
0:16:00	他にこういうのがありますここはどうでしょうかとかっていう話の展開までは、今日できないってことですか。
0:16:13	日本原燃の瀬川です今回の資料では、溢水と竜巻。
0:16:19	に対して、多様性位置的分散の方針の展開としてどうあるべき感、そしてあともう一つ環境条件がですね、

0:16:28	具体的なそういう共同評価だとか、溢水としてどうか、ちょっと本当の状況の中でね。
0:16:37	そういう1、
0:16:42	日本原電の瀬川ですコサクさん今発言された内容が、すごく音声途切れ途切れでちょっとすいません聞こえなかったのもう一度お願いします。
0:16:51	古作です。すいません。
0:16:53	発言してなくてですね、そちらの音もとぎれとぎれ何度か繰り返しのなってしまうので、聞き取りづらいなとつぶやいてしまっただけです。
0:17:08	一応聞き取りづらかったので確認しますと、多様性位置的分散D、溢水等竜巻、
0:17:18	を例にまず上げます。で、それとの関係で環境条件の方も、
0:17:27	話をして、相互の関係性をどうするのがいいのかと、ということの話をしたい。
0:17:34	ということでしょうか。
0:17:39	はい。日本のセガワです。今コサクさんに整理していただいた通りでございます。
0:17:45	はい。補足です。じゃ、まずそれはやることにして、じゃあ他はどうすんのっていうことですけど、まず、多様性位置的分散では、竜巻、
0:17:56	溢水以外もいろいろあると思いますけど、
0:18:00	その辺りワー、竜巻溢水での議論を踏まえて次回一式整理できる。
0:18:08	と思えるので、議論したら、ざっと整理をして改めて確認してもらいますっていうことですか。
0:18:20	範囲日本原燃の瀬川ですご指摘の通りです。竜巻溢水で考え方が整理できればですね、基本的には水平展開で対応可能と考えてました。
0:18:33	はい。コサクですわかりました。
0:18:37	環境条件との関係っていうのもそれでサンプルとして話ができるのでということで、
0:18:46	特に環境条件の方は大きく、
0:18:50	悩むところもそんなにないような気はするので、それも、
0:18:56	竜巻、

0:18:57	なり、例示で話をする事で、対応ができるということではないですかね。
0:19:07	はい。日本原燃の瀬川でのご理解の通りです。はい。
0:19:12	はい。コサクです。
0:19:15	藤。
0:19:16	今日はその環境条件等、多様性位置的分散を取り急ぎと。
0:19:22	ということだったんですけど、他の項目食うについてわあ、そんなに悩みはない。
0:19:30	ていうことですか。
0:19:37	はい。日本原燃の瀬川です。今回そのデービーとのかかわり合いといったところでいけばですねこの多様性位置的分散、あと環境条件、
0:19:47	もうちょっと細かく言えば悪影響防止というのも若干立間キーの観点で出てくるんですけども、そこの部分も今回の環境条件でカバーできるということで、
0:20:01	他は特段問題ないかなと思ってちょっと情報をちょっと省略してたところでございました。以上です。
0:20:09	はい、古作です。悪影響防止はですね非常に関係があって、環境条件多様性位置的分散との関係っていう中に悪影響防止との関係っていうのも、話を、
0:20:23	しないと、多分まとまらないんじゃないかなっていうふうには思いますので、この後環境条件側に話をは行く際には、
0:20:34	頭に入れておきつつ、
0:20:38	議論がし切れるかどうか若干不安なところがあるので、やってみたところで、次回はしっかりと入れて関係性を整理をして確認していくと。
0:20:49	ということが必要かと思えます。
0:20:56	よろしいですかね。
0:20:57	はい。いえ、いたしました。
0:21:01	はい。補足です。もう一つは、試験検査性とかも、
0:21:08	基本はDBと同じようにってところはあるのかなとは思いますが、
0:21:15	本当にそれだけで大丈夫かっていうのは気になるところです。
0:21:21	で、そのあたりはいつどうやりますか。

0:21:29	はい。日本原燃の瀬川です。そこをやらないつもりは全くなくてですね、36条要求の多様性から、操作性試験検査性まで一律ですね、同様の整理はしたいと考えておりました。
0:21:44	じゃ、いつできるんだといったところですけども、一番優先すべきデータベースへの引き継ぎってこの多様性、あと悪影響と。
0:21:55	環境条件、これを最優先で今日もヒアリングを踏まえて最優先で対応した後にですね、順を追ってご説明したいと考えておりましたが、
0:22:05	今日のヒアリング次第ですかねそのスケジュールというのはいいと思っております。以上です。
0:22:10	古作です。
0:22:13	何で今話をするかという等、この中で区分して順々にやってく飲んでいくとですね間に合うのかという気がしているからなんです。
0:22:24	で、試験検査性は、メインじゃないのでっていう、
0:22:30	ことと言われたような気はするんですけど、一方で共通12として、構造の説明をする際にワー
0:22:38	系統の話も当然しておかないといけなくて、そうすると、検査せ、
0:22:44	試験検査性っていうのは、それなりに大事なポイントになるので、共通12の資料の中でも見えてないとねと。
0:22:55	いうふうに思っています。もともとその要求機能は一式並べましょうねと言っているパーツになるので、外せはしないと。
0:23:06	いうことで認識してるんですけど、何かずれはありますか。
0:23:17	はい。日本原電の瀬川です。
0:23:20	今コサクさんにご指摘された観点ってのは一応認識はしておったつもりです。もちろん試験検査性っていうのがDB設備に対してのある意味悪影響議会の部分もあったりとかですね、そういうのもあって、
0:23:35	設備説明していく上で、前提になるものなので、重要なパーツであるという認識はございます。
0:23:42	ただ、うん。そうですね。
0:23:45	ちょっと実力的につらかったといったところがあって、まずは影響はなかったというと、撤廃の広いデイリーを優先したという趣旨でちょっと発言したもので、
0:23:56	どれを軽重をつけてやるというわけでは基本的はございません。はい。以上です。

0:24:03	古作です。
0:24:08	実力不足というのは、
0:24:11	などこの何が不足なのかっていうのを整理してもらい必要があろうかなと思うんですけど。
0:24:21	作業量という関係であれば、
0:24:28	どういう作業が必要かというのを特定するのが重要で、
0:24:34	特定してしまえば、皆さんマンパワーあると思うんですよ。
0:24:39	そのマンパワーを生かし切れてないという現状が問題なんだと思ってるんですけど、いかがですか。
0:24:51	はい。日本原燃の瀬川です。ご指摘の通りですね、すいません今回の十時17というのは、前回のヒアリングを踏まえて、どういう見せ方をするのがいいんだろうというそういう
0:25:03	資料の作り方だから含めるだろうというそういう
0:25:08	下げて今回多様性位置的分散と環境条件までしかまとめられなかったって言ったところなんですけれども、これ道筋がですねここやるんだというのが決まればですね、あとおっしゃる通り、
0:25:21	分散の仕事分散してですね、一気に並行で進められるとは思っていません。以上です。
0:25:28	はい。
0:25:33	それでいく等、一気に進めるまでの道筋っていうのを、
0:25:39	描いてですね、
0:25:43	それをどう人を割り当てて進めていくのかと。
0:25:47	いうことかなと思います。
0:25:50	で、
0:25:55	とりあえず現状だとまだこの十時17の書き方みたいなところで、
0:26:00	まだ固まってないので、とりあえず、部分的にっていうので理解をするものの、次は内容としてどこの程度っていうところを話をしなきゃいけないんだと思いますので、
0:26:13	それができる、一通りできるようにっていうふうに少し考えてもらった方がいいかなと。
0:26:20	思ってます。そのために、今日、
0:26:23	この資料としてはこうすればいいなという見通しが立てられるように、話をしていければということと理解をしました。

0:26:33	それで、
0:26:36	そうするとなんですけど、
0:26:38	この共通って、
0:26:41	最終的に共通 1712 の、別紙 2、
0:26:48	なり R P C 表 2 か。
0:26:52	基本に、
0:26:54	表、表 2 との関係、或いはその先の構造図を示していく時との関係というの
0:27:03	どう使っていくのかっていうのの考えをちょっと確認をしたいんですけど。
0:27:14	それってどっかにちょろっと書いてあったような気がしますけど、
0:27:18	説明いただいていいですか。
0:27:32	日本原燃のタマウチです。
0:27:35	表 1 と表 2 の関係、あとですね、構造図ですとかあと系統数の関係っていうのは、
0:27:43	前回出させていただいた資料の中では展開していたんですけど、せていただいた後のわかるか、今回の資料、
0:27:52	後、
0:27:54	地震が具体的にどこに展開するっていう情報今落としてしまっている状態でした。
0:28:01	ですのでこの資料はちょっと今示されてないです。はい。以上です。
0:28:07	規制庁コサクです。
0:28:10	それは不要だと思って外してしまったという、
0:28:14	ことであれば、一番大事な情報なので、復活させていただきつつ、
0:28:22	今日の議論を踏まえて、修正をしてということで対応いただければと思います。
0:28:29	それですね、
0:28:32	基本設計方針と可能。
0:28:35	流れでいうと、
0:28:42	お話したのは、第 1 章の基本方針第 2 章の基本方針。
0:28:49	添付の方針部分、具体の展開部分と、
0:28:54	ということでそれぞれ関連性がありますよねという話をさせていただいて、

0:29:02	現状でもう
0:29:06	第1票の共通のものと、
0:29:09	ということから、各条に入っの、具体の設計方針というのには関連があつてと。
0:29:19	いう古藤があつたと思うんですけど、まずそこは、
0:29:25	第1表としてはどうされたかを、
0:29:35	はい。日本原燃の浜口です。
0:29:38	第1編としてはですね、今保坂さんがおっしゃっていただいた、
0:29:44	ケースも、
0:29:45	具体的に見ていただくと、
0:29:48	例えば、今、開いているところはNo.11 のですね
0:29:51	10 ページですか、ちょっとプログラムなつていただくと、この真ん中の設計方針の一番上の行というのが、まさに第1章、
0:30:02	第1の基本方針が書いてあるところ、たまたまですね、健全性説明書でも記載内容がちょっと一緒だったので、ここ1、
0:30:12	そういった基本設計方針から店舗への展開つていうのはここで順を追つて見せるように心がけていたつもりです。それでさらに、個別の設備について展開する際には、
0:30:25	同じく設計方針というですね、別の下に、続いていってですね、記載の拡充というか、より詳細になつて草間が見えるようにできればというふうに考えております。
0:30:35	以上です。
0:30:37	古作です。このページで雄踏第2章も入つていたり、
0:30:45	し、
0:30:47	右側の重大事故等対象設備の設計方針と、
0:30:55	Aルーところでもう溢水によるだつたり化学薬品の漏えいによると言つていたりと。
0:31:03	ということ入つてて、
0:31:08	これ妥当、個別設備説明書つていう部分が、
0:31:15	どういうふうに入つてるのかがいまちよくわからないんですけど。
0:31:24	そこも含めて入れ、
0:31:29	第36条で大枠で方針を述べているものについては意識ここで入れまして言つてるようにも聞こえたんですけど。

0:31:37	でも現状だと末端の方までは入ってませんよねと。
0:31:41	いう感じがしていて、
0:31:45	全部まとめますただ記載省略して大丈夫ですよってということなのか。
0:31:50	次の表なりにも展開をするのかってというのはどっちですか。
0:31:58	日本原燃の瀬川です。
0:32:00	えっとですね。
0:32:02	8 ページちょっとご覧になっていただきたいんですが、
0:32:06	ページのナンバー2 ですね。
0:32:09	これが一番個別設備まで含めて一気に通貫細かく展開順繰り順繰り情報が付加されていくっていうようなズーになってるものですね。
0:32:20	一番上の 36 条の大元の概略概略的な、大枠の方針を、2 章個別項目の 39 条の方針として対象設備を具体化するなどして、
0:32:32	一旦ちょっと詳細化すると、というような立て付けでそれがさらに、添付書類の健全性説明書側に行った時にさらにそれが情報が付加されて、
0:32:43	書く中で、それがさらに個別設備の説明書にいて、すいませんこれ今これ、悪さ加減ですけれども、さらに本当は拡充する方法で整理したいんですが、
0:32:54	今その整理ができてませんけれどもさらに情報を拡充すると、そんな流れを汲んで整理してるのが、ベースケースです。
0:33:02	先ほどの、
0:33:04	10 ページのところはですね、
0:33:08	10 ページのNo.11 ですね。
0:33:11	一番上の 36 条の一番大元の基本方針というのがあるんですけども、これ今、本来であれば、本来というか先ほどの 8 ページと同じ構図でいけばですね、次はこの 2 章の左側の 8 個、2 章の、
0:33:24	方針として、少し内容が拡充された内容の方針が書かれてもいいのかなというようなところなんですけど、これ許可の時にですね、この 36 条の方針はもう共通的な内容であって、
0:33:39	個別の設備、化学の設備だとか水素の設備だとかそういったところに展開しても、内容が変わらないということで、
0:33:47	基本設計方針として展開しなかった部分になってます。

0:33:51	こういうような内容については、その 36 条の基本方針を 1 回健全性説明書で受けた上で、それを右側の流れですね、共通的な方針を、より詳細化していくっていう流れで
0:34:04	流してるというのがこの
0:34:07	10 ページの例になってます。
0:34:10	はい。以上です。
0:34:18	コサクですけど、
0:34:21	何ですかね、添付書類の構成の説明ということではなくて、今回どういうふうに整理をしていくと。
0:34:29	共通 12 の図面までたどり着くかと。
0:34:33	いうことの話をしたいんです。
0:34:43	8 ページ。
0:34:45	G の、
0:34:47	2 番のところと言うと、
0:34:50	順々に拡充していきますということなんですけどこれ拡充。
0:34:56	これするとですね、ただ備考の方ではそれぞれに展開しますと言って、
0:35:04	展開先でどうかっていう話にまたなるわけですよ。
0:35:08	これは、ここの部分ではもう展開した先でやるの D。
0:35:13	ええ。
0:35:14	特に D B なり何なりという議論をここではするものではありませんっていうこと。
0:35:20	なんだと思うんですけど。
0:35:22	その理解でまずいいですか。
0:35:34	はい。日本は、
0:35:36	8 ページの 2 のところはですね、常設、可搬共通の方針を述べて、もちろん個別説明書を一番具体的に書くんですけども、
0:35:48	右の備考欄の展開はですね、展開先では、常設設備を具体化する可搬型設備を具体化する。
0:35:57	で、実際、どのような設計にするのかというところを、
0:36:02	それぞれのワーキングペーパーという方針でかなってございまして、
0:36:07	D B 側の展開はないかて、建てといいますか県財政の中での 36 条更新の中での、

0:36:14	展開構造になっていると。
0:36:16	いう理解になります。
0:36:19	はい。なんか外運動です。
0:36:21	古作です。でですねまずこの行だけで言うと、
0:36:26	備考がダーッと 8057293038 に展開って書いてあるのが、これ何で三つの行に分かれてるのかと。
0:36:35	いうこともわからないし、これで網羅してるのかもわからないという状況ですけど。
0:36:43	どうすればいいんですかね。
0:36:48	はい。日本原燃タマウチですか。そうですねすみませんちょっと記載が書いてまして、申し訳ないです。分かれているのは、上から常設、真ん中の列が、一番下が接続口に関する展開。
0:37:02	ということで、ちょっと周囲を分けたんですが、そこを、の解説がちょっと全くされてなくて、申し訳ないです。
0:37:09	その先で、
0:37:11	いえ、
0:37:12	漏れなく展開できているかどうか。
0:37:14	については、
0:37:17	この備考でもう少し解説を加えてあげる。
0:37:23	ということで、
0:37:24	案外も、はい、以上です。
0:37:29	はい。
0:37:30	で、
0:37:32	ただ、そのすみません、古作です。加え方になると思うんですけど、
0:37:43	成績方針の欄で書いてあるものわあ、段階的に拡充をしていってるということであれば、最終的なところについて説明をすればいいと。
0:37:55	ということになるんですけど、必ず展開してて一番最後のものを、考察すればいいだけなのか。
0:38:04	先ほどもあったように途中で、
0:38:08	そこで言い切ってて、後段では受けていないものがあるのかどうかと。
0:38:14	いうところはどんな感じになってます。

0:38:26	日本原電の関です今、古作さんがご指摘された通りですねそういうものがいるはずなんですね。先日来話題に上がっているのは、配管の全周破断。
0:38:39	みたいなものは、
0:38:40	36条の中で、対応の方針を述べきって、それ以降の展開がないんだけど、一方で類似する溢水みたいなものは、
0:38:53	引き続き流れて、最終的にはテレビ側に交流していく、そういうものが中にはありますので、ちょっとそこら辺、上手くちょっとわかるように表現を工夫したいなと思います。
0:39:07	はい。今現状ちょっとそれがわかるようになってるかということ、明確にわかるようにはなっておりませんので、ちょっと工夫したいと思います。
0:39:14	はい。コサクです。備考に書くときに一番最初にまずそれを書いてください。
0:39:22	部分的に、この段階からもう、
0:39:26	具体的にゆだねますと。
0:39:28	いうものがどれか。
0:39:29	で、最終的に個別設備説明書まで展開しててそこから対応するのはどれか。
0:39:39	それがこの表の中で別にゆだねてるなら別のところに行きますということだし、
0:39:48	その段階から別に飛ばすということであればどこに飛ばすのかということを書くと、
0:39:53	いう形にしてもらおう等、漏れがない状態で見れるかなと思います。
0:40:06	はい。日本原燃田巻です。はい。承知いたしました。
0:40:15	古作です。
0:40:28	それでいうとですねど、どっかどこに戻ったらいいのかちょっとよくわかりませんが、えとた様子。
0:40:34	正一的分散の、最初が7ページからと。
0:40:39	ということなんですけど、
0:40:42	まずここに備考がないですね。
0:40:47	これは今の話で書き込めるっていうことでいいですか。

0:40:56	日本原燃のセガワでこれ私がちょっとコメントして備考を抜かしてしまう。
0:41:00	一旦ですね、やっぱちょっと解説がきちんとないといけないんだろうなというふうに思うんですが、
0:41:10	一番、ナンバー一位はですね。
0:41:13	多様性知的分散を設計するにあたって考慮する、その共通要因の定義、
0:41:21	が記載されているところで、
0:41:24	これは展開するようなものではない、もうここでクローズでしょうという思いで備考を抜かせたんですね。
0:41:32	でもちょっとあれ、ちょっと待ってよ。コサクであればまずそういうことを書きましようということなんですけど。
0:41:41	一方ですね、それって大事なんですよ。
0:41:45	大事なので、クローズできないんです。できないというか、全部に展開しないとイケないんです。
0:41:53	なので、全部に展開してくださいねっていう。
0:41:57	しますっていう備考になるはずで、
0:42:00	ちょっと先走る等、それを
0:42:05	共通 12 の方
0:42:08	どう対応するかっていうのが、
0:42:11	必要になっていきます。
0:42:17	はい。はい。日本原燃の瀬川さんご指摘の趣旨、よくよく理解しました。はい。共通順位のまさにイントロ的な感じで、
0:42:27	なので。はい。
0:42:30	重要性理解しました。
0:42:32	はい、古作です。で、必ずこの設備って本当にこれ共通要因ないんだよねと。
0:42:40	これで排除できるようになってるよねと。
0:42:43	いうのを確認とるってのが、トータルで大事なことですから、それが
0:42:48	見落としがないようにどうかけるかということでよろしくお願ひします。
0:42:58	古作です、その次のもう、8 ページは先ほどお話ししたページでしたかね。

0:43:05	3行目4行目、5行目6行目も、基本的なことは一緒だと思いますけど、
0:43:16	これは
0:43:20	健全性説明書で止まってて、第2章も個別設備も書いてないということですけど、
0:43:29	ここはあれですか先ほどの
0:43:32	11番で話したのと同じ状態になってるってことですか。
0:43:42	はい日本原燃の瀬川です。考慮すべき事項、現象というのは、これはどのSA設備にとっても変わるものではないということで、あえて個別の設備を主語にして展開しなかったというのが実態でございます。以上です。
0:44:03	古作ですさた。
0:44:08	よくわからないんですけど、2、2番等、3番以降で何が違うのかと。
0:44:15	いので、結局は後段のナンバーナンバー2飛ばしますっていうふうに、
0:44:22	なってい。
0:44:24	いてですね。
0:44:25	飛んだ先にどうなってんのか。
0:44:31	ていこのを見ると、やっぱり回転個別はないってことに、全体としてなってるってことですか。
0:44:48	はい、日本原燃の瀬川です。
0:44:51	えっとですね先ほどのナンバー3以降のものが、下流のナンバー2金田先で、じゃあその先で個別に展開されてるかということこれ結論として多分、多分じゃないな。
0:45:04	個別設備としての展開はない形になってます。
0:45:09	もう、SA設備として共通的にこういうやり方をやっていきましょうねという展開になるので、個別の展開がないという整理です。以上です。
0:45:19	はい、古作ですわかりましたそうする等、この部分でそういうものと宣言をしておけば、飛んだ先でそのような宣言をする必要もなく、
0:45:31	そこの部隊だけを話をすればいいっていう形で合理化できますかね。
0:45:39	はいご提案の通りだと思います。
0:45:46	はい。コサクですわかりました。で、
0:45:52	ちょっとそその観点から戻るとですね。

0:45:55	ええ。
0:45:58	2番のところは、逆に個別が書いてあるんですけど、
0:46:04	これって共通ってということからすると、
0:46:08	個別は大体安全冷却水系だけじゃないよねと。
0:46:13	ということがあって、
0:46:17	とりあえず冷却機能喪失を例に言って始まったからこうなってるんだと思いますけど。
0:46:23	最終的にどうやって網羅性のある、
0:46:27	資料の整理にするつもりですか。
0:46:34	はい。日本原電の瀬川です。これはまとめ方としてどうすべきかというところがあるんですが、この先の作業としては、これは蒸発乾固以外のすべての条文に対して、同じような整理をしなきゃいけないという認識ではおりました。
0:46:50	この第1表を、全条文作るのか、
0:46:54	それとも、
0:46:56	全条文を集約してですね、ここの縦を、
0:47:00	他の条文の観点の設備、拡充していくのか、それはちょっと、どっちが見やすいかっていうのをちょっと考えたいと思いますが、追加はするつもりでございました。以上です。
0:47:12	はい、古作です。それで雄踏、現状の資料構成で言えば、4ページの段階ですでに2各条ごと、
0:47:23	になってて、
0:47:24	その内数D第1票として共通に対応する、この場での内容と、
0:47:33	いう形になっているところからすると、
0:47:36	他の条文も同じように第1を作ります。で、
0:47:42	今の個別に書いてある部分はその条文の個別に差し替えますと、
0:47:48	いう作業をしてくっていうこ等で、とりあえず今取り組んでるっていうことですかね。
0:47:58	日本原燃の瀬川ですご指摘の通りです。どうしても作業者を分担してやるっていう観点でもですね、同じファイルいじるってのはちょっとしんどいので、

0:48:09	同じことの繰り返しのルールが出てくるのは重々承知した上で、全条文に対して第1編を個別に作っていくというのをもともと考えてました。以上です。
0:48:21	はい、古作です。そうする等、
0:48:24	途中修正が入った時にそれぞれに展開をするというところでの作業ミスがよくあるパターンなので、その点では
0:48:35	変更のあったときの周知し、
0:48:39	と、展開というのをしっかりとやっていただきたいと思います。
0:48:49	日本原電の瀬川です。許可のときから、
0:48:53	S A の大変な要素の一つであったのはもう含みにしみてわかっていますので、
0:49:00	抜け漏れないようにしっかり管理してやっていきたいと思います。以上です。
0:49:05	はい。補足です。
0:49:08	さあ、
0:49:12	個別に入ってるものはそうやって、それぞれ入れ込んでいって、
0:49:18	その内容を、
0:49:21	がどういう扱い視点で、構造設計なり何なりしなきゃいけないのかと。
0:49:28	いうのを明確にしてもらって、強度に飛ばすもの、D、Dの、
0:49:35	溢水と合流するものということでわかるようにしてもらって、今日話をした方と最初にタマウチさんの、
0:49:44	先にお話した、どんな内容を持っていうところが、設計方針のところをしっかり書いてあるはずと。
0:49:55	ということなんですけど。
0:50:01	等その辺りワー
0:50:07	元に戻って10ページの11番。
0:50:12	で見たときに、
0:50:17	現状ではどう考えていて、どうしていくつもりなのかと。
0:50:22	いうことを説明いただけますか。
0:50:30	はい。日本原燃のタマウチです。10ページのNo.11 のですね、まず現状なんですけど、右側の溢水による損傷の防止に対する基本方針というところで、

0:50:42	ここで、まず重大事故等対処設備を一斉から本をするということで、防護対象設備、
0:50:50	というものが何か、
0:50:52	ていうのをですね、DBの方でインプットしたい。
0:50:58	という思いがあって、この部分ですね。
0:51:01	ハッチング赤字をかけてですね、整理をしようとしておりました。それが2ポツ、5ポツ1の所です。
0:51:09	はい。そのあともですね2ポツ構図1ポツ3ポツ1ですとか、
0:51:16	みなしだけしか出していないんですけどもいらないのでちょっと見えにくいんですけども絶対的に今はちょっと見えてないんですが、具体的に、
0:51:25	何をD引き渡すのかっていうところを、ここでしっかり書いて、
0:51:31	備考欄にもですね、具体的なものを書きたいと思ってます。
0:51:37	あか内容としては想定する溢水の量ですとか、あと設備コサクですか。
0:51:45	昨日、田巻さんすいません、どうしてもタマウチさんいっぱい頭の中に入っているので、
0:51:52	全部しゃべりたいと思う。
0:51:54	ちゃう。
0:51:56	正確なような気がするんですけど。
0:51:58	我々聞いただけで頭はいらないので、まず大枠、骨格を押さえることから話をして、具体について順々に話ができるように、
0:52:10	自分の発言としても考えながらしゃべっていただきたいなと思いますけどその点ご理解いただけますか。
0:52:21	はい。日本原燃、すいません。はい。理解します。すいませんでした。
0:52:26	はい。コサクです。ある意味あれですよ。
0:52:30	コサクだって話なんじゃないかなって思うかもしれないですけど、そのときには、途中で途中で切るのは切りづらいかもしれないですけど、そのあと、
0:52:41	発話を求められたときに、ちょっとフォローしきれなかったんでこの部分からでもいいですかとかっていうふうに言ってもらえればと思います。
0:52:49	それでですね、この場所でいうと、
0:52:54	まず、

0:55:10	認識はそれでよかったですよね。
0:55:16	はい。日本原燃のタマウチです。認識はおっしゃる通りです。以上です。
0:55:21	はい、古作です。
0:55:23	備考を見るとですね現状だとD2展開になっちゃってるので、展開した先で何か違いがあるのか何かっていうのわからないので、今のような、
0:55:35	私が確認したことを書いていただいて、
0:55:40	そうすると、単純に合流すればいいのねと。
0:55:44	ということがわかると。
0:55:46	ということです。で、どこで合流するのかみたいなことは少し書いてもらったほうがいいかなと思います。
0:55:59	はい、日本原電のタマウチです。
0:56:01	はい。備考に記載する内容については、はいイメージがわかりましたので、はい。それに対応してみたいと思います。はい。ありがとうございます。
0:56:10	はい。コサクです。
0:56:13	次、10番は耐震ってということ。
0:56:20	ですけど、
0:56:24	これは、
0:56:26	9番と10番で書きぶりが何となく違いますけどどうということなんでしたっけ。
0:56:32	地震。
0:56:34	1.2 S s
0:56:37	日本原燃のタマウチです。10番と9番の違いはですね10番の耐震の方は、重大事故時の地震でしたので、1.2 S sを考慮するという重大事故側の、
0:56:53	方針だったので、備考欄には、色をつけずにですね、区分けしましたということになっております。以上です。
0:57:01	はい、古作です。で、なぜここに1.2 S sと書いてないんだろうっていうのがよくわかんないんですけど。
0:57:12	この表のどこかに飛んでいるってということなんですかね。
0:57:16	この自主
0:57:17	備考に書いてある、鍵括弧ってどこのことを言ってるんでしょう。

0:57:24	日本原燃の瀬川です今回、可用性知的皆さんの環境条件しかまとめてなかったといったところの弊害ですね。この
0:57:34	まさにナンバー10の設計方針の中に書いてある鍵括弧の9、9.2.6っていう項目。
0:57:42	これが多様性知的分散と同じような並列の項目立てとしておまして、それを別途まとめますので、それができ次第、ナンバリングして、そちらに飛ばすっていうような、
0:57:54	表現に備考のほうは修正されます。以上です。
0:57:58	コサクですわかりました。そうすると意味合いとすると、他のNo. ナンバー2展開っていうのと、趣旨は、一緒。
0:58:07	ただ、この、この中の表じゃなくて別の表になりますってこと。
0:58:14	日本原燃のセガワでその通りでございます。
0:58:18	はい。工作です。そうしましたらその趣旨がわかる表現ぶりで統一をして対応いただければと思います。
0:58:36	よろしいでしょうか。
0:58:40	美濃部セガワさんも承知いたしました。
0:58:42	はい、古作です。で、その上で、同じものについては、そういったことで備考を書いていただくということで理解をいただいて、
0:58:54	プラスアルファがある場合っていうのが今の1.2S sは+ α なんですけど、今日表がないということなので、11ページ側にまた戻っていただいて溢水のところで、ここも
0:59:08	内容としては書いてないのは同じなんですけど、話をしたいと思えます。
0:59:16	等、
0:59:17	まず防護対象が違いますよと。
0:59:20	いうこと違いがまず言えますよね。それは、実はさっきのも一緒なんですけど、
0:59:26	ありますと、
0:59:32	現状ハッチングかかっているところでもう、
0:59:35	可能な限り位置的分散もしくは分散配置を図る、または云々と。
0:59:42	いうのは、
0:59:44	DBにはない。
0:59:46	考え方だと思んですけど、それはどう整理してますか。

1:00:00	はい。日本原燃の瀬川です。
1:00:02	おっしゃる通りでして、これ、分散配置っていうのは、
1:00:08	A D Dない発想分散して守ろうとするという発想はないものですので、これはS Aとしてその分散配置を、
1:00:18	やった姿を、配置図なり、
1:00:21	で見せてですね、それでまあ、
1:00:24	クローズする設計の内容という認識でございました。
1:00:29	以上です。
1:00:30	はい。コサクです。それは、
1:00:34	溢水の説明書でやりますか。
1:00:37	健全性説明書でやりますか。
1:00:43	はい。日本原燃の瀬川です健全性説明書でやるものというふうに今考えてございます。以上です。
1:00:51	古作です。
1:00:53	ですが、
1:00:55	その位置的分散なぜいいんだといったときに、溢水がどういうふうに伝播するからですとかっていうのはないですか。
1:01:10	日本原燃のセガワでした。
1:01:12	ですねこれおっしゃる通りでして、
1:01:17	これちょっと結論から申し上げるっていうのはおかしいんですが、この方針に書いてある通りですね、分散を図るかまたは、
1:01:27	Dで同時に機能喪失しないようにすなわち溢水に対して、
1:01:33	必要な高さを確保するとかそういった、環境条件としての体制ですね、保有する設計という二つの間で繋いでいるんですけども、
1:01:43	こういう配慮をしますと、実態として、
1:01:47	ちょっとちゃんと確認しなきゃいけないんですけども、ほぼほぼ、改正を持たせるっていう対応に、対応も込みで、
1:01:55	やっているのが全然実態でございまして、それにプラスアルファして、何て言ったらいいんでしょう、分散配置もプラスアルファでやってますと、というような設計が実態であったところもあってですね。
1:02:11	今私が申し上げた分散配置の部分はもう健全性で、その形だけ分散されてる様だけ見ていただければいいのかなんていうふうに思ってしまったところでした。ただ、実態としては

1:02:24	コサクさんがおっしゃる通りですね、本当は一世がどういうふうには伝播して、どこの区画にどういう影響があるからこの分散配置で妥当なんだといったところが、
1:02:35	大木も付けて見せるのが、本来あるべき姿だとは、今のやりとりを踏まえて、思いました。はい。以上です。
1:02:42	古作です。今の説明からするとですね、
1:02:48	分散配置をして対応するのはこれです。防護するのはこれですと。
1:02:55	いう。
1:02:56	のを仕分けをして、防護するものだけ渡してと。
1:03:00	いうことであれば、ここで言わなきゃいけないということでしたけど、
1:03:06	丸々防護するんですと、防護するから、分散配置についてはプラスアルファです。
1:03:12	ということだとすると、ここであまり説明する必要性がないと。
1:03:19	いうことかなあと思いましたが、いかがですかね。
1:03:33	はい。日本原燃の。
1:03:35	瀬川です。
1:03:38	藤。
1:03:39	ですね。ふうん。
1:03:42	もうちょっとここも
1:03:44	設計方針の本当の上流のところ述べているところですので、ここでのできるっていうのはちょっとやり過ぎかなっていう気は確かに強い
1:03:52	聞きました。
1:03:54	規制庁の田尻です。ちょっと頭の整理をしたいんですけど、分散配置をすることによって防護対策を講じてないやつっていうのはいるんですけど。
1:04:04	何か追加分っていうのを、若干何かぼやかしながら言われたような気がして、そういうやつがいるようにもいないようにもとれたんですけど、分散配置だけしてるやつっていうのはいます。
1:04:24	日本原燃のセガワでちょっと
1:04:29	このあたり、せ正確に検討してる人間に聞かないと、正確な答えにならないんですが、一部、分散配置で逃げている設備が、
1:04:40	いるぞと。
1:04:41	いう声がバックから聞こえてますんで、

1:04:46	しっかり整理させていただければと思いますいずれにしてもその分、分散だけで逃げるぞという、することであれば、先ほど小阪さんがおっしゃられた通りですね。
1:04:57	伝播とか含めて、その分散が妥当なのかといったところをご説明、先ほど草野を伝えた通りですね、あとでちょっとご説明したいと思いますし、すいません。整理できてないっていうのはまずいんですけれどもちょっと整理をさせてください。以上です。
1:05:13	はい、古作です。
1:05:16	それについて、まず明確にしてもらってそれを、
1:05:20	ここ演技できる。
1:05:24	ものなのか、縁起りー説明が、水側のものとダブるので、
1:05:29	1セガワで丸々その方針ごと持って行ってそちらで説明すると。
1:05:35	いうことなのかを考えていただければと思います。
1:05:40	少なくとももうそのDBという海水側に持っていくにあたりですね、
1:05:46	この方針はそのまたはのD、どれで言ってもいいよと。
1:05:51	言う古藤なだけ本当に水が受けられるかと。
1:05:57	いう気もするので、多少またはの心っていうのを少し、健全性説明書のところでは追記いただいた方がいいかなあと。
1:06:09	いうふうには思いますが、まずは具体を、
1:06:12	お聞きして、この程度は欲しいですかねということ議論できればいいかと思います。
1:06:23	日本原電の瀬川で承知いたしました。
1:06:27	はい。補足です。
1:06:30	これでようやく大枠の方針なんですけど、次具体的に没水被水蒸気と言うところの記載事項に入って行ってですね。
1:06:40	全部やるつもりもないんですけど、没水のところでまず何をやるかといえば、溢水研、
1:06:50	を設定しますと、
1:06:53	本当はあれですよ、防護対象設備はどれですかとかって前段ありますけど、全部だということでしょうから、
1:07:02	水源を設定しますというところで、
1:07:04	まず大きく違いますよね。

1:07:12	はい。日本原燃のタマウチです。おっしゃる通り 1 水源が重大事故時、違いまして、1.2S s の地震で、
1:07:20	破損する機器が対象になるということになります。以上です。
1:07:26	はい、古作です。
1:07:29	すいません。私飛ばしちゃいましたけど今の 1.2S s という意味だと、防護対象設備も限定される。
1:07:37	で、1 水源については改めて考える必要がある。
1:07:42	いう違いがあるというのをわかるようにしていただいて、
1:07:47	それをどう受けるのかというのを、備考の方に書いていただくと。
1:07:52	いうことかと思えますけど、よろしいですね。
1:08:00	はい。日本原燃のタマウチです。はい。おっしゃっていただいた内容で、問題ないと思います。はい。以上です。
1:08:07	はい。コサクです。今話のあったのは、重大事故の要因となる事象ということ踏まえてあって、それも地震要因のなんですけど。
1:08:18	先日、昨日でしたっけ。ヒアリングで話しましたが、内部事象で全周破断についてはどうなってますか。
1:08:33	はい、日本原電の濱口です。
1:08:36	内部事象の練習破断は、1 水源に加えない方向で整理をしております。
1:08:44	というのは、放射性物質を内包する植生で、すいません放射性物質を含む植生流体。
1:08:54	そうですね含んでいる配管からの漏えいですので、セル内で回収できると。
1:09:01	周りの機器がですね、ステンレス製で、
1:09:03	腐食性流体によって腐ってですね、別途、溢水が起こるような、
1:09:08	ことにも答えなりませんので、除外するという事で整理しています。以上です。
1:09:14	コサクです。内容というよりはそれをどこでどう書くかということも含めて整理できてますかと。
1:09:24	いうことでいうとどうでしょう。
1:09:31	はい日本原燃のタマウチです。はい。すいません
1:09:34	整理の場所ということでいきますと、1 水源を考えるとところですね。
1:09:40	そこで、外的要因等ない教員で分けて整理するものだと考えております。以上です。

1:09:49	日本原燃の瀬川ですちょっと訂正というか私の認識を追加で、
1:09:56	お話をさせていただきます。
1:09:58	溢水という現象と、あと、配管からの漏えいという現象は別物としてま ず整理しようというふうに考えてます。
1:10:09	ですので、配管の全周破断という現象を溢水という枠に、
1:10:14	押し込んで整理はしない。
1:10:17	整理かな。
1:10:19	思っていました。
1:10:20	あくまで溢水に対するS A設備の改正は、D B設備、D B側で想定して いる、想定破損4分の1リティとか、漏れる漏れないのその仕分けも含 めての、4分の1D tの破損想定破損と、
1:10:35	あと、消火水、あと被水、あと地震起因、
1:10:42	ですね、の溢水に対してS A設備がもつかもたないかというのを同じ
1:10:48	目線で評価する。ただ、
1:10:50	唯一、地震については、1.2というジャンプアップがあるので、その 部分は、申し訳ないですけど、D B側と一緒に議論できればという考え を持っておりました。
1:11:01	で、配管の全周破断というのは、この溢水の想定破損に見たような現象 になるんですけれども、
1:11:10	設計を超える条件として、問答無用で1ヶ所、ギロチン破断を想定させ るっていう、全く別物の現象としてとらえてですね。そうです。先生説 明書、はい。
1:11:22	岡コサクですすいません。堂々めぐりをしてるようなんですけど、地震 と何も変わらなくてですね、地震であって、エイヤーで1.2S sと言っ ていると。
1:11:36	でな、配管漏えいだってえいやで全周漏えいと言ってますと。
1:11:43	全周破断と言ってますということなので、何も違いはないんです。
1:11:47	違いがあるのは、それを受けて、何が起きますかと。
1:11:52	いうところでの受賞進展、重大事故への進展の可能性と、
1:11:58	いう範囲だったり、それに対する対応設備が違うんです。
1:12:05	なので、その発想のもとをどう展開をするのかっていう整理をしなきゃ いけないと思ってるんですけど。
1:12:12	その構造は一緒だと思いますがそこを認識違ってませんか。

1:12:20	はい。日本原燃の瀬川でございます。
1:12:23	今のコサクさんのご指摘を聞くとですね返す言葉がないですね、1.2のジャンプアップも理論値幅も同じダンパーって観点で同じだと言われればその通りだと思いますので、
1:12:37	今さっき先ほど田内が言いかけた多分方針が正しいんだと思うんですね。ただその中でじゃあどういふふうに仕分けしていくかというのは、
1:12:47	まだちょっと整理しっかりできてませんので、次回しっかり説明できるように、整理したいと思います。以上です。
1:12:54	はい、古作です。なのでこの元はですね8ページの6番なんですよ。
1:13:02	ここで地震火山、
1:13:05	配管全周破断と、
1:13:07	いうことを挙げているので、これについて、それぞれ展開しますよと。
1:13:14	言っているので、その展開をちゃんと漏れなくやっってくださいねと。
1:13:19	ということです。
1:13:21	で、このときに、
1:13:24	11番っていう展開が書いてないんですけど、何ですかね。
1:13:32	一方で11番には全周破断って書いてあるんですけど、
1:13:38	はい。日本原燃のタマウチです。
1:13:40	これはすいません、私のミスです。11番入れるべきですね、大変失礼しました。はい。以上です。
1:13:48	はい。コサクですよろしくお願ひします。で、受けたときに、地震は、火山は、全周破断はということで
1:13:58	香田から入りません香田から入ります。こう展開してますということを書いていただくと、
1:14:03	ということです。で、先ほど少し話しましたように、地震、
1:14:10	1.2 S s等、
1:14:13	な配管全周破断を一緒くたに説明する必要はないので、
1:14:18	それぞれにおいて、対象設備はどれです、守るべきものはどれです、それに対して攻撃する側1水源はどうします。
1:14:30	いうことを書かれれば、多分、
1:14:33	認識のそごなくかけるんじゃないかなというふうに関今話を。
1:14:38	含めると思ふんですけど。

1:14:40	その辺り、書いてみてわかるようにということで検討いただければと思います。よろしいでしょうか。
1:14:51	はい。日本原燃の浜口です。はい。今ご指摘いただいた内容と具体的に、
1:14:57	書かせていただいて、
1:14:58	はい。また確認いただければと思います。以上です。
1:15:02	はい、補足です。溢水のヒアリングの時には想定破損と今の全周破断ってというのが混同してしまったと。
1:15:11	いうことそこは混同せずに溢水と別の全周破断として考えるんですというふうに言われたんだと思うんですね。
1:15:19	それを、趣旨を改めてか考えると、
1:15:25	また戻って恐縮ですけど8ページの今の6番全周破断ってありますよねと。
1:15:34	いうことに対して、5番溢水と書いてますと、
1:15:40	いうことなので、
1:15:42	5番を受けて展開してるのが、溢水の影響評価で書かれている、想定破損だと。
1:15:52	で、6番で考えているのは全周破断だと、いうことでそれぞれ展開しますっていう理解をすればいいと思ってるんですけど、同じですよ。
1:16:06	はい。日本原燃のタマウチです。
1:16:09	はいそのようなせいだと思います。はい。
1:16:12	以上です。
1:16:14	はい。補足です。それで
1:16:17	10ページの11番を、
1:16:19	具体的に書いていただくと、
1:16:23	S A側で特異に考えなきゃいけないっていうのがこういうもので
1:16:28	どう、溢水側で対応できるかというのが見えてくると思うのでよろしくをお願いします。
1:16:37	被水、蒸気影響について追加で何か話をしとかなきゃいけないことがあれば、
1:16:45	どちらからでも、
1:16:47	言っていただければと思いますが、
1:17:00	古作です原燃側で何か心配事とかありますか。

1:17:07	なければ展開いただいたということですが、すみません、溢水の被水と蒸気の方は、
1:17:15	甲斐がここに関しては心配事はございませんので大丈夫です。以上です。
1:17:22	はい、古作ですよろしくお願いします。
1:17:24	位置的分散。
1:17:27	とかの関係だ等、おそらくその下の屋外保管とかですね。奥。
1:17:33	完全に分散してるから、もうって言うようなところがあるのかなあって気もしますけど。
1:17:44	どうなんですかね屋内の方でも。
1:17:47	屋内の方こそ分散ができない、分散できないならいいのか。
1:17:52	評価すればいいわけだから、
1:17:58	9番、コサクです。
1:18:00	もしそれぞれで何か関係のやつ述べなきゃいけないというのがあればここでも少し明確にしてもらったらいいかと思います。
1:18:15	コサクですっていうのも、先ほどその上から展開しますと言っていたものが、展開先でちゃんとそれ拾い切れてるのと、
1:18:24	というのが不安なん。
1:18:26	ですね。
1:18:28	そのあたり
1:18:30	必ず振った場合はチェックをして、現状書かれていないんだけどっていうのは、方針の方に書き加えるか、
1:18:40	或いは備考の方で、
1:18:43	受けてる何番の対応については同行しますと。
1:18:47	いうことを書いていただければと思いますけどよろしいですか。
1:18:53	はい。日本原燃のタマウチです。
1:18:56	はいこちらについても、ちょっと上との繋がりをですねちょっと確認させていただきます、
1:19:02	必要なところは展開するようにさせていただきます。はい。以上です。
1:19:08	はい。高坂です。必要なところはっていうのが非常に危なくてですね、
1:19:14	作業部隊に展開をする等、僕は必要だと思ってませんでしたと書いてません。
1:19:20	ていう人が多分相当出てくるんじゃないかなと。

1:19:24	思うんです。そうすると、確認漏れが発生しやすいので、各フォーマットとしてですね、展開されるときにはどこから展開を受けてますと。
1:19:35	いうことを明示的に書いて、漏れがなく、入ってますなのか、これが入ってませんのかっていうのを、
1:19:44	各パターンにして指示をしてしまった方がいいかなと思いますので検討をお願いします。
1:19:54	はい。日本原燃のタマウチです。はい。情報のやりとりが、表の間でちゃんと見えるように、
1:20:01	してですね。
1:20:02	抜け漏れがないように、ちょっと考えてみたいと思います。以上です。
1:20:08	規制庁の田尻です。念のために確認なんですけど、被水の絡みでなんですけど、DBとか常設の設備であれば対策はいただなかだとかあってあると思うんですけど。
1:20:20	伴設備の場合って、何か炉の方でケースに入れてますとかなんかそんな説明した人がいたような気がするんですけど、原燃ってそういうパターンもありですか。
1:20:32	はい。日本原燃のタマウチです。ケースですねちょっと名前具体的名前忘れましたが、フェリー関係性だけ。
1:20:40	フェリー関係数に入れてですね被水対策してるものがございます。はい。以上です。それじゃ大谷です。そういうのは、溢水に引き継ぐのかそれともSAで説明し切ったてなのかでいうとどっちでしたっけ。
1:20:58	はい。日本原燃のタマウチです。これはSA特有の可搬設備の下にですね、撤去しているやり方なのでSAで生きるという内容になると思います。以上です。
1:21:11	規制庁おったりですねそれで急いで言い切るって言った時に、SAの方では水源とかの正リーダー、一緒に飛ばしちゃってるから、何か、
1:21:20	そのケースに入れますよって情報を溢水に引き継ぐのか、それ、今の説明はどっちでしたかね。
1:21:26	古作です。すいません。方針はここで謳わなきゃいけないってのはその通りですけど。
1:21:32	最終的に評価なり何なり振るんであればそこで、この対策大丈夫ですっていうのも言ってもらわなきゃいけないので、ちゃんと引き継いでください。

1:21:49	はい。日本原燃のタマウチです。
1:21:51	これそうですね可搬型ですとか重大事故対処設備ケースに入れるものは何かというものをBPに引き継いで、その評価で、溢水高さとかケースの関係ですかね。
1:22:03	いうところをしっかりと評価した上で、
1:22:06	機能が維持できてますというのが見えるように、ちゃんと引き継ぐようにいたします。はい。以上です。はい。
1:22:12	規制庁、館です。ごめんなさい僕被水の話言ったんですけど、没水もうケースの中に入ってるからセーフって話をするんですけど。
1:22:23	すいません日本原電の反町ですごめんなさい私がちょっと今勘違いしておりました。
1:22:28	没水ではない、被水だけです。大変申し訳ございません。
1:22:32	規制庁だけで理解しました。
1:22:36	古作です。大体整理はわかっていただいたと思います。
1:22:45	規制庁、谷です。
1:22:48	ちょっとだけ外れて外れるんですけど、今没水被水蒸気とかの話をしてきて、スロッシングの話もさっきの地震とかと似たような整理をSAのほうで条件整理してそれを飛ばすっていう形で整理ができそうと思っただけですかね。
1:23:08	はい。日本原燃のタマウチです。スロッシングの方も、今の環境条件の方を見ると、こちらの記載がありまして、そのSA特有の条件というのはSAで、
1:23:20	区のかなという認識ではありました具体的なページでいくと24ページのところで、
1:23:31	はい。になります。
1:23:35	24ページですね、中ほどのところで、
1:23:40	両括弧4というものがございまして、
1:23:44	スロッシングに関する溢水評価、防護設計方針というところで、末に特有のものは、大和久小高という認識です。以上です。
1:23:56	規制庁の田尻です。
1:23:58	パッと見るしかないんですけど、これは1.2S sもこの中に入ってるんですが、S sのスロッシングみたくの(5)にいる気がするんですけど、1.2S sも同じようにやりますということですかね。

1:24:15	はい。日本原燃のタマウチです。スロッシングについては
1:24:19	1点目のS S 1.21節、総合評価をすると。
1:24:23	ということで、考えておりますので、それが見えるようにいたします。
1:24:28	はい、館です。だって、先ほどまで話があった没水被水蒸気の他のスロッシングとかの話も今、
1:24:36	24ページのところだとS sっぽく書かれてるけどS Aとして1.2S sの話もあったりするのでその条件も鳥羽関沢さんと整理して、そこがS A特有として、鳥羽様としてハッチングするかわかんないけど、書かれて、飛んでくるっていうので、他のものも含めて整理されるっていうので状況を理解しました。自分以上です。
1:24:55	古作です。溢水でもう1点、アクセスルートについてもう。
1:25:03	あって、それはどう入ってくるのかっていうのは整理できてますか。
1:25:14	日本原電の瀬川ですアクセスルートの認識はしていてですね。
1:25:21	今日のこのヒアリングの前までは、アクセスルートは、健全性説明書側で預かってクローズさせるものかなと。
1:25:31	思っていたところなんです。ただ、それを評価をやるにあたっての前提となる溢水条件とかがってのはD Bから守らなきゃいけないような情報になりますので、
1:25:43	先ほどの多様性位置的分散だとか、
1:25:47	あと保管方法のそういう被水対策とか、そういったところろうの比木は他Cも同じような構図から、渡さなきゃいけないのかなあなんていうふうに今日のやりとりは思って感じたところでしたただですね、
1:26:03	アクセスルートの場合は、
1:26:05	他の溢水評価は漏れた瞬間の過渡的な一番高いその区画の高い状態を前提にやってるものに対して、アクセスルートは一定程度時間経った後にアクセスするっていうことも踏まえて形状状態、下の方に水が落ちきたような状態。
1:26:21	意を前提にするっていうので、若干D B側ではやってない観点の評価が入るというのもあってですね。
1:26:29	それで健全性説明書で述べるのかなと思ってたところなんですけど、規制庁の田尻です。おっしゃられてるように、S A独自のものが当然あるという話だと思うんですけど、一声評価をした上で、その方的なものを見ていることからD Bとか、

1:26:45	S Aの防護対策設備とかのものに加えて、定常的には最後まで一声が流れていって、一番たまってるところ、前田最下階の話とか、何か袋小路ちょっとここらはどっかで起きたと思ってるんですけどそういったところに関して評価をするっていう意味では変わらないかなとも思うんですけどそのあたりのお考えありますか。
1:27:07	はい。日本原燃の島さん私も田尻さんとおんなじ間架空かなと思ってます。あくまでDBとかでやってる一斉評価ってのは、溢水という現象のある場面を切り取っただけの話。
1:27:22	でしかなくて、評価自体は一气通貫同じものだっていう認識は私も持っているので、一緒にやるのが合理的なんじゃないかなという気はずっとしておったところですよ。はい。以上です。
1:27:37	振った上で表カー。
1:27:40	時点が違うとか、いうこと的前提をしっかりと振る前に、その考えというのを述べた上で、溢水側でしっかりと統一した評価の仕方をしていき、
1:27:53	判断のところ、あの時点を変えたところの評価をしてやっていくと。
1:27:59	ということだと思いますので整理をお願いします。で、それをどこに書きますかっていうのがよくわからなくて、
1:28:07	今の10ページ11番に溢水っていうのがありますが、
1:28:12	ここでまだアクセルートが登場してないんですね。
1:28:16	で、操作性とかのところにはアクセルートって書いてあったと思うんですけど、
1:28:21	ここで登場しなくていいのかわかるか。
1:28:24	どうなんですかね。
1:28:30	日本原燃の瀬川です。これが今まさにちょっと私が今申し上げたところろが背景にあってですね、健全性説明書側で、説明をクローズさせるっていうつもりがあったということ、
1:28:45	あと、デービー側でやってる溢水評価とはちょっと経路が違う。定常状態になった後の溢水高さを対象コサクですっていうことの小坂ですすみません。瀬川さん
1:28:56	聞いてることが違って、
1:28:59	じゃあ健全性説明書で説明するつもりだったんでっていうんだったら何でここに現れてないんだよと、逆に突っ込まれる説明ですよ。

1:29:10	日本、日本原燃の瀬川です。
1:29:13	この今、11 ページで見ていただいたこの溢水に対する方針とは違う添付書類ですね、あれなんて言いましたっけ、可搬型設備と、
1:29:23	アクセスルートに関する設計、
1:29:27	というような名前のですね添付書類が健全性説明書にぶら下がって作られてまして、そこで述べてたのが、今回の第2回申請ではそこで結論述べてたというような整理でした。はい。
1:29:42	小桜です。
1:29:46	コサクですけど、
1:29:49	そうそれー。
1:29:51	住み分けできるっていうのは、結局上流としてここでの所長と、その所掌が違ってますよっていうことだと思うんですけど。
1:30:01	なんでそう仕分けができてるんでしょうか。
1:30:11	はい。日本原燃の瀬川です。
1:30:14	こうしてですね体系的にというか体制、体系的な整理の入口ですけども、
1:30:21	何でそうできたんだっていうと、ちょっと苦しいところはありますね。はい。それが実態です申し訳ございません。以上です。
1:30:30	はい。
1:30:32	そこで説明するにせよ、ここでこれについてはそっちで説明しますとか、
1:30:38	つなげておけば、厳密にどこで分けしますって言う必要もないんですけど、
1:30:44	どっちで行くかよく考えて、説明いただければと思います。
1:30:53	はい。日本原燃の須川で承知いたしました。
1:30:57	はい。補足です。溢水としては論点ですので、最終的にどう書くかはさておき、この場所で議論ができるようにしといてください。
1:31:07	で、その下の化学薬品は溢水の想定の場合と大きく違うというふうにD Bの方では言って、
1:31:18	いますけど、S Aではどうなんだとかっていうところでは、
1:31:23	どう進めましょうか。
1:31:35	日本原燃の玉田です。
1:31:38	少々お待ちください。

1:31:45	政策にあるから大丈夫です。
1:31:50	いいです。元のタマウチです。
1:31:55	よろしいでしょうか。化学薬品に関しては、インプットとしてはF0になりますので、地震いっぺんにSです。
1:32:04	ということで条件が変わりますけれども、化学薬品漏えい対象分に対しては、耐震性を持たせる設計とすると。
1:32:12	いうところなので、そういったところがわかるように記載したいと思います。
1:32:17	はい。以上です。
1:32:18	はい。補足です。それで言うと、Dの引き継ぎと言ってますけど、1.2 S sという大きく、
1:32:30	考慮事項が追加になると。
1:32:32	いうことなので、それをしっかりと整理をして
1:32:38	薬品側に持ってくと。
1:32:41	いうことだと思います。そうした場合2、溢水の方もそうなんですけど、
1:32:48	1.0 S s といって 2 S s
1:32:54	どう、
1:32:54	やってくのをそれぞれやるのをまとめるのっていうのは何か考えありますか。
1:33:12	すいません日本原燃のタマウチです
1:33:16	1.2 と 1.1 はまとめて評価を、
1:33:22	記載する。
1:33:23	という考えで今いました。以上です。
1:33:26	コサクですわかりました。ちなみに、1.0 でやればいいものを1手にもやんなきゃいけないものっていうのが論理上あると思うんですけど。
1:33:39	それは仕分けしてますか。
1:33:42	それとも一律 1.2 だ、やっちゃうんですか。
1:33:46	2 本目で一緒でございます。すいません。はい。ここは対象範囲をちゃんと整理して、かぶるもの、かぶらないもの、それぞれ整理をした上で、

1:33:57	1.2で、上書きできるものは行っています。1.2が上書きされないものは1.0ですっていうのを、SA側でちゃんと整理をした上で、Dが引き渡すっていうことが必要なと思って、
1:34:11	多分現状はタカハシ、完全に多分その整理をした結果として重複していつて予測できるということで、鉄道も含めてSAR整理をして、B引き渡しますということだと思ってます。はい。
1:34:24	はい。
1:34:26	それからd引き渡すと言われてましたけど私としては、溢水薬品の添付書類の中で、対象範囲なんかをそれぞれ展開していただいて、
1:34:38	集約したところをこうなりますよということ、
1:34:42	説明いただければいいので、あまりDBSAという、その説明の中ではDB性はあるんですけど、引き渡す云々というよりは
1:34:52	それぞれやっていくって統合するっていうことだと思ってますけど、認識は合ってますよね。
1:34:59	はい、二本木でございます。私の言い方も中途半端にすいません。
1:35:04	研究所の今条件設定のところ、SD合流させますんで、まさしくおっしゃっていただいた通りと思います。はい。
1:35:11	はい。コサクですよろしくお願ひします。
1:35:17	多様性位置的分散はこの後にも続くんですけど、プラス何か議論しなきゃいけないことはありますでしょうか。
1:35:37	日本原燃のタマウチです。これまで、今野間医師を中心にですね、ちょっとお話をさせていただいて、この資料のまとめ方の方針はですね大分見えてきたと思いますので、
1:35:53	これをですね、他のところにも展開して作ってみたいと思いますので、
1:35:59	今、徳田市で何かというところはないという認識です。以上です。
1:36:05	はい。補足です。最初に確認したところだと竜巻はっていう話もありましたけど、
1:36:13	大丈夫そうではありますが竜巻ってどこに書いてあるんですか。
1:36:21	はい。日本原燃のタマウチです。竜巻は、1滴分散でいきますと、ページで16ですね。
1:36:31	16ページをご覧ください。
1:36:35	6ページのNo.25というところで、
1:36:39	ここがですね自然現象を受けてるところです。

1:36:43	設計方針の右のですね、6-1-1の4-2-1というところの下を見ていただくと2ポツ2ポツ1ポツ4、竜巻の影響を考慮する施設。
1:36:56	ということで、先ほどと同じようにですね、タイトル小項目を起こして、記載していると。
1:37:03	いう内容になっています。
1:37:06	次は今ご説明いただいた整理で、
1:37:09	展開しようと思いますので、結局細かく、
1:37:14	他がですね、S A特有な事項になりますので、
1:37:17	はい。
1:37:19	はい整理してみたいと思います。以上です。
1:37:22	高坂です。ここで固縛が出てくるという古藤は理解をしました。
1:37:29	明示されてない感じがしますけど。
1:37:32	そこら辺整理をして、現状書いてないけどこれ追記しますというようなことを書いていただいて、展開いただければと思いますが、これ、ここ見るとちょっと、
1:37:42	これまでの話と構造がちょっと違って、
1:37:46	6-1-1の、
1:37:51	4-2、すいません。
1:37:54	やって、6-1-1-4-2-1ということで書いてるんですけど、これって健全性説明書ですよ。
1:38:12	はい。日本原燃の玉置です。こちらの健全性説明書の一部になります。
1:38:18	はい。
1:38:19	なんですけど、
1:38:20	古作です。
1:38:23	真ん中の列見ると、個別設備説明書にも記載があるんですよ。
1:38:30	あの子、これまでの話だと、健全性説明書D部隊書いてますっていうところで展開をするってものは、個別設備はもう受けてませんということだったんですけど、
1:38:42	これは受けてますってなっちゃってて、
1:38:45	前後関係どうなのとか、いうのがよくわかんないんですけどどうなってます。
1:38:53	日本原燃能勢がちょっと私、先ほどの回答がまずかった例ですね、ちょっと今一度しっかり整理はさせていただきたいんですけども、

1:39:04	多様性位置的分散という観点でいくと、
1:39:09	36条の方針を具体的2、具体化する内容があるというので今個別の方の方針が書かれてますこれ似たようなこと書いてるんですが、
1:39:19	屋内で、一番すいません、ナンバー25の真ん中ほどの最初の2章の最初のパラグラフですね、これ屋外だけに保管する可搬型設備っていうのは、
1:39:32	竜巻を考慮すると、1ヶ所だけに集中して置いとくとまずいんで、屋外で2ヶ所、複数の箇所に分散して保管しますという説明です。
1:39:42	一方で、第2パラグラフで書いてある、屋内で使う可搬型の建屋内ポツチね。
1:39:52	今コサクさんなんかがおっしゃる、
1:39:55	前の発言、
1:39:57	はい。国内で使うものについては、その使うたびに保管しつつ、さらに100メートル離れた保管場所にも保管する、屋外には1ヶ所、
1:40:08	というようなこういったちょっと微妙な違いがあるということによってちょっと記載を展開してたものになります。ただ、先ほど私が答えたことに対してちょっとギャップする内容になってますので、どういうものが展開されてどういうものが展開されないのかというのは今一度きちんと整理させていただきます。以上です。
1:40:26	はい、古作です。その意味だと、ここは展開するものとししないものがまざっているということなのかなというふうにお聞きして思いましたので、
1:40:37	そういった場合にどう書くのかということのを備考でうまく仕分けをしてですね、わかるようにしていただければいいかなと思います。よろしくお願いします。
1:40:51	はい、承知いたしました。
1:40:55	コサクです時間が大分経ってしまいましたけど、環境条件の方は、
1:41:03	最低限な話をしておくべきことっていうのをまず、原燃の方から言っただけですでしょうか。
1:41:24	日本原燃のタマウチです。少々お待ちください。すいません。
1:41:30	右上のセガワです環境条件でいきます。25ページのNo.18からになります。

1:41:43	はい。先ほどの分散配置に関する方針の内容はちょっとここでは省略させていただきます、環境に対するものだけを書いておるところで、
1:41:53	竜巻に関しては、先ほどの溢水のようにですね、ジャンプアップするような条件というのが基本的になく、設計基準と同じ条件設定といったところもあって、特筆すべきところはないかなというふうに思っております現状。
1:42:10	唯一固縛という観点が入ってきまして、一応今の資料上ですね、26ページの、
1:42:19	括弧g、固縛装置なんていうのはですねこういったところできちんと固縛の観点をこの環境として、拾っているということでございます。この広い方が本当にこういう広い方でいいのかというのは、
1:42:32	また追加で提出させていただく資料にきちんと悪影響防止っていう方もこの
1:42:38	付け加えた上でですね、妥当かというのは改めてご説明したいと思います。以上です。
1:42:45	はい。補足です。
1:42:48	今のところ私ちょっと追い切れなかったんですけど、
1:42:53	これも許可から言っていたことではあるんですけど、環境条件Dの書いてることの方が詳しく、
1:43:00	書いているということなのかなと。
1:43:03	少なくとも表の中でもですね、
1:43:05	そうすると一多様性位置的分散の時に、環境条件に飛ばして、
1:43:11	整理をしてますとか、
1:43:14	いうもの等プラス考えてますっていうことで仕分けをするっていうこともあり得るのかなと思ったんですけど、その辺りは何か考えてますか。
1:43:35	はい。
1:43:35	日本、
1:43:38	人間のタマウチです。
1:43:42	植野前主席部さんの中でも、
1:43:47	真木木村さんを図ること。
1:43:49	項目。
1:43:50	とかあと意識皆さんわからない場合は、その設備自体で健全性を保ちますような記載がありまして、

1:43:57	そういうところについては環境条件でどういう環境なのかっていうのを示した上で、
1:44:03	強度評価ですとか、そういった方に飛んでいきますので、
1:44:07	そういう仕分けはあると思っておりますのでそこはわかるようにしたいと思ってます。以上です。
1:44:12	はい。補足です。今言われたのは、多様性位置的分散でそういう方針を変えているところは、健全性については環境条件側の、
1:44:24	業該当する業務に飛ばす。
1:44:26	記載押す履行ですするというふうに言われたと思っていいですか。
1:44:34	はい。日本原燃のタマウチです。はいおっしゃる通りでそういう整理になるところがあると思うので、それは備考にしっかり記載しようと思います。
1:44:43	はい。補足ですわかりました。
1:44:50	環境条件についても、記載ぶりはさっきと同じようにやっていけば書けるのかなあと。
1:44:56	も言いますので、作業をいただいて、今多様性位置的分散と環境条件の関係性ということでも、
1:45:07	健全性という関係からは環境条件に飛ばすということで、話ができたと思ってんですけどそれ以外に何か気になることありますか。
1:45:23	はい。日本原燃のタマウチです。それ以外のところは原燃からはございません。以上です。
1:45:34	はい、古作です。そうすると最初に確認させていただいたところ今日のヒアリングでの達成目標という意味では、最低限、
1:45:43	できたっていうところでいいんでしょうか。何か
1:45:47	他にアイテムがあれば、お話をいただきつつ、また振り返りじゃないですけど、全体整理数の、いつとか、その感覚を教えていただければ、
1:46:06	はい。日本原燃のタマウチです。まず、全体の今回の実績分散環境条件、大体ですね、ご議論させていただいて、
1:46:17	設計条件の示し方、あと関係のつけ方っていうところはよくわかりましたので、それに従いまして、まず資料ですね、再度作りたと思います。その中では、
1:46:30	僕必ずべきこととしてはアクセスルートについてですねまだ記載がなかったりですとか、

1:46:36	あと設計条件としてされてない記載ですね、1.2 節の話ですとかそういったところをしっかりと見えるようにして、記載をしていきます。
1:46:46	全体の作り方としては、今申し上げたところが上顎になると思います。
1:46:53	スケジュール感なんですけど、
1:46:57	お待ちくださいいません。
1:47:02	現状金曜日に再度出し直すことにしております。
1:47:08	まずは金曜日の目標で、ちょっと今のご指摘いただいた事項を反映したものでかつ、悪影響ですとか、
1:47:21	試験検査性ですとか、交通容量、
1:47:26	含めたものを、
1:47:28	4000 万。
1:47:29	はい含めたものですね。
1:47:31	(18) 観光の大体安全冷却水系をまずは一つの枠組みとしても出し、
1:47:38	ということで考えています。以上です。
1:47:43	古作です。今日話をしたことがちゃんとキャッチアップできてるのかとこのを確認する上では、その断面で見るのもいいかなとは思んですけど、結構
1:47:57	受け渡しのそれぞれでちゃんと書きましようねとかということがあってですね、さらに項目も増えると、ということなので作業量としては結構な分量に、
1:48:09	なってますし、しっかりとチェックしてもらわないと、混乱するだけかなっていう気もするので、
1:48:19	そうしっかりと詰めるという作業は、
1:48:21	継続してやっていただきたいと思います。
1:48:25	そその作業イメージでいつぐらいまでにどういうレベル感でと。
1:48:31	いうことをまた説明いただければと思いますのでよろしく願います。
1:48:36	で、念のため確認ですけど今日やりたかったことってのは一通り話ができたっていいんですよね。
1:48:46	はい。日本原燃のタマウチです。そうですね今日お話したかったところ 10 時 17 について、発生してると思います。
1:48:54	あと萩尾。

1:48:56	もうこのデッキだった後、どの断面で何を出すかについては、今おっしゃっていたところを踏まえて、
1:49:04	朝の朝にですねちょっともう一度、
1:49:08	先ほど示させてすみません、説明させていただければと思います。以上です。
1:49:14	はい。よろしくお願いします。古作です。
1:49:17	念のためですと、くどくて申しわけないですね。第1票しか話してないんですけど。
1:49:22	第2章って、
1:49:25	どうするつもりなのかって何か話ししなくて大丈夫ですか。
1:49:28	現状見てるとただ並べただけこれが
1:49:33	共通12に繋がる1歩通の整理ができてる状態っていうふうには思えないんですけど。
1:49:42	どうするんですしたっけ。
1:49:48	はい。日本原燃野瀬がその代表相場コサクさんが一ご指摘された通りですね、第1表でまとめていた情報を、じゃあどこにどういうふうに分けてんのというのをただ散らしただけの資料に、
1:50:01	なっておりますので、
1:50:04	まずは、第1表、
1:50:07	をですね、しっかり、今日のコメントを踏まえて、情報拡充させていただき、いただいて、その先にですね、書き分けの整理というのもございますので、その断面で改めて第2表の形で、
1:50:21	全体俯瞰して見えるような形につなげていければなと思います。
1:50:26	はい。以上です。
1:50:28	はい。補足です。今日はおかわり、
1:50:32	もし、
1:50:34	と。
1:50:35	念のため確認ですけど、
1:50:37	53ページ。
1:50:40	に行くと、右側2列にようやく記載が入ってくると。
1:50:46	いう感じになってますけど。
1:50:48	これって何を書いているんですか。
1:50:53	それより左側

1:50:55	申請書の書面でこういうふうになってますってことを書いてるのはわかるんですけど、2列が、何の意図で書いていて、今後どうしてくつもりなのかっていうのが、
1:51:05	この記載だと分かんないんですけど。
1:51:11	日本原燃のタマウチです。右の2列はですね、
1:51:16	まず、右から2番目は溢水ですとか別の
1:51:22	詳細設計と言います仮設コ添付に飛ばしている詳細説明。
1:51:29	を書いておりました、
1:51:32	設計基準と比較すべき。
1:51:35	溢水の方針ですとかそういうものがある際に、設計基準の記載事項と比較する際、比較するためにですね、
1:51:45	別になります。
1:51:46	ちょっとばかり、日本原燃のセガワちょっとだけ補足させていただきますと、一番右端のですねまず設計基準に関する記載事項、ここは完全に勇み足というかまだまだ早い。
1:51:58	両方で、ここはまずいらなかったかなと思ってます。右から2番目の、
1:52:04	設計方針等と書いてある部分ですねこれ先ほど來說明させていただいた、例えば34ページとかで、
1:52:14	環境条件の溢水の話で、こういうふうに設計方針展開していきたいんだよなんていうのは、具体ハッチングしてるところを示しましたが、この内容が、先ほどの50、
1:52:27	何ページでした。
1:52:29	53ページとかの右から2番目の中に入ってきている。そんな整理をしたところでした。以上です。
1:52:35	コサクです第1の話をしていたところでいうと、
1:52:40	右から3番目の折、
1:52:42	第2条の右から3番目の列に入るもんなんじゃないのと。
1:52:46	いう、或いはもっと左かもしれないですけど、というような気がするんですけど、抜き出させていただきたいっていうなら書いていただいても結構ですが、位置付けは、
1:52:59	理解できるようにしておいてくださいということと、一番今のみ一番右のやつを書くのは別にいいんですけど、
1:53:09	肝心な第1表で言ってる備考の部分が書いてない。

1:53:13	の並べただけじゃ意味がないんですよ。
1:53:17	それは、
1:53:18	まだ作業中だから書けてないだけで、次の番では書きますってこといいですか。
1:53:26	日本原燃の瀬川です。ですね、これ野田第1表の見せ方を変えているだけ。横軸のどこに何、項目だてをするこの与板元というのはあるんですけども、
1:53:40	見せ方変えてるだけでして、
1:53:42	例えば縦軸方法に備考を設け、横軸方向の備考を設けてですね、何かここはこういうふうに展開するんだっていうのを、各々のカラムに対して備考で説明すると、先ほど古作さんから、第1表でいただいたようなコメント対応をしていくのと同義になっていくかなっていう印象。
1:54:00	です。はい。で、今まずそこまでやるかというですね。
1:54:04	まずは第一歩をしっかりと認識でした。
1:54:09	コサクですごめんなさい、もういい加減方針固めなきゃいけないんじゃないですかということでお話をしてですね。
1:54:16	4月の会合で説明する気がないならいいんですけど、
1:54:21	スケジュールを整理をしてください。で、少なくとも第1表で話をしたようなことが、第2表でも話ができなきゃいけない。
1:54:30	ということで潰しこまなきゃいけないということは認識をしてください。
1:54:34	で、第1表で説明済みですっていうことであれば、その旨を備考に書けばいいんであって、それでしっかりと認識共有できると思いますから、次の番で、
1:54:46	どうしていくつもりなのかは説明できるように、
1:54:48	お願いします。
1:54:52	はい。日本原燃野瀬が承知いたしました。
1:54:57	成長のタジリです。スケジュール関係で1点だけ聞いておきたいんですけど。
1:55:01	D B S AからDBに飛ばす内容っていうのは、何かいつごろ整理できそうなんでしたっけ。結局、中身の話でどっちかっていうと、
1:55:16	日本原電の瀬川です。それこそ
1:55:19	もう決めなきゃいけない。
1:55:21	C具体的に潰し込んでいかなきゃいけないところだと思ってますので、

1:55:26	その次回提出通番ではですねそこら辺しっかり、
1:55:31	ご説明できるような情報を付加したものを渡さなきゃいけないという認識ではあります。
1:55:37	いつだといういうとですね、1回ちょっと作業としてして、ご説明できるような情報の方が進んでいっておりますので、明日の朝ミーティングでご報告、
1:55:47	できるように、準備いたします。以上です。
1:55:50	はい。規制庁館です。ちょっと途中傷取りづらかったんですけど明日の朝ミーティングで、少なくともスケジュールを教えてもらえてことで理解したのでよろしくお願いします。
1:56:07	いいですか。
1:56:08	規制庁の藤丸です。で、朝明後日午前中にヒアリングのメニューとして言ったのは、00資料の別紙があったんですよそれは午後1とか、
1:56:20	サクッとやるっていう感じでいいですか。元がいいですか。
1:56:29	はい。日本原燃のタマウチです。
1:56:31	はい僕も一番で入れさせていただければ幸いです。
1:56:35	規制庁の藤村です。わかりましたじゃ、午後、SAの閉じる資料からヒアリングを開始したいと思いますのでよろしくお願いします。
1:56:44	清町田島の午後1っていうのは一時1時15分1時半とトレード、もともとは1時半からヒアリング予定だったと思うんですけど、どこに今行きました。
1:57:00	なんかはないですよ。5分ぐらい。日本原燃の瀬川です。
1:57:05	原燃としてはですね1時15分でも、
1:57:08	全然構わないと思っております。
1:57:11	規制庁フジワラ部長です。1時では、1時15分からでやりたいと思いますのでよろしくお願いします。
1:57:21	はい現に承知いたしました。
1:57:23	それでは午前中の衛藤ヒアリングを終了したいと思います。録音停止します。
0:00:00	国を廃止しました。
0:00:02	ありがとうございます。それでは日本原燃株式会社のヒアリングを開始したいと思います。

0:00:08	本日のヒアリングは朝について令和2年或いは5年3月10日、13日に申請の提出のあった資料をもとにヒアリングを行うものになります。
0:00:19	まず規制庁側の出席者ではですが、本庁側からの紹介をお願いいたします。校長会議室の藤村です。本庁会議室からの出席者は、
0:00:29	古作調査官タカナシフジワラオオハシです。
0:00:34	はい、ありがとうございます。WEBからはセトガワとなります。
0:00:38	それでは日本原燃から、出席者安里同じだと思いますし、議題構成とかの話もあったので、資料紹介率の三浦です。
0:00:48	ちゃんと出席者の紹介をしてもらって、
0:00:52	はい、わかり。
0:00:53	それでは日本原燃から出席者の紹介です。
0:00:58	はい。日本原燃事務局中浜です。
0:01:01	参加者紹介いたします。まず事務局より、昨今、川路委員、清菅は、久慈委員の
0:01:10	イシハラナカハマ。
0:01:14	英語関係でございますけれども、取りまとめでホリグチタマウチ。
0:01:19	計装関係で、
0:01:22	オオシナ。
0:01:23	燃料プール関係で、ハヤシアボ。
0:01:28	タケウチ。
0:01:29	防災関係で、クドウとなります。
0:01:32	共通12関係につきましては改めてメンバー紹介させていただきたいと思います。
0:01:38	それでは0側の方、SAに関する0の方について、説明を開始させていただきます。規制庁高橋です。説明ですけれども修正は何だろう。
0:01:50	主なポイントですとか、特段説明が必要なところに絞って説明していただければと思いますのでよろしく申し上げます。
0:02:01	起きていたまだ横串が取ってない部分とかの説明も含めてお願いします。
0:02:10	はい。日本原燃のタマウチです。
0:02:13	重大事故のですね、0001の説明をおっしゃっていただいた通り要点を絞って説明させていただきたいと思います。

0:02:21	まず資料全体の構成からですね、上は、えっとですね令和5年3月13日付の蒸発乾固0001と、
0:02:31	水素爆発001につきましては、前回の
0:02:37	蒸発乾固のヒアリングコメント反映をさせていただきました。それを水素に展開しましたというのが生活になります。
0:02:45	一方ですね、
0:02:47	水供給どうぞビジネスとか、サポート系条文に関しましては、
0:02:52	今回、これまでの蒸発乾固のですね、
0:02:57	ヒアリングでもご指摘を受けて、横展開を図って作ってきておりますけれども、
0:03:01	特徴といたしましては、水供給ドロドロする1令和5年3月13日のですね、28ページをご覧くださいなのですが、
0:03:16	はい。28ページからが、事業変更許可のですね、8号、あと添付書類渡し、
0:03:23	の溶かし込みに関する別邸になっております。サポート条文は、
0:03:28	テンパチに有効性評価ございませんので、特徴としてですね、各事故条文の資源をまず抜いてきちちゃの罵声していますと。
0:03:38	いうところで、具体的にはこの28ページの左から2列目ご覧くださいと臨界事故、
0:03:44	の必要な要員資源と書いてございますけれども、
0:03:47	このような形で、臨界乾固水素Peopleというふうですね、ちょっと必要な資源を引っ張ってきて、そのあとにですね、
0:03:59	60、
0:04:02	65ページからになるんですけども、
0:04:07	はい有効性がなかったというところで、こちらですね添付書類8の技術的能力の手順のところですね、添付1のところを引用してきてですね。
0:04:17	今回、設工認の基本設計方針に特化した必要があるところはないかと、というような整理をしています。
0:04:25	まず全体については以上になりまして、この後、各条文からですね、特筆すべき事項というかお伝えするところを伝えていこうと思いますけどまずは、
0:04:36	それでよろしいでしょうか。以上です。
0:04:41	はい。規制庁高ですその形をお願いします。

0:04:48	はい、長知念のタマウチです。承知しました。そうしましたら蒸発乾固からまずですね、申し上げておくべき。
0:04:56	晴天ですとかコメント反映内容を説明させていただきたいと思います。
0:05:01	まず7ページをご覧ください。
0:05:03	すいません資料は蒸発乾固 0001 ですね、の7ページの中で7ページになります。
0:05:10	共通項目の9分の1ページというところがございまして、こちらのですね基本設計方針に、
0:05:18	事故の要因に関する記載を、
0:05:22	二つ、パラグラフ追加させていただいております。これ自体はですね、右側に書いてございますけれども本文8号の方ですね。
0:05:31	この要因を話してるところがございまして、
0:05:34	そこを引用して記載を追加させていただいております。
0:05:38	こちら文章の繋がりが良くなりますように、次のですね、3段だけの冒頭にも文章を追加させていただいて、
0:05:46	記載を整えているというのがまず1点目の反映事項になります。
0:05:51	はい。
0:05:53	2点目ですけれども、あとですね、申し上げておくべきところとして、
0:06:00	19ページをご覧ください。通しで19ページです。
0:06:05	はい。
0:06:06	平成箇所でちょっと青字になっているところがあるんですけども左上の技術基準規則のところ、
0:06:15	4項目の要求事項ですね。
0:06:18	法律家の、
0:06:19	香港の影響緩和に関するところで、以前この隣管 02 というものがあったんですけども、その方針隣管 02 というのが何かというと水封安全器を使うことなんです。
0:06:32	本質影響緩和
0:06:34	反映されたルートからフィルタを介して放出するっていうところで水封安全祈願のルートが入っているのはおかしいので、隣管に置かせていただいているっていうところを少し変更してございます。
0:06:46	はい。
0:06:47	あと、20ページをご覧ください。

0:06:53	20 ページの事業変更許可申請書ですね、中ほど、前四半期等についてですね、
0:07:02	グレーハッチングになってることについてご指摘をいただいでいて、こちらですね、ちょっと理由を書き出しておりますし配置等自体は、先ほどの 19 ページの一番下にあるんですけれども、に使用する設備として代替換気設備の主排気塔ということで、
0:07:19	話を出しているんですが、こちらの 20 ページの真ん中はですね、以前は気体廃棄物の処理設備で他の所に飛ばしていたので、こういう飛ばし込みの記載があったんですが、今回自重分の設備として説明するので、
0:07:34	この飛ばすってのはいらないので、今の再度という整理にしております。
0:07:39	はい。
0:07:41	あとですねですね。
0:07:46	あとは全体的に等の拡充をしているのと申し上げたところで 24 ページをお願いします。
0:07:56	24 ページの一番左下の肥田 C ですね。
0:08:01	これ以前ですね点検補修、保守点検について、
0:08:06	理由を書くようにということで書いていたんですが、今回ちょっと非常に、
0:08:12	長くなってですねわかりにくかったので、一度 36 条展開という記載の適正化ということでちょっとシンプルにしています。
0:08:20	弊社事業者としての考え方なんですけれども、
0:08:25	保守点検点検補修、基本的に同じ意味なんですけれども、点検補修という言葉でね、点検によって異常の有無を確認して、
0:08:35	保守により正常な状態を保つという考え方から、重大事故の対象設備のですね建設を保つという意味を、
0:08:43	考えまして点検保守で統一しております。
0:08:46	点検補修言葉自体は、技術基準規則の 36 条でも使ってますし、事業指定基準規則のですね 33 条でも使われてるので、そことも整合がとれていくと。
0:08:57	いうふうに考えておまして書くとすればこういった内容、すいませんちょっと追加で記載しようかというふうに考えております。
0:09:04	はい。

0:09:05	とですね、あとはすみません 28 ページをお願いします。
0:09:12	28 ページの吹き出しが三つございまして、手動操作と弁の操作ばらけていたんですけども、こちらが
0:09:22	手動操作をですね、操作で統一するというので、
0:09:28	訂正させていただいております。
0:09:30	これは 36 条要求自体で 36 条の方ですね、
0:09:35	面については手動で操作するものであるというところをですね明確に書いてあるので、手動操作することは明らかであるということから、手動決して操作ということを書いております。
0:09:47	はい。
0:09:50	あとはすみません変更って最後ですね 43 ページになります。
0:09:56	43 ページの基本設計方針青字部分については、
0:10:01	えーとですね、こちら悪影響の防止のところの記載になるんですけども、
0:10:07	MOX と共用する設備についてですね。
0:10:11	前、前の記載では目標の 9 については個数を示しますしか書いてなくてですね、ちょっと意味の通りが悪かったので、こちらはですね、ちゃんとですねこういう車 MOX と共有する方については、MOX と共用して使うことを考えて、
0:10:26	十分な数量を確保して悪影響をおよぼしませんということを書いた上で、個数の方に展開すると。
0:10:33	ということをですね、書かせていただいております。
0:10:36	はい。
0:10:36	というところが、3 号ではですね。はい。
0:10:41	ご指摘事項含めて、伝えておくべきかと思っております。
0:10:46	はい。
0:10:48	次の水素爆発に進んでよろしければ進みますけど、水素爆発についてはですね今の観光の横展開を図ったということで、同じような修正がなされているので、時間もないので、
0:11:02	詳細説明はいたしませんけれども、
0:11:07	同様の展開がなされているという状態になります。
0:11:10	1 回切りますか、それともこのままあのサポート条文の個別変更点のお話をしてもよろしいでしょうか。

0:11:17	一旦切った方がいいかと思います。はい。
0:11:22	高橋です。すいません。
0:11:24	はい、それでは先ほど説明のあった蒸発観光等について、質問の下、規制庁側から質問のある方、よろしく願いいたします。
0:11:36	一番頭で確認されます。
0:11:41	規制庁高橋です。下確認、念のための確認に近いところがあるかと思いますが、ちょっと 35 ページだとか、
0:11:52	今回の修正、淡路淡路課長修正勝だと思えますけれども、35 ページで、
0:11:59	10 分の設定の考え方の四角 4 重複の記載っていう、が追加されてるんですが、このところで、説明文が大体換気設備で説明する事項って書かれてるんですが、
0:12:10	この別紙 1-2 の②っていうのは、これ大体換気の説明のところかなと思ったんですが、これちょっとどういう意味なのかっていうのを少し解説していただけますでしょうか。
0:12:22	はい、日本原燃タマウチです。
0:12:24	こちらですね 35 ページの四角 4 は、20 ページ通しで 20 ページのところに登場しております。
0:12:33	20 のですね、事業変更許可申請書をご覧になっていただくとあるんですけれども、
0:12:41	主排気塔がですね、事業指定申請の際には気体廃棄物で整理されていたので、
0:12:47	市長の北井廃棄物側に、
0:12:50	読み込みをですね、出していたんですけれども、
0:12:53	出しておりましたんで、今回これを反映するかどうかって言ったときに、
0:12:58	基本設計方針では、主排気と大体換気設備として記載しておりますので、
0:13:03	今回このような事業支援でやっていたようなですね。
0:13:07	他の庄野小橋込みは不要だということでそれを説明したくて、35 ページの施策 4 というのを作ったんですけれども、
0:13:14	ちょっとわかりにくい記載があるので少し工夫してみようと思います。
0:13:19	芹沢様はこのこの部分で書きますという意味。
0:13:22	という理解でよろしいですね。

0:13:25	阿保さんとりあえずはわかりました。ちょっと読み方も出てくる。
0:13:30	ちょっと、
0:13:31	音声でやってるとか、粥、もうちょっとちゃんと名前言って、順番にこうやるやり方しないと。
0:13:40	すいません規制庁高松です。今の点は、この部分で書くということで理解いたしました。
0:13:51	規制庁の三村では、
0:13:53	梶原です。
0:13:55	すいません、33 ページ 4 ページ 5 ページ辺りの各条文の設計の考え方のお話ページ今多分開かれたりとかするのでちょっとそれに関連してお聞きしたいんですけど。
0:14:06	33 から 34 ページとかにある。
0:14:10	部分で、
0:14:13	例えば、
0:14:15	城伴。
0:14:16	12 とかで、計測制御設備に係る事項とか、そのあとにも代替電源設備に係る事項っていうふうな、
0:14:27	行があったようがあって、そこには店舗車両のところがいいって書かれていて、大体換気設備に関する説明書とかっていうふうになってるんですけど、これってもうこういった、
0:14:40	江藤ほかの条文の中で整理されている設備に関する事項であっても、一旦はこの説明書の方で受けるって形にされてるってことなんですか。ちょっとせ、整理を聞かせてください。
0:14:56	はい。日本原燃のタマウチです。
0:14:59	今ご指摘いただいた他の設備、計装設備ですとか代替電源設備 1 度添付書類で使うものを展開した上ですね、
0:15:11	細かいところは、他の条文で説明をするという整理しておりますので今回、まずというふうにはですね、整理させていただいております。以上です。
0:15:22	規制庁の藤村です。じゃあそれは、他の事故条文も全部、状況にあるって考えていいですか。

0:15:38	規制庁のフジワラですわかりにくかったかもしれません。10、事故条件については同じような整理をしていて、他の設備、他の情報で受けるような設備であっても、とりあえずは自分の
0:15:51	説明書の方で一旦展開をしてそこから出ていくというか、関連性を持たせていくっていう形で整理されてるって理解でいいですか。
0:15:59	日本原燃のタマウチです。はいおっしゃっていただいた通り、実行上図はそういう整理しております。以上です。
0:16:07	規制庁の藤原です。そうした時に今すいません、蒸発冷却機能
0:16:14	だから、
0:16:14	こうやっているんですけど、設備処分を同じような展開をされてるって思っていていいんですかね。
0:16:25	日本原燃タマウチです。少々お待ちください。すいません。
0:17:03	規制庁の藤原です。結構時間かかる。いやいや、すいません日本原燃のセガワで申し訳なかったですね。例えば、計装設備、
0:17:13	なんていうのは、計装設備動かすために、他条文の電源設備の電源を借りたりするんですね。そういった意味で計装設備を活用していくためには他設備の電源を活用するので、
0:17:27	その場合はですね、計装設備の添付書類の中で、計測設備使うために電源設備を使えます。なので電源設備はあちらの所に書いてあります、というような事故条文がサポート条文を読み込むと同じような整理を一部やってる部分がございます。
0:17:44	ですので藤原さんの越して聞いに対してはですね、サポート設備条文側もですね、別紙1の②ではですね、まず一旦自分の
0:17:54	設備で受けると、というような整理になってございます。以上です。
0:17:59	規制庁の藤村です。整理としてはそうしたかったのかもしれませんが、今の状況で考えるとすいませんもう先の資料にいちちゃっているので申し訳ないんですけど、通信とかであれば、
0:18:14	38 ページに、10 番、11 番というふうに情報が計装設備に関わる事項等、放射線監視設備とか環境管理設備に係る事項があってそこはバーになっていたりしています。
0:18:27	また、
0:18:29	情報が関係する説明書に飛ばしている。
0:18:33	江藤状況にあるものある。

0:18:35	という状況。
0:18:37	でした。私が確認したところで言うと、衛藤情報によってバラバラな特に、事故情報の方ではそろっていきうなんですけど、それが設備条文とはずれていてまた設備条文は、それぞれの
0:18:49	条文の方の説明書下の方が説明するじゃないすみません。
0:18:54	整備がえとばらついているという状況だったかと思いますので今一度確認し、
0:19:09	これは日本原燃のセガワで承知いたしました申し訳ございません。
0:19:17	規制庁高梨です。ちょっと細かいことではあるんですけども、今回 60 分出てきたうち、蒸発乾固の先行した部分につきましては、最初の方のページ修正の状況ですね。
0:19:30	見ると一応未対応事項なしというふうになっているんですが、三田監事ちょっと誤字誤記というかそういったものが残ってるようなので、その辺のところはちょっと確認して、もう一度改めて修正の方をお願いします。
0:19:41	ちょっと 1 例を問い、言っといたほうがいいかなと思ひまして、例えば
0:19:48	10 よ等 44 ページですね。
0:19:52	で、土肥知事、海老河本奈良添付 6 のところの記載のところ、上から二つ目の四角の中の、b ポツの中の記号ですね。
0:20:02	058 とか㊸これ多分㊸の何か状況だかその文字が多分入るのかなと思うんですね確認をお願いしたいとかですね、あと、
0:20:13	40 投資 45 ページかな。
0:20:16	投資 45 ページの一番下ごめんください。基本設計方針の施工鉄工の基本設計方針の一番下のパラグラフですね。
0:20:26	のところの生最後から 3 行目 2 行目にかけての放射線分解により発生する水素による爆発のところに鍵括弧ついてるんですが、隣の欄を見るとついてないとかそういうのちょっとその辺ところ確認そういったところ含めて全体ちょっともう一度、
0:20:41	確認いただければと思いますのでよろしくをお願いします。
0:20:44	以上です。

0:20:48	はい。日本原燃のタマウチです。はいおっきいとですねまだ残っているということでは申しわけございませんでした。最後、いただいた鍵括弧をつける場所はですね、
0:20:59	今回自己名称を説明する際には、鍵括弧をつけて統一するということで考えて、記載はしていたのですけれどもちょっとそういうところですね訂正してるのであれば、訂正がわかるようにですとか、
0:21:12	あと一貫してそれがなされているかっていうところをちょっと改めて確認させていただきたいと思います以上です。
0:21:17	規制庁高津です。よろしくお願いいたします。以上です。
0:21:23	それでは規制庁側から他に質問ある方いらっしゃいますでしょうか。規制庁大橋ですけれども、蒸発乾固でもないんであればそういういきますけれども、大丈夫ですかね。はい。水素に関して、何点か、
0:21:37	確認をしたいと思います。規制庁は施設、水素の資料の12ページをご覧ください。はい。
0:21:48	藤。
0:21:50	12ページで、基本点検方針の左から2列目の基本設計方針の箇所ですけれども、
0:22:02	すいません。
0:22:05	ちょっと確認したいんですけども、
0:22:08	2段落目のところはその754度に至ることはないから云々というふうな記載があって上の段落を見ると、発生温度に至らないことから云々というふうな記載があって、
0:22:18	ちょっと構成をがとれてない、いいかなとは思うんですけどもいかがでしょうか。
0:22:27	はい。日本原燃のタマウチです。刀禰はいすいませんちょっとさん137度の方はですね具体的な値を本文で書くべきではないかと考えて、呈していたんですけど、すいませんちょっと74度の方もですね、
0:22:42	そういう趣旨でいくと、整合をとるべきだったので、こちらすいません見直させていただければと思います。以上です。
0:22:49	はい。よろしくお願いいたします。あと
0:22:55	ちょっとこれも確認ですけれども、12ページの基本的方針の一番下のところで、

0:23:03	許可申請書の方ではユニットっていうふうに書いてあってこちらの方では主配管というふうに書いてあると。この辺、以前、
0:23:12	蒸発乾固のところでも指摘し、系統ユニットにしているというような話があってこれ整理するというようなお話があったんですけども、何か整備の結果等は何かありますでしょうか。
0:23:26	はい。日本原燃のタマウチです。以前ここの基本設計方針のですね、記載が系統というところを書いていたんですが、やはり系統の使い方の意味としてですね、ここで趣旨。ここで示したかったのは配管だけであってですね、
0:23:42	系統という言葉を使ってしまうと、意味がちょっと違ってしまいます。
0:23:46	ということから、ユニットは主配管ということで、訂正させていただいたということになります以上です。
0:23:53	はい、わかりました。衛藤。
0:24:01	うん。
0:24:05	これ設工認での設備認証を考慮した変更というのがそのことなんですかね、この日吹き出しで書いてある。
0:24:13	はい。日本原燃のタマウチです。はい吹き出しはその通りです設工認での主配管という名称ですね。
0:24:20	考慮して変更しています。以上です。はい、わかりました。他の箇所もユニットって書いてあるところは、同様に修正をしてあるということですのでよろしいでしょうかすべてちょっと全体的、
0:24:33	確認ですけども、ほかにここの箇所ぐらいですかね。
0:24:40	はい。日本原燃のタマウチです。ここの箇所を、
0:24:44	がですね該当箇所だったと考えておりますので、はい。他は大丈夫だと思います。出野ため確認しますけど大丈夫だと思いますはい。以上です。はい。今後ちょっと次、見ていただければと思います。
0:24:56	あと 32 ページですけども、
0:25:06	ちょっとこれは、
0:25:08	32 ページの基本設計方針のところ、青字でまたというところで記載していただいたの書いてあって、この
0:25:18	吹き出しのところを見ると 36 条展開等の記載の適正化と、いうふうなことが書いてありますと、一方

0:25:27	整合をとってもらえればいいと思うんですけども、水供給の方の 24 ページの方とかでは、ここ、他のところは衛藤都築 36 条との
0:25:38	追記したというふうな感じで書いてあって吹き出しがその提防取れてないと思われました。
0:25:43	いかがでしょうか。
0:25:49	水局の方の 24 ページですね。はい。
0:25:57	はい。日本原燃のタマウチです。
0:26:00	はいそうですねすみませんちょっと水供給と、おっしゃる通り、
0:26:06	適正化というよりも、ここの部分でちょっと
0:26:11	どうぞ。はい。
0:26:13	お願いします。
0:26:16	何か言いかけた気がするんですけど
0:26:19	すみません日本原燃戸松ですけども、吹き出しの中身ですねちょっと整合とれてない。
0:26:27	かもしれませんので、
0:26:29	そうじゃないですねちょっと適切にすみません、整合とらせていただきます。この辺ちょっと精査不十分で申し訳ございません。以上です。はい。規制庁大橋です。また何々の箇所は、
0:26:42	補修を行うという話は許可とかには特段そういう名詞言葉そのものは出てきてないと思うので、適正化というよりも追加するというふうな表現なのかなと思うので、水供給の方はどちらかというのと、
0:26:54	適切な記載なきもするんですけどもその辺精査してて統一的な記載していただければと思います。はい。私からは以上です。
0:27:07	はい。日本原燃玉田でしようしました。
0:27:12	規制庁の藤原です。明日磯野。
0:27:15	70 ページとか 71 ページ。
0:27:19	なんですけど、8 号取り組みのところで、
0:27:23	70 ページに四角枠があって、藍住であるっていう話がかかれてるんですけど、8 号のところのどこの箇所なのかわからないので説明してもらっていいですか。
0:27:40	はい。日本原燃のタマウチです。70 ページの反映済みとか聞かせていただいているのは、ですね、フィルターも、
0:27:51	除染係数ですね、の設計の点になります。

0:27:55	それがですね、
0:27:58	今すいませんおっしゃっていたのは8号ですか8号のどこかということでしたかね、基本設計方針ではなくて、
0:28:04	規制庁の藤村です。そうですね8号のっていうところなんですけど白抜がどこかわからなかったんで、ていうかな、ないように見えていて、どこなのか教えて欲しいってことです。
0:28:22	はい、日本原燃の戸松です。
0:28:24	はい。すいません。
0:28:26	質問の主旨理解しました。
0:28:29	こちらですね、すみません8号じゃなくて、テンパチの、
0:28:36	ひし形の6、
0:28:38	がですね、書かれているところ。
0:28:40	が、該当箇所になりますので、
0:28:44	該当箇所になります。はい。
0:28:47	なのでここは、そうですね。
0:28:50	ROMキーになるべきところです。白抜きなのか。
0:28:55	規制庁の時は、
0:28:57	ということは、比較囲みに書かれている本文8号の何とかかんとかって書いてあるんですけど、テンパチの部分の、どこどこでって話も必要だったりとか、原発のところで、
0:29:09	ひし形で重篤だからっていうふうにハッチング出ちゃってますけど、そのところに本当は白抜きがあって、この部分でっていうのを適切に示していただきたいと思いますのでよろしくお願いします。
0:29:21	違う。はい日本原燃玉置です。はいすいません。
0:29:25	そうしましたちょっと、
0:29:28	はい。確認不足でしたので、はい。直させていただきます。以上です。
0:29:33	規制庁の藤村です。同じ状況なのかなと思うのが71ページにもう資格が込みで、同様な感じでは泉でやるって話があるんですけど、白抜きがどこかがわからない状況かと思っていますが同じ所
0:29:49	等、対応いただけると思っていていいのか私がちょっと見落としてて、
0:29:53	年抜きが見えてないだけなのかちょっと説明いただけますか。
0:30:00	違う。はい。日本原燃のタマウチです。

0:30:02	71 ページなんですけれども、そちらすみません、本文 8 号の方でいきますと、下から二つ目の段落で、
0:30:10	いうところで、高性能粒子フィルタ 2 段による除染係数を 10-5 乗と、
0:30:15	いうところございまして、こちらが白抜きになりますで同じようにですね、添付書類 8 でもう、
0:30:21	えーとですね一番下のところですね。はい。
0:30:27	そういったところ白抜きになるべきところが、セルドシリとフィルターのところを白抜きにしなければならないので、
0:30:33	そこをすいませんちょっと精査させていただきたいと思います。以上です。
0:30:37	規制庁の藤原ですよろしく申し上げます。
0:30:46	瀬川規制庁側から質問ある方いらっしゃいますでしょうか。
0:30:52	本町は大丈夫です。
0:30:55	わかりました。
0:30:57	ないようですので次の資料の説明の方をお願いいたします。規制庁の中で、
0:31:05	同じように検査
0:31:21	の根元のアポです。それでは、し、3 月 14 日に提出させていただきました資料番号プール 00-010 ビジョンについて、
0:31:32	簡単に説明させていただきます。すいませんちょっと修正が落ち着いてない箇所がございまして、比ページにしたページ 20 ページですね。
0:31:43	土佐条文の説明のところか、ところなんです、こことかと五味がちょっと合っていなかったんで、すいませんこちら次回提出時に、修正させていただきます。
0:31:54	その上でプールのところ、特出すべきところをご説明いたします。
0:32:01	このカードと同じように、本分 8 号やテンパチ取り込みを行っているんですが、
0:32:07	違うところといたしまして、プールについては、共通的に示す設計方針がないという整理をしておりますので、第 1 章ではなくて、第 2 章の個別設備、個別項目というところに、こちらの取り組みを行っております。
0:32:22	ですのでページ、右下 7 ページの、

0:32:26	下段のところですが、こちらが第2章の個別項目からスタートする形になっております。
0:32:33	具体的にどこに書いてますかということになりますと右下9ページですね、そちらの
0:32:40	方は適正方針の欄の1ポツ2ポツ1、こちらが撤去して設備が属する
0:32:46	項目になっておりまして、ここで、本文8号やテンパチの取り組みを行っております。
0:32:53	またですね取り込みに当たりましてプールの場合、許可の有効性評価の対象というのが想定事故1と想定事項になっておりますが、
0:33:04	一方でですね今回ここに出てくる設備としては、
0:33:08	許可の名称でいる想定事故2を超える漏えい、こちらの設備の設計方針もお伝えしているというところがございますので、
0:33:16	その想定事故1と2が対象となる設備というふうに、設立というのをしっかり明確、明確にして記載しております。
0:33:25	具体的に申しますと、
0:33:28	右下10ページですね。
0:33:30	10ページの方の下から、基本設計方針の欄の下から二つ目のパラグラフです。
0:33:38	こちらに上記に示すようによってっていうふうに書き出しがございますが、
0:33:43	この状況を示す要因によってってところが、想定事故1等に、
0:33:48	ここ対象を示しております。その3行目ぐらいのところ、またっていうところがございますがこちらが大量漏えいっていうところで、想定事故2を超える漏えいの話をしておりまして、
0:34:01	以降でそのすべての設備の設計方針を記載しております。
0:34:07	平成23ページまで書かせていただきまして、14ページからまた同時発生の説明になるんですが、その前に、また、
0:34:17	同時発生は想定事故1と2が対象になりますので、13ページの一番下、基本設計方針の欄の一番下のところで、
0:34:27	同期後っていう書き出しがございますが、ここで
0:34:31	当時発展を考慮する。
0:34:35	ものとして、想定事故1、2、

0:34:38	というところの絞り込みをした上で同時発生はこれこれですっていうふうな記載の、
0:34:44	ふうになっております。
0:34:45	以上、説明終わります。
0:34:52	個別、
0:34:53	続けてもらって、間、
0:34:59	はい、日本原燃の所です。それでは、45 条水供給 0001 の方で説明させていただきます。
0:35:10	こちらの方につきましては先ほど、全体の話の中で紹介があったことと重複する部分もあるかと思えますけれども、小谷野委員を重複するような説明は、
0:35:25	水供給の展開の仕方として例えば、通しページの 31 ページのところなんですけれども、こちらの方に個別事項、
0:35:38	元の水源の評価というのが書い記載してますけれども、こちらの方では展開せず、右側の該当しない理由のところまで 62 分の 25。
0:35:48	でまとめてますということで、60-25 の方では、
0:35:54	個数要領、設工認、旭君に本文の個数要領、
0:36:01	のところに展開してますというところをまとめて、
0:36:05	す。
0:36:08	こちらでまとめているのは、有効性評価の観光とあとプール燃料書道プールの重大事故に必要な数字をまとめてまして、水供給設備としてはその有効性範囲外の
0:36:22	評価範囲外の部分の水源も担ってますので、そちらの部分につきましては、
0:36:30	60、
0:36:32	66 ページ。
0:36:34	のところに
0:36:38	水供給の技術的能力、手順のところを引用しまして、こちらの方で有効性評価以外も、
0:36:46	放出抑制の対象ですとか航空機燃料火災の対象に必要な水源としているということ、
0:36:56	投入本部にもうすでに展開してますということで整理しております。
0:37:00	水供給設備としては以上になります。

0:37:04	安念能勢がちょっと補足をさせていただきます。水供給設備は、前回はずね該当箇所だけをですね、抜粋して、別紙 101 の別添という形でお示したものを、
0:37:18	今回全部拾った上で関係ない部分もお示したというのが変更点になります。で、水供給の何ページだったかな、00 資料の冒頭のところでできてることできてないことをまとめたページ 3 ページですか。
0:37:34	ホームページのところに、未対応事項で、別紙 1 の別添の条文化横並びの精査というのを見対応事項では 5、整理してました。
0:37:44	これ先ほどうちの方から紹介があった、ここは黒塗りにしてこっちにまとめてますみたいな記載をしてますっていう
0:37:54	設定しましたが、そういった部分がですねちょっと条文間でまだばらついているっていうのが見えていて、ここの精査というのは引き続きやっているとございました。以上です。
0:38:06	はい。
0:38:12	規制庁側から質問ある方いらっしゃいますでしょうか。すみません。まだ抑制があるか。放出抑制があると思うのでお願いします神統括主幹、説明したことがあれば、説明をお願いします。
0:38:34	すみませんしているし、
0:38:36	いやそれが抑制がないんだったら苦しいけばいいし、いいですか。
0:38:41	これは法律 4 日日本原燃のオオシナです放出抑制を特段説明することが、
0:38:49	ないということでしたので、続いて通信連絡設備の方の説明をさせていただきますと 3 月 13 日に提出した通信 S A 0001。
0:38:59	R 3 の資料を確認をお願いいたします。
0:39:02	まず、一番最初に、今回提出した資料で修正でききっていなかったところが確認できておりますのでその説明をさせていただきたいと思ます。藤。
0:39:14	右下で 28 ページのところに、36 条展開に関わる設計方針を記載しておりますのでここについて今回、
0:39:24	多様性知的分散、悪影響防止といったような章立て、項目立てをすることで、返済しておりましたが 20、
0:39:34	8 ページのところは操作性の確保ということで、

0:39:38	本来であれば、7 ポツ 3 ポツ 10 ポツ 2 ポツ 6 といったような項目立てをするべきでしたが、ちょっとここだけ立てておりませんでした。
0:39:48	すいませんでしたというのが一つで、もう一つが右下 37 ページ目で、基本設計方針の記載のうち、試験検査に関する記載をしております。
0:40:02	この一番最後で、
0:40:05	お店は引っ張ってあるところで、
0:40:08	当該機能を健全に維持するため取替補修が可能な設計とするという記載があります。ここの記載について、
0:40:18	蒸発乾固で展開しているものと、記載が若干異なってございましたのでここについても記載を次回までに見直させていただきます。
0:40:30	続いて
0:40:32	右下 63 ページ、今回追加した、別紙 101 別添なんですけど、
0:40:40	0 ハッチングをして設工認に該当ししない理由を記載しております値。
0:40:46	もののうち 3 番で、緊対 0001 別紙 101 別添において示すっていうような、
0:40:53	理由を記載しておりますここの別添の括弧のところで、第 50 条緊急時対策建屋というふうに記載してございますが、ここ、緊急時対策所でございますのでここについて、
0:41:06	も修正をさせていただきます。これら 3 点についてきっちり議会提出時には修正をして提出をさせていただきたいと考えております。
0:41:16	ここまでが、提出資料の修正発令の部分でして続いて通信設備の特筆すべき事項ですが、基本的に、これまで説明させ、説明をしていた通り、観光、
0:41:31	の横展開等を受けて今回修正をしております。
0:41:36	右下 3 ページのところで、先ほど水供給でも説明があった、対応している事項と未対応事項の表がございます。
0:41:47	基本的には水と同様でして、
0:41:50	観光のコメントはしっかりと反映をしているということになってますが、別紙 1 別添の設工認に該当しない理由のところは、多少、
0:42:01	条文間でばらつきが出ているという状況です。ただし、基本設計方針に取り込む取り込まないという記載自体は変わらないものだと、いうふうに考えております。
0:42:14	続いて

0:42:16	今回提出にあたりまして、
0:42:20	菅小の横展開を受けそしてエイシ
0:42:24	社内においてチェックと、
0:42:26	レビューを実施した上で、1月5日提出版からいくつか基本設計方針が変わっているものが、
0:42:35	ございますこの部分についてよろしければ説明をさせていただきたいと思っておりますが、
0:42:41	よろしいでしょうか。
0:42:44	よろしければ、簡単に説明をさせていただきます。
0:42:48	まず、
0:42:50	大きくわけです。
0:42:52	3点ありまして一つが、引用元である事業許可が古い記載のものがいくつかございました。
0:43:01	具体的に言うと、
0:43:04	右下13ページの一目の параグラフの記載これ有毒ガス、
0:43:13	に関わる事業許可の対応で追加した記載でして、ここについては、
0:43:18	1月5日提出までしっかりと反映をしてございましたが、西田10ページ目の、
0:43:26	一目の параグラフのところ、誘導部品の事業許可の際に、若干記載が変わったところ、
0:43:37	前回提出日では、古い事業許可そのものを展開しておりましたのでこういったところを今回しっかりとチェックによって、修正をさせていただきました。
0:43:48	続いて二つ目、
0:43:52	右下8ページ目。
0:43:55	の例で説明させていただきます。この基本設計方針の二つ目と三つ目の、
0:44:03	paraグラフのところと、社内レビューの一環で事業許可と少し違った記載にしていたんですがここ許可整合に、
0:44:13	あわせて記載を見直させていただいてます。
0:44:17	同様の
0:44:19	修正を、右下15ページ目の一目の文章と、
0:44:24	右下16ページ目の一目の文章でも修正させていただきました。

0:44:29	そして最後に右下、
0:44:32	4 ページ目。
0:44:35	で、
0:44:37	基本設計方針のうち、二つ目と四つめの記載でして
0:44:44	条文設備を使う際にその設備がどこに置いて記載されているかというのを、今回、明確にハバサキの設備がわかるように明確にさせていただきます。
0:44:56	基本設計方針について、修正している。
0:45:00	主な点は以上になります、通信の説明。
0:45:04	以上です。
0:45:09	では、規制庁側から質問ある方いらっしゃいますでしょうか。
0:45:17	すいません、日本原燃の瀬川ですちょっといずれにしてもというかですね、今回の乾固とカーが先行して見ていただいていたもの以外が今回昨日一昨日というタイミングで、
0:45:30	提出をさせていただいてまして、この具体的な中身に対してですねご指摘いただけるようなタイミングでの今日のヒアリング設定にはなっていないという認識でございます。
0:45:42	今、ざっとですね、各条文の要点だけお伝えさせていただきましたので、個別具体の中についてのご説明というか、改めての説明というのはまた、
0:45:54	別途、ヒアリングを設定させてやらしていただければと思います。以上です。
0:46:03	承知しました。は、
0:46:07	いいですか。はい。江藤町長オオハシですけれども
0:46:12	プールに関しては昨日出てきた資料なんで十分に
0:46:17	見てるということでもないんですけどもちょっと気づいた点に関して、指摘を確認をできればと思います。
0:46:23	プールの資料のちょっと確認なんですけれども、12 ページを、
0:46:30	開いてください。
0:46:35	プールのほうの 12 ページ、失礼。
0:46:41	12 ページで、

0:46:46	許可申請書の3段落目のところで、ここではプール等の冷却等のための設備は、云々で公平するというので書いてあって、それが基本設計方針の展開というふうなところで見ると、
0:46:59	三つぐらいに分かれていると、いうふうな
0:47:04	感じかと思ってます。最初が12ページの上のところ、次が13ページの上のところ、次最後が、
0:47:13	13ページの下から二つ目ということですけども、
0:47:18	この
0:47:20	三つに分かれているという理解でいいですかすみません。
0:47:25	日本原燃の青葉です。頭三つに分かれているというご理解で問題ございません。
0:47:29	以上です。
0:47:30	はい。
0:47:34	そうしたときに、
0:47:39	うん。
0:47:46	はい、わかりました。とりあえず結構です。はい。
0:47:50	プールに関しては以上ですすみません。はい。
0:47:54	続けてよければ、
0:47:57	水供給の方に移りたいと思います。
0:48:00	水供給の方でちょっと確認なんですけれども、
0:48:05	16ページ19ページ16ページも、
0:48:07	ご覧ください。
0:48:16	16ページ目のところの青字で
0:48:21	前回少し議論したその他エリアに関して青字で記載していると、16と、
0:48:29	9款、9ページの辺りですね。
0:48:32	この辺っていうのはあれ、
0:48:34	申請書とか申請書本文とかの、テンロクもそうですけど、
0:48:39	これ比較するような文章がないってということなんですかね。
0:48:44	保管エリアに関しては、
0:48:48	はい。日本原燃の工藤です。保管エリアを有するということは、事業許可本文に記載があるんですけども、

0:48:59	十分な容量をMOXと共用することによって十分な容量を有して悪影響を及ぼさないようにしますよということが、許可の段階は書いてなかったことになります。
0:49:13	十分な容量、
0:49:16	がありますということが書いてあったということですが、ここには書かないんですか。
0:49:33	これは日本原燃の瀬川ですちょっと表現がよくなかったようです保管エリアを設けますということは、本文に書いてあるんですけども、
0:49:43	容量だとか、悪影響。
0:49:51	できるだけ、
0:49:52	そうですね紐図形を全くせずというわけではなくて、骨となる表現は紐付けた上で、容量の部分だけ浪江線引くとかそ、そういったちょっと工夫をしたいと思います。以上です。
0:50:16	16 ページのところですけども並製云々というか他エリアに関する許可申請書本文の記載が、
0:50:25	どうなってるのかということはこの
0:50:29	許可申請書本文の欄に記載して欲しいということなんですけれども、
0:50:33	ちょっとすみません、どういう記載。
0:50:36	記載できないんでしょうか。
0:50:38	はい。
0:50:43	体感、はい。日本原燃工藤です。すみません、11 ページをご覧ください。
0:50:50	事業許可申請書本文のところに
0:50:55	上のほう、上段の方が第1 保管庫貯水上のことを言ってまして、真ん中ぐらいが第2 保管庫貯水上のことを言ってますけれども、また以降の記載で1 階に市場官公庁する以上は、
0:51:07	他の医療を有するというのが、許可本文の時点の、の記載となります。
0:51:13	はい。先ほどの説明だと、何か十分な保管、十分保管できる容量を有するとかってということが書いてあるって話があったような気がしたんですけども。
0:51:25	ところこの11 ページの記載、ぐらいということですね。
0:51:30	日本原燃工藤です。そう。そうです申し訳ありません。はい、わかりました。

0:51:36	規制庁の藤村です。
0:51:38	ということは11ページのところ水1、①-12とかっていうふうに振られてて、それが紐づくようにちゃんと、さっきのところに入ってくるっていうイメージでいいですか。
0:51:52	日本現在クドウです。はい。
0:51:55	理解で、
0:51:58	いいですか。はい。
0:51:59	規制庁の藤原です。
0:52:03	はい。
0:52:05	衛藤。
0:52:07	あとちょっと確認ですけれども、
0:52:11	10ページですけれども、
0:52:14	10ページの、
0:52:17	ちょっと消えてるだけなのかもしれないですけれども、
0:52:21	この技術基準の欄のところの上からある、上から二つ目の吹き出しの許可からの変更点っていうのが、何かどこにも伸びてないんですけれども、これはどこも説明のことを言ってるんでしょうか。
0:52:32	許可からの変更点という
0:52:35	ふうな
0:52:36	理論の資格がありますけれども、
0:52:42	はい、日本原燃工藤です。すいませんその上の、当社の記載のところの吹き出しについて、右側の線がちょっとずれてます。
0:52:53	うん。
0:52:55	はい、わかりました。すいません。適切に修正しておく。はい。はい、わかりました。
0:53:03	あと、これも確認ですけれども、規制庁大橋です。
0:53:07	21ページ目で、
0:53:12	基本的方針のところの一番下の段落で、
0:53:17	コネクタ2施設、コネクタ接続に統一するというふうな記載で以前は簡便なコネクタ接続っていうなことで紙を取るか取らないかっていうのを検討されるといったことだったと思ったんですけども結局とったということだと思っんですけれども、
0:53:30	一つの検討した内容に関して、説明いただけますでしょうか。

0:53:43	いう考え方を、日本原燃のタマウチです簡便なの使い方ですね、検討の経緯を説明します。36条の方針で簡便なという表現を使うときには、
0:53:56	必ず比較となる表現が前に言いました例えばコネクタ接続及びより簡便な接続方式にする。
0:54:03	こんな形ですね。そのように、前に比較対象がいる際には、より簡便なを使おうということで統一させていただきまして、そうでない場合には、完全な訳すと、
0:54:15	ということで整理しています。以上です。
0:54:18	はい、わかりました。
0:54:20	はい。
0:54:22	はい。水供給に関して私から以上です。他大丈夫ですか、規制庁、どうぞ。
0:54:30	飯塚、伊達です。
0:54:33	規制庁のルールですねと、水供給だけではなくて横並びをとって欲しいというところで、最初の冷却機能喪失のところでも少し、
0:54:41	近いんです。
0:54:50	を使用するときの記載のところ辺りなんですけど、ここのところで、2段落目のところは、水野①っていう希望がついていて、その
0:55:05	八、九十、1112というふうに、他の設備のところの話みたいな形で整理されて、
0:55:11	けど、これは防止抑制の方に行くと、そうではない整理になっていると 思っていて、発足でも同じページの
0:55:21	一気にその後ろの方の方の8、9、10、11っていうような整理がされて いて、そちらでは全部を、他のところの分を使いますっていうふうな整 理がされていると思うんですけど。
0:55:41	はい。日本原燃の瀬川です完全に盲点でした。正直なところこういっ たところを見てたつもりだったんですけども、
0:55:51	はい。完全にその観点抜けてましたので、
0:55:56	ちょっと今一度精査いたします。以上です。規制庁の内村です。
0:56:01	最初に整理してくださいといったところに加えてこういった視点を含め て、整理をお願いします。
0:56:12	はい。規制庁高橋です。栗田椎野は、私も確認ですけども、通しの10 ごめんなさい。

0:56:20	19 ページですかね、19 ページですね。
0:56:24	基本設計方針の水間④-11 と 12 これ、今回多分追記されていて、許可等のちょっと比較とかもないんですがこれ、追記の理由とかそういうのはちょっとないんですが、ここのところはちょっと補足していただく。
0:56:37	ください。
0:56:40	説明を補足していただければと思いますが、
0:56:47	うん、規制庁後はすいません、いいですさっきのところと一緒に、水
0:56:53	を綺麗にしていただけたらいいか。
0:56:55	すいません同じことで、規制庁タカハシすみません同じことでした。それじゃもう 1 点だけ
0:56:59	11 ページのところをちょっと言っていたいて、
0:57:06	吹き出しのところで一番下の三つ目の吹き出しですね、許可からの変更点で個数要領はここに記載しないか同じっていうのは今回以下同じっていうのを伝えていただいているんですが、
0:57:17	17 ページのところに鎌田同じ。
0:57:20	吹き出しがあるのでその辺のところはもし以下同じにするのであれば、その辺のところちょっと工夫というかですね整理の方をお願いしたいと思います。
0:57:32	はい。日本原燃工藤です。はい、わかりましたありがとうございます。
0:57:35	私からは以上です。
0:57:39	はい。
0:57:43	続いてですけれども、
0:57:45	大橋です。規制庁大橋です。
0:57:49	放出抑制の方。
0:57:51	に関して確認をしたいと思います。
0:57:54	衛藤。
0:58:05	12 ページ目ですけれども、
0:58:16	これ確認なんですけども、
0:58:28	12 ページ目の基本設計方針のところのその 3 段落目、今回追記したような箇所でもないんですけれども、
0:58:35	保安規定に定めて管理するというふうな話があるんですけれども、一応これまでの資料を全部見ても、その保安規定に定めて管理するというふうな記載は、

0:58:46	S Aのこれまでの資料ではここしかないかなと思ってはいるんですけども、ここはやっぱり衛藤。
0:58:54	臨界、このような記載という、特別ということなんですかね。
0:59:05	日本原燃の瀬川です。これまで出てきてる条文ですとちょっと
0:59:11	目新しい感じがするんですけども、これ今後ですね内的要因を対象にしてやるような重大事項対象設備に関しては、こういう考案規定に定めて管理するっていうものが出てきて参ります。
0:59:24	これっていうのはですね設計者の設計をやるにあたって、その運用というのを前提に、設計してるようなものについてはですね、こういった表現で、
0:59:35	設備対応せずに、運用でしっかり管理してきますよという旨を書くようにしてございました。以上です。
0:59:45	はい、わかりました。
0:59:48	あとちょっと、これは今後詳しい説明があるような気はしつつ、なんですけれども、19ページなんですけれども、
0:59:57	19ページ目の基本設計方針の箇所で3段落ほどあるんですけども、
1:00:06	以降なんですけれども、
1:00:13	一番下の
1:00:15	江藤可搬型放水砲のところとかは、
1:00:20	特段
1:00:25	補修等が可能な設計とするというふうな記載は他の大型移送ポンプとか
1:00:31	ポンプ車と、他のところもありましたけども、というところは、
1:00:36	特にはないんですけども、
1:00:40	これは分解取りかえとかが可能な設計だから
1:00:44	保守党とかを見ないということなんですかね、また、詳しく説明ある気がするんですけども、
1:00:53	日本原燃のセガワですちょっと試験検査の具体的な中身の説明の時に、ご説明になるんですけど、なるんですけども、まず基本設計方針の書き方としてですね、
1:01:05	一番3段落目はもう具体化してるんですね、であれば、上の二つも具体化して書くのが筋ですし、

1:01:14	補修等でくくるのであれば、3段落目も補修等でくくって表現し、等の解説でその内容をちょっと解説する、そんな整理に統一すべきなのですが、それができてないというのが実態でございます。
1:01:29	ちょっとこの後午前中ヒアリング朝ミーティングで、藤原さんから別紙、各条 00 の状況をちょっと聞かせてというリクエストがありましたけれども、まさに
1:01:42	こういったところですね、他の設備条文も今、全部レビューかけてる最中なんですけれども、やはり通してみると、こういった部分が明らかに目立っている部分があってですね、そういったところの話を今ちょっと網羅的にやっていたところでございます。以上です。
1:02:00	はい。秋田医長大橋です。今、確認しているところというふうなことで理解しましたので、適宜、
1:02:10	はい。
1:02:11	統一で、記載、修正いただければと思います。
1:02:21	古作です。
1:02:23	すいません。
1:02:24	今の点。
1:02:26	なんでこれが文章が入ったのか。
1:02:31	ご説明いただけますか。
1:02:42	日本原燃聞こえてますか。
1:02:47	日本原燃聞こえておりますちょっと少々お待ちください。
1:03:02	表現のセガワですねすいません。担当者がちょっと即答できないような状況なので、ちょっと改めて整理をさせていただければと思います。すいません。
1:03:14	はい。補足です。
1:03:17	これって、
1:03:18	定型で全部入れましたみたいな感じになっていて、そうすると他の条文もだよねっていうことになるような気がするんですけど。
1:03:27	何なのかなと思ってて。
1:03:31	健全性維持のためにやるべきことっていうのは、大枠で整理をされた上で、ここは具体が書かれていく場所だったような気がするので、
1:03:41	具体書いた後、包括的なことがまた言われるっていう、

1:03:45	即効性の意味がわからなかったというところです。河本に立ち返って、 どういうところで何を説明するべきなのか、方針を書くべきなのかと。
1:03:56	いうのから、
1:03:59	含めて整理をしてまた説明いただければと思います。
1:04:05	はい。日本原燃能勢が承知いたしました。
1:04:13	あ、古作です。ちなみに、
1:04:19	保全の最後ですかね。
1:04:21	最後というか、ヒアリングでもう試験検査性について、何を宣言をし、 どうその構造設計につなげるのかといったところで、骨格になる部分だ と思いますので、それが今こだけ、
1:04:37	基本設計方針のところではぶれてるとですね、展開しづらいので、早めに ちゃんと整理してというところだと思います。よろしくお願いします。
1:04:50	はい。表面のセガワです。はい、承知いたしました。
1:04:55	はい。
1:04:58	あと、ちょっと考え方だけお聞きしたいんですけども、12 ページですけ どもちょっと前後して、
1:05:04	申し訳ないんですけども、12 ページの、実用炉との比較、黄色ハッチン グしてる箇所ありますけれども、
1:05:13	実用の方では、
1:05:16	大型移送ポンプとかに関して、2 に設置場所 2 に設定してというふうな 記載があって、
1:05:27	再処理の基本的方針の方ではそういった 2-2 に設定してという表現は ないんですけど、そんな考え方と違って何か違いがあるんでしょうか。
1:05:40	はい。日本原燃工藤です。
1:05:43	入院日数、設計が承認に設定してという言葉に変えてその移動等により その複数の場所を開放性できるように、
1:05:52	する設計っていうのは同意の
1:05:55	つまり記載しております。
1:05:58	以上です。はい。同意の有無をことで、このように変えたということ で、わかりました。はい。
1:06:06	はい、放送部で私から以上です他の方でお願いします。
1:06:19	じゃ、ちょっと次の資料、はい。
1:06:26	はい。

1:06:27	それでは元は次の資料の説明の通りですね、資料終わってますので、ここコサクです。ちょっと先ほどの、
1:06:37	前に戻ってですね、2間の意味合いワー、いいんですけど、
1:06:43	それで、実用炉との違いとかで書くんじゃないかなと思うんですけど、整理されてます。そう。米田でございます。はい。そこまで説明して欲しかったんですけどまず、
1:06:55	日程との一致してない部分の説明が要りますこの場合は、プラス今等の解説で書いてる等の中身ですね、そもそもそれが書いてないので、
1:07:06	同義ですと言われても、信用できませんという話にならないので、運賃の理由を書いた上で等の解説の中にその発電所でリレー設置場所に設定するということもこの頭の中に含んでます。
1:07:19	いう解説を書かせます。以上です。
1:07:22	はい、古作ですよろしくお願ひします。
1:07:28	あ、すいません。
1:07:29	これで資料すべて終わったと思いますので、最後に原燃側から、振り返りと今後のスケジュールのほどお願ひします。
1:07:43	はい。日本原燃のタマウチです。振り返りなんですけれども、今回出させていただいた資料ですねいろいろまだハッチングの付け方ですとか、誤記の存在ですとか、吹き出しの横並び。
1:07:56	といったところですかあと保守点検のところですね、書き方ですね。
1:08:02	そういったところで、ばらつきございましたので、いただいたコメントを集約してですね、
1:08:08	他条文含めて修正していくということになると思います。
1:08:13	はい。スケジュールなんですけど、ここ今いただいたところの一つ他の条文も同じように作業を進めておりますので、
1:08:21	牧制度を挙げてお出ししていくということなんですが、それもすみません明日の朝ミーティングで先ほど冒頭、
1:08:32	今日の朝ミーティングだったですね。
1:08:34	統一感についてまだ精査もあるので、ちょっとこちらの作業量を見極めて、すいませんが朝ミーティングで説明させていただければと思います以上です。
1:08:45	古作です。

1:08:48	これ自体はそれでいいんですけど先ほども少し言いましたように、共通試合共通じゃない、十時 17 から共通中に
1:08:58	いう流れにこれを乗せていかなきゃいけないってということだと思ってるんですけど。
1:09:04	その進め方はどうなってますか。
1:09:21	はい、宮でございます。はい設計として考慮すべき事項を、十時 17 後この別紙の中で間した上で、救急時の構造説明につなげると。
1:09:35	いうところ全部の洗い出しがそもそもできてないと、基本設計方針全部抜きましたと言ってもそれが間違っていないんじゃないかという話になるので、ちょっとその前後関係も含めてスケジュールを組み立てて、最終ゴールがどこで、それをいつまでに達成するべきかと。
1:09:50	いうことを紐づけてスケジュールに落としたいと思います。
1:09:55	4 月にあれば 4 月の会合までにじゃあどこまで、どういうステップで、いつまでに何を決めていくのかということ整理をさせていただきます。はい。
1:10:05	はい。補足ですよろしくお願いします。吹き出しでとかでの説明ぶりをちゃんとするとか三味線をアンダーとかっていう、
1:10:14	細かな補足説明資料としての制度というのは、しっかりやってもらえればいいんですけど、基本設計方針
1:10:22	の骨格というのを押さえないと、次に進めない所以对応、適宜よろしくお願いします。
1:10:35	では他にスケジュール等で、規制庁側からコメントある方いらっしゃいますでしょうか。
1:10:44	では製版分のみ、ヒアリングはこれで終わりにしまして、あと 35 分から、甲斐主幹のヒアリングに移りたいと思いますがいかがでしょうか。
1:10:54	面白い問題。日本原燃 35 分再開、了解いたしました。よろしくお願いします。了解いたしました。よろしくお願いします。
0:00:00	はい、規制庁清水です。再開しました。
0:00:05	議員を再開したいと思います。毎年、規制庁が出席者が義務追加になりましたので、出席者について紹介しますと本庁会議室から、
0:00:17	カミデフジワラタカナシオオハシタジリ。
0:00:22	シミズ。
0:00:23	と、遅れてコサクが参加しますとその他WEBから、

0:00:28	ハバサキオオオカタケダ。
0:00:32	キシノ。
0:00:33	セトガワ。
0:00:36	以上になりますと 2 号原燃側から出席者の追加等があれば、出席者について紹介の上役割について説明をお願いします。
0:00:48	強いですね。はい。40 年中尾でございます。はい。メンバー変わりましたので改めてメンバー紹介させていただきます。
0:00:56	まず事務局より、
0:00:58	サトウタカハシイシハラセガワフジノナカハマ。
0:01:04	共通 12 関係の取りまとめで、タナカシミズ、設備構造関係、外相取りまとめでエビナ、
0:01:14	あと設備構造関係でナツメサカモリタナカ。
0:01:19	耐震関係で、
0:01:21	イナズマカミタイラ。
0:01:24	オガサワラ。
0:01:26	ハラダナリタ。
0:01:28	あと三菱重工業様より、高木様。
0:01:31	以上となります。
0:01:33	それではですね、共通中に、全体ですね、
0:01:40	何だっけ。
0:01:42	整備方針について、から説明を開始させていただきます。
0:01:48	日本原燃清水です。
0:01:50	共通 12 関係で昨日提出さして提出させていただいた資料、三つございます。ちょっと説明の順番としましては、全体の整理に関わります。
0:02:02	共通中に整理方針括弧基本設計方針の網羅性、こちらの資料をまずご説明させていただいて、2 番目としては、具体の共通 12 の資料を持ち、用いまして、前回ご指摘いただいた内容の反映。
0:02:18	反映点、ご説明させていただきたいと思います。
0:02:20	その上で 3 点目として、介護資料の外部衝撃関係の部分ですけども、こちらの骨子の方ご説明させていただきたいと思います。
0:02:32	はい、それでは一つ目の資料になります。
0:02:34	3 月 14 日提出した共通 12 の整理方針括弧基本設計方針の網羅性の資料になります。

0:02:41	まず 1 ページ目ご覧ください。共通中に、
0:02:46	のヒアリングのコメントとしましてですね、構造設計を説明する基本設計方針を抽出する際に、その網羅性をどう確認するのかというご指摘をいただいていたございました。
0:02:57	それではですね、整備の方針の方ご説明さしていただきたいと思いません。
0:03:02	基本設計方針につきましては、各条 00 別紙の中でですね、基本設計方針の全体を整理してございます。
0:03:11	基本的にはこれを整理結果をベースにしまして、
0:03:15	この 2 ポツに考え、示しております。抽出の考え方に基づきまして、構造設計を説明する基本設計方針を抽出し、抽出されたものに対しては、
0:03:28	共通、12-別紙 2 のどの部分でご説明するのかという関係性を明らかにするということをしたというのと、関係がないといったものに対しては、
0:03:39	どういう考えで関係がないと整理したのかっていうのを、新たにですね、共通 12 の中で、別紙 4 という資料を、
0:03:47	こちら、具体のものは、3 ページ目でございますけども例示
0:03:54	このような表を用いて、網羅性の方、整理していきたいというふうに考えております。
0:03:59	基本的に関係ある課題あるなしの整理の考え方といたしましては、
0:04:06	各条 00 別紙 2 の中で、基本設計方針に対して要求種別を設定してございます。
0:04:13	まずはその要求種別の考え方に着目しまして、必要とするものを必要としないものを大枠でまず整理したいと思っております。すいません、こちら資料一部ですね。
0:04:24	出した後になりますけども、今回の資料は、2 ポツ①番で書いております。説明不要とするものの中に設置要求の種別のもが今入ってございますけども、失礼しました。
0:04:39	これについては、正しくやりたかったこととしましては、説明が必要なものとして一度拾った上で、②の中で、さらにその中身を見ていって、
0:04:51	構造説明に関係ない配置情報だけを説明するようなものであれば、説明不要と整理したいというふうに還元するようなことであれば、説明の整理というふうに、

0:05:04	ましたのでちょっとこちらの方は、資料の方、ですね、共通 12 の資料の中に盛り込みたいと思ってます。はい。基本的にはそういう考え方でまず、
0:05:17	①番で必要とするもので、大枠で拾うもの、A、
0:05:21	A 不要とまず判断するものとしては定義だったり冒頭制限運用要求だ、このこの三つにつきましては、基本的な設計に関わるも構造設備に関わるものじゃないということで、
0:05:32	まずは外したいと思ってます。
0:05:35	で、それ以外の設置要求機能要求 01025 分評価要求につきましては、②番に書いてある通り、系統説明であったり、
0:05:45	評価条件の荷重に関わるものであったり、
0:05:49	という中身を見て、とは、さ、スクリーニングしていきたいと思ってます。
0:05:55	はい。続きまして、2 ページ目をご覧ください。
0:06:00	こちら 2 ページ目は全体体系ということで、
0:06:03	別紙 4 と各別紙の繋がりを示したものでございます。
0:06:09	真ん中下の方にほどにある別紙 4 のオレンジのもので整理した基本設計方針につきましては、必ず別紙 2 の構造設計の中で必ず拾うと。
0:06:20	で、その拾ったものに対しては、ちゃんとどこの別紙に入れ、
0:06:25	整理しているのかというのを、この別紙 4 の一番右端の別紙 2 との関係という列のところで、関係をしっかり明らかにしていきたいと、いうふうに考えております。
0:06:35	で、この別紙 4 の中で、構造設計は説明は不要と判断したものがもしありましたら、それ以外についてはオレンジで関係性示しておりますけども、
0:06:46	この関係の整理を踏まえて別紙 3 の中で、構造設計が必要ではない条文だという、
0:06:53	整理をして、別紙 3 の中で、構造設計説明が必要なものではないので'という記号をつけて、徳田発注が尽きずに、
0:07:04	全体の方を整理したいというふうに考えております。
0:07:09	はい。基本設計方針の網羅性の整理の方針としてはこのような考え方で進めたいというふうに考えております。
0:07:16	こちらの資料は以上になります。

0:07:20	規制庁、志水です。これまでの説明について規制庁側から確認ございましたらお願いします。
0:07:29	甲斐星様。
0:07:31	わかりました。最初、これから始め最初、
0:07:42	規制庁コサクですけど、
0:07:44	1 ページ目は、何か説明されてましたけどそういうのわかるような資料なんてつくれないのかなっていうのがあの会合資料も含めたんですけど、相変わらず原燃だなあと。
0:07:56	思っているんですけど。
0:08:02	結局ワー基本設計方針っていうのは、機能要求なのか何なのかっていうところの分類をもととしていて、
0:08:11	その分類ごとに、こういう考え方で整理しますと。
0:08:16	いうことが言いたいですよね。
0:08:21	はい。音源シミズです。今おっしゃっていただいた通りで、すみません資料がしっかりそれを表現できてなくて大変申し訳ありません。
0:08:29	はい。コサクです。何で0市田まるみだとか、
0:08:34	こっちはこう書きこっちで小牧とかってやるからよくわかんなくなるので、端的にそういうことで、考え方を、まずはその分類の話で分類のごとにこう考えていきますと。
0:08:47	いうことを言っていただければいいかと思います。
0:08:51	で、
0:08:56	ちょこっと場からずーな感じがしてて、特に②の最後も、評価条件の設定に係るものって言っちゃうとそれわあ書かなきゃいけないものになっちゃうんですよ。
0:09:07	荷重の組み合わせとかっていうその大枠の方針みたいなところ Lower つける必要ないでしょっていう意味合いで書いてるんだと思うんですけど。
0:09:17	それでさえもう、何の荷重を考えるのかということによって構造設計変わっていったりするので、
0:09:25	これスクリーニングしますって言われると納得できない感じがします。
0:09:29	その辺りも含めて、どう整理をするのかをまとめていただきたいと思います。

0:09:38	はい。日本原燃清水で承知いたしました。考え方のところ、確かにコサクさんおっしゃる通り、もう少し考え方を付さないと言えないので、
0:09:50	もう少し、はい。考え方をしっかり書き込みたいと思います。
0:10:00	はい。規制庁コサクです。2ページなんですけど、これも一応全体構成はこういう考えですっていうのは
0:10:12	そうですかっていう感じなんですけど。
0:10:15	回答資料とか見てもちょっとよくわからなかったところこれまでは、単なる補足説明資料の記載ぶりだから細かいこと言いやと思ってたんですけど、
0:10:25	まず別紙2の、
0:10:27	設計上の配慮事項、括弧周辺環境等括弧閉じと。
0:10:33	いう表現は一体何なんでしょうね。
0:10:38	特に括弧書きを書く意味は何があるんでしょうか。
0:10:46	はい。日本原燃清水です。
0:10:50	基本的には設計上の配慮、すいません設計上は維持配慮事項を書きたいんですけど配慮事項で考慮する1例として、
0:10:58	周辺環境ということでありますよということ括弧で書いていたというところございました。
0:11:03	コサクなんですけど、1例といった時2普通例示をするのは一番大きなものと下から順番なんですけど、周辺環境って一番じゃないので、
0:11:14	何でこれが書いてあるのって、逆に勘違いをするような気がしてっていうことなんですよ。
0:11:20	なのでちょっと、
0:11:23	考えて欲しいんですね。で、これまでは補足だからまあいいやと思って、素通りしたんですけどこれを、委員会合の資料とかにも数とかがって言われるんだとすると、
0:11:36	全体に勘違いしそうなので、検討してください。
0:11:42	日本原電シミズです承知いたしました。
0:11:48	古作です。で、大本は別紙4っていうことで、
0:11:54	なぜこういう順番になったかっていうのは何か考えあります。
0:12:03	日本原燃清水です。
0:12:05	今、いただいたご質問につきましては、

0:12:10	別紙2の項目の並びのお話でございますか。あ、ごめんなさい。違います。別紙2、何で別紙2が構造概要で別紙3が申請対象設備で、別紙4が、
0:12:21	基本設計方針の関係整理なのかっていうことで、
0:12:33	井上瀬谷でございますちょっと清志水が説明をした時に言い訳っぽく言っていたかもしれません
0:12:40	今回の構成の中で、累計の話を最初にして、それを受けた形で構造概要に持ってくる、それぞれ根井インプットアウトプットの関係があるので、
0:12:53	そもそも累計のところでもアウトプットが出てきて、概要でも、スクリーニングする時にリストみたいのが出てきて、何回もこのリストが出てくるっていうのの関係を整理したくて、
0:13:05	別紙に持ってきた対象物が、別紙3としてそのいわゆる前提条件として整理ができればということで別紙3になってるんですけど。
0:13:16	別紙3があっとうれしいだろうっていう考えもあると思いますそこは、今回のこの資料で、どういう順番で、
0:13:24	インプットアウトプットじゃないですけど物を作っていったって、どういう橋渡しをして、号炉に行きたいのかっていうのを、まだちゃんと整理をしないと、順番が何でこれでいいのかって話にはならんかなと思いますので、
0:13:36	そこを今一度ちょっと整理をさせていただきたいと思います。以上です。
0:13:40	はい、古作です。
0:13:43	特に別紙2別紙3は鶏と卵みたいなのところがあって、整理をした結果010203みたいなのところの訳が確定できと。
0:13:54	或いはどれで代表するかというようなことが、整理ができと。
0:13:59	いうことでありつつ、別紙3D集合体を見ないと、これで代表して説明するということでいいよねというので別紙2が登場せずと。
0:14:10	いうことでもあるので、そこは整理をしていただければと思ってます。
0:14:15	で、
0:14:16	一方今回の整理がずっと別紙大萱市場の入口だろうと。
0:14:21	いうことなんですけど、別紙4だと、

0:14:24	いうのであれなんだろうなあと思ったってということなんですけど、何も考え、単純に登場しちゃうのが最後だから後ろについたってただそれだけですから、
0:14:35	元シミズです。すいませんここが場当たりの対応をしてしまいました。
0:14:40	全体の流れというよりは、追加ツールで作成したのでちょっと別紙3の結果のエビデンスといいますか根拠ということで別紙を整理したんですけども、先ほどイシハラを説明したようにちょっともう一度立て付け整理したいと思います。
0:14:56	はい。補足ですよろしくお願ひしますで、別紙4っていう表現でいいのかっていうのもちょっとあれで、別添なり何か別納添付なりとか、
0:15:07	にした方がいいのかなって気もするんですけど、これ各条それぞれやんなきゃいけないんですよ。
0:15:14	はい。日本原燃清水です。はい。その認識です。
0:15:19	その時、土佐です。そのときで、そもそもこれ別紙C、
0:15:26	2 b a r、
0:15:29	各条 d 分割し、かつ設備で分割しと。
0:15:35	して、
0:15:36	行くんじゃないかだったでしたっけ。
0:15:40	はい。日本原燃清水です。そのご認識の通りです。
0:15:46	そこですねそうすると別紙2って結構すごい。
0:15:51	入れ子構造の大量なものになり、別紙3が集約した一つになり、
0:15:57	別紙74を別紙2のように、各場でバーツとついてくるっていうことですかね。
0:16:06	はい。南出シミズです。はい。そのように考えておりました。
0:16:19	だけになって、
0:16:21	また話がね。
0:16:25	古作ですわ。ます。
0:16:29	別紙2でもそういう構造になってるんだったら
0:16:32	別紙の1シリーズということ整理するのはおかしくもないからまあいいかなとは思いますが、
0:16:42	入口が最後なのは変だなと思うので、
0:16:45	整理をしていただければと思います。

0:16:48	先ほど1ページ目で言った考え方に、
0:16:54	基づいてやってることがわかるように、
0:16:59	この関係なしの理由のところが書かれるってことですかね。
0:17:05	はい。日本原燃清水ですその考え方を、はい。しっかり理由のところに書きたいと思っております。
0:17:14	はい。
0:17:15	古作です。関係なしの理由って書いてある人は、これを書かないもの、バーのものは、別紙2の方に入っていくので、
0:17:27	そこでちゃんと内容を議論できればいいから、特段、補足しなくても、
0:17:32	ということですかね。
0:17:36	はい。日本原燃清水です。はい。今おっしゃっていただいた通りです。
0:17:41	という考えですので、ちょっとなしの理由を先に書くのかちょっと丸付け的にするのかちょっとどっちが先だっというような、今悩んだところでした。
0:17:52	古作です。言われてそうだなと思いましたので、整理していただければと思います。
0:18:03	規制庁土佐です。それで言うと、別紙2との関係で今一連でしか書いてないんですけど、
0:18:10	これは
0:18:12	飛ばし先が違うものが一量においよって違ってとかっていうのはありますか。或いは、複数の表に行くっていうこともあるような気がするんですけど。
0:18:25	そのあたりの妥当性っていうのは、ぱっと見てわかるものでしょうか。
0:18:40	日本原燃清水です。確かに基本設計方針の中で、相手方に飛ばして自分で整理したいところがあるんですが、
0:18:49	確かにその関係がこの表だけでわかるのかと言われると、
0:18:55	確かにどこで飛んでるのかをちょっともう1工夫がいるかもしれませんが、はい。
0:19:00	はい。補足です。別紙2の枝番なり何なりで入ってきてるのどれだみたいなどころになるとすると、その説明かないといけないと。で、前はその別紙2の中で網羅的に書いて、
0:19:16	これでは関係ありませんとかあっちの方で対応してますとかっていうのを書いてねと。

0:19:21	お話してたんですけど、場合によってはスクリーニングかけちゃうような、
0:19:28	時があるのであれば、
0:19:30	別紙4側でちゃんと整理をしてということですし、どちらでどうするかは選択肢はあると思うんですけど、どちらにしてもわかるようにしておいてください。
0:19:45	はい。日本原燃清水承知しました。
0:19:48	はい。補足です。あと別紙3の'なんですけど、
0:19:53	これは何で'なのかっていうのはどこでわかるんですか。
0:20:04	日本原燃清水です。
0:20:09	IAとこの'である理由を一目で見えるのかというと、
0:20:15	この別紙、
0:20:17	4で整理している基本設計方針と、
0:20:21	この別紙3で出てくる設備がどの基本設計方針に該当してっていうところがですね、確かに、
0:20:29	見えないと、本当に全部のバーの基本設計方針資格、
0:20:35	関係しないんだよねってことが見えないということですかね。
0:20:39	ちょっとそこをもう少しちょっと考えたいと思います。
0:20:44	はい。よろしく。補足ですよろしくお願いします。
0:20:48	基本私のイメージしたのは、これ非安重。
0:20:52	のもので変更なしとかっていうことだと思ってたんですよ。であれば、非安重ですよという分類でやればよくて'ってつける必要もないよねと。
0:21:03	思っていたんですけど。
0:21:05	ええ。
0:21:07	'を付けるのであれば、'って何者かというところを整理をしていただく必要があると。で、①②も別紙3のこの、
0:21:19	A-Bのとかっていうところの①②③の分類の、
0:21:24	考えていうのもどこかで言っておかないと、
0:21:27	別紙Cになり4なりとの関係というのはわからないと。
0:21:32	ということだと思うんですけど。
0:21:36	そこはどうなってるんでしたっけ。

0:21:39	日本原燃清水ですちょっとこのパートで表現できてなかったんですけど、このAの①なり⑥なりっていう分類につきましては、後程ちょっと共通12の方、すいません共通12の資料、
0:21:53	の方見ていただきたいと思います。そちらにですね。
0:21:58	通しページでいきますと、
0:22:04	119ページ以降にですね、それぞれの条文ごとのこの回り付けの、
0:22:10	内訳といいますか設計項目の内容を書いてございましてこの中で、どの番号は何なのかというのがわかるようにしたいと思っておりました。
0:22:19	古作です。それはわかってるんですけど、
0:22:22	それが別紙4での整理から、別紙に行きますよというところの考え方等をどう対応するんだというのが、
0:22:34	なくていいっていう。
0:22:36	ことですかね。
0:22:38	すいません日本原燃清水ですわかりま、ご指摘、理解しました。はいちょっと中で今からもう少しちょっと考えなきゃなと思ってたのが、
0:22:49	先ほど小崎さんおっしゃっていた等いただいた通り、
0:22:52	この分類の中で、例えば会社だと、
0:22:57	竜巻ですと、⑥番の1から5、
0:23:02	の安全機能2の有する施設に該当しないという分類ですので、そういう、なんすかね構造設計の基本設計に絡むところはないから、
0:23:12	米資産では白抜きの'になるみたいな生りーということもちゃんと見える化しなきゃいけないかなと思っていました。そういうこともですねこの判例も使いながら、
0:23:23	お示しできるような仕方、整理の仕方を考えたいと思います。
0:23:28	はい。コサクです。
0:23:31	おそらくわかっていただいたとは思いますが、例えばで言うと、今の分類を別紙4のところでも、各業でこれはどれに対するものですよと。
0:23:42	付記して、そうすると、例えば非安重のやつ、今'について、
0:23:48	書きますと言ったようなものがそのものについては、
0:23:55	それが関連するのが全部関係なしの理由であって、関係有無でバーになってるというものしかありませんよと。
0:24:03	いうことで、

0:24:07	別紙 2 を作る必要は、
0:24:10	ない。
0:24:11	対象ですっていうことに、
0:24:14	なるっていうふうな形になるのかなと思いましたけど、
0:24:17	そういう理解でいいですかね。
0:24:21	はい。日本原燃清水です。はい。嘘。はい。そういうことをちょっと、はい関連づけてお示ししたいと、いうふうに考えます。はい。そうなる と、ちょっと別紙 4 で、その別紙。
0:24:37	3 の今のマル付けのとのリンクをお示しするときに、ちょっと別紙 3 の、今の丸付けの分類を、
0:24:48	分量分によってちょっとブレイクをもう少ししなきゃいけない場合もあり ますのでちょっとそこら辺は菅検討させていただきたいと思います。
0:24:55	はい、古作です。そうだろうなと思いましたのでよろしくお願いします。
0:25:13	規制庁上出です。2 ページ目で、
0:25:19	耐震
0:25:20	もう、
0:25:22	イメージした話を聞くんですけど、
0:25:25	今別紙 4 は、このページだと、本文の方針だけ、対応とってますけど、 別にの中には、添付書類もあって、
0:25:37	なので別紙 4 は、添付書類、それぞれもうそれぞれ分も作ると、各条文 の添付書類それぞれに、
0:25:46	ついて作るって感じですか。
0:25:51	はい。日本原燃シミズ水私の方で考えていたのは、本文の基本設計方針 を外さず、
0:25:59	拾えれば、添付 2 展開できるのではないかと思ってたので、基本設計方 針をやるのが大事かなと思っておりました。
0:26:10	規制庁カミデです。
0:26:12	伴。
0:26:13	それってどういう判断基準で、これは本部
0:26:19	これは店舗まで行かなきゃってというのは、
0:26:21	どういうふうにやっていくんですか、何となくまだイメージついてない ような感じですけど。

0:26:30	規制庁コサクですけど。
0:26:33	私イメージしてたのは、
0:26:36	これを本文で終わりだっているのはまずなくて、
0:26:39	別紙2の中で、必ず、
0:26:42	基本設計方針入れると、別紙4で抽出したものについては、別紙2d間、添付書類のどこに方針がどの程度ファイルであるか。
0:26:53	というのは、抜き出してくると。
0:26:56	ということだと思っていて、
0:26:59	抜き出すときに、これですべてかっているのが議論になってくるということだと思ってます。
0:27:06	だが、元の作業としてはそれで合ってます。
0:27:14	はい。日本原燃石田でございます。はい
0:27:18	おっしゃっていただいたようにまず別紙2の中では、関係する基本設計方針だけではなくて、それに関連する添付書類も全部抜き出して展開をします。
0:27:28	そういったときに、まず、基本設計方針として構造設計に関連するといったものにまず抜け漏れがないことと、いうことを説明する必要があると思っまして、それを別紙4で今やろうと思っました。
0:27:42	そこで必要な基本設計方針が持ってくれば、基本設計方針と添付書類の関係は、別紙00シリーズで紐付けもできてますので、
0:27:53	そこで漏れなく抽出ができるという関係だと、いうことで考えてました。以上です。
0:28:01	規制庁コサクです。00の別紙4の方で、基本設計方針と添付書類がひもづけられていると。
0:28:11	ということだから、関係性としては確かに整理されているということですけど、結構な量を添付書類書いてあって、
0:28:20	それじゃあ別紙に全部書い
0:28:23	ていきますかっていうとそういうつもりはないような気がするんですよ。
0:28:28	そのあたりをどうしていくかっていうことだと思っんですけどいかがですか。
0:28:35	はい。日本原燃石田でございます。田宮さんにご質問されたのが多分スタートで、特に耐震は

0:28:43	A3の1-1D基本4-1-1から4-1-1で基本設計方針を1回受けるという形で全体見解をされてます。
0:28:56	その4-1-1の添付書類で、さらにそのついている添付書類とのひもづけをして展開をしていると、ということで、ここの感染性で、
0:29:07	整理ができてるんじゃないかなあというのが前提で話はしてますけど、じゃあお前はそれを全部確認したのかというと、クエスチョンマークが出るので、そこも整理をしないとイケないですね。はい。
0:29:19	コサクです紐づけはできてるんですけど、
0:29:23	じゃあ今言ったおや、プーだけじゃなくて、5D対応するところを全部抜き出してるかっていうと、少なくともこれまで出てきた耐震の情報は全然出てきてないと。
0:29:36	ということだったので、どうやって抜き出しますかっていうことなんですよ。
0:29:43	結構大変な作業なような気がしたから、別途やってくださいねって言ったんだけど、別途やるタイミングがいまいちよくわからずっていう感じだったので、説明を求められてるということだと思います。
0:29:58	はい、二本木西田でございます。はい、ありがとうございます。はい。
0:30:06	それも含めてそうですね。新宮さんも確かに、
0:30:10	抜けがありそうなエプロンの展開の仕方なので
0:30:16	おっしゃっていただいた抜け漏れがないことを別紙40基本設計方針を全部抜いてその基本設計方針に展開すべき関連する添付書類を別紙でちゃんと抜けてるか、ということの整理を、
0:30:29	支給させます。耐震は特に面倒くさそうなのは。そこをさせていただきますそのやり方は
0:30:39	ちょっと考えてみたいと思います持とう。添付書類の構成を考えると、親子関係を整理をして、それぞれの静関係性ってのを、
0:30:52	スタートでは、整理をして、抜け、紐づけをして、それをピックアップしてるんですけど、それはそもそも多分シミズが採用する時に頭に入っていない気もするので、
0:31:02	層厚等はまだ一度思い、持ち出して、展開をしていきたいと思います。以上です。
0:31:09	はいコサクです

0:31:11	共通 12 の資料事細かにやっても、膨れていくだけなので、先ほど言われた 00 別紙 4 を、
0:31:21	活用しながら、説明をしていくというのでも構わないと思います。そうであれば別紙 4 の何ページでとかっていうようなことを言うなりですね。
0:31:34	検討してますよっていうのがわかるようにしていただいたらいいかなっていう気もしますけど、そもそも耐震は 00 別紙 4 で、まだ
0:31:43	処分って出てきた方針は一応あります。いや方針だけなんですよ。計算書は飛び飛び
0:31:50	で、
0:31:51	計算書 NO、前半部分っていうのも必要なところが出てくるのそうするとまだですよみたいなところになっちゃったりするんですけど、それ待てる等、
0:32:03	どうなのっていう感じもあるから、
0:32:05	そこも含め、
0:32:08	ブラッシュアップするのは時間かかるにせよ最低限やるべきことっていうのを、どうやっていけるのかっていうのを考えていただいたらいいかなと思います。
0:32:18	はい。日本原燃瀬谷でございます承知いたしました。
0:32:22	規制庁上出です。先ほど伊原さんが至急整理させますと言っていったことが、
0:32:31	もともと A s a n o ヒアリングでその耐震の
0:32:34	この別紙 2 ですか、どうするんだっていう関係者を集めて相談しますって言っていたことが、
0:32:40	その話をしているもんだと私はてっきり思っていたんです。
0:32:44	なので、今からさせますということであれば、今日の午前中やりますとか言ってたその関係者との打ち合わせとかって、どんな話してたんですか。
0:32:57	はい。日本原燃清水です。
0:33:01	地震関係の関係者の打ち合わせとしましては、昨日神谷さんからちょっとアドバイスいただいた地震として、大きく分類として、建物構築物機器配管の
0:33:15	S は 9 個の四つの分類。

0:33:18	まずは、その別紙2の整理の仕方を考えていこうと。
0:33:22	さらに、その中でまず一つ、建物構築物の明湯
0:33:30	を、が東大堀とも関連しますので、そこをまず叩かれないとして、どう いうふうに整備し、基本設計方針から別紙、添付書類の
0:33:42	どこを持ってくるんだっていうところのすり合わせの方、今してござい ました。
0:33:48	その中でちょっと話として出てきたのが、大丈夫、耐震の構造設計を整 理するときには、
0:33:58	単純に、構造計画のところだけではなくて、波及影響の評価方針、
0:34:04	計算に関係するところ、そうです。いえ、すみません。
0:34:11	はい。長カミデ質問大丈夫。
0:34:14	すみません。
0:34:15	今の話で、
0:34:17	今日説明、今この資料出てきてるじゃないですか、共通12の構成の2ペ ージの話が別紙4がありそこから別紙にひもづきっていうところを、
0:34:27	なぜ耐震で話をしていないのかがよくわかって、
0:34:31	何か、
0:34:33	耐震は耐震でやりますって、検討が始まっているように思えるんですけ ど、その辺どうなってるんですか。
0:34:43	はい。日本原燃清水です。
0:34:46	そういう意味ではすみません。今の別紙4の基本設計方針の整理、そこ からテンプへの展開のところの、
0:34:55	意識がちょっと私がそこを足りてなかったので、
0:35:01	宗局長のところでもた話を整理しようとしてたというのが実態でござい ます。
0:35:06	ちゃんと上流から、繋がりを持ってちょっと整理を検討したいと思いま す。
0:35:13	規制庁岡見です。
0:35:15	今日説明あった別紙4とか別紙2の関係が正しいかどうかは別としてで すね、清水さんがやられるべきことは、まずはその全体として、今日 の2ページの
0:35:28	別紙4と別紙2の関係みたいなところで、整理を進めていくんだって いうことを、まず関係者にインプットすると。

0:35:36	いうことがまず最初で、それで耐震、いっぱいあるしねと、店舗もいっぱいあるし、じゃあどうしようかと、別所全部作るのかとか、
0:35:49	いいところだけ狙い撃ちするのかとか、それが可能かどうかとかですね。
0:35:54	いう話をしたり、あとは昨日私が話をした、最終形としては須藤は9棟ぐらいに、いくつかに分けたよねみたいな話をしながら上流から
0:36:06	整理を進めていくということをやりたいと思ってましたので、まず局所的な対応にならないように、かつ、
0:36:16	その上で、どう進めていくかをまた話聞かせてもらえば、
0:36:24	峯シミズです。同じ指摘等を受けて申し訳ありません。はい。上流からの整理を私の方からしっかり関係者に伝えて、中でしっかり議論したいと思います。大変申し訳ありません。
0:36:38	規制庁コサクです。今のやりとりを聞いててますます不安になったので、別紙2の設計方針各添付書類と書いてあるところの欄なんですけど、
0:36:50	方針が書いてある上流の添付書類だけではなくて、
0:36:55	それを受けた添付アボテープ、或いは経産省と、
0:37:02	いったところ関連すると昭和列記してください。
0:37:07	その上で必要な箇所はここですと判断しましたっていうのは、が見れるようにしてください。本当かって言ったときに、どこを見ればいいのかっていうのがお互いに場所がわかると。
0:37:18	いう状態にしていただければ、議論しやすいかと思いますのでよろしくお願いします。
0:37:26	これ耐震だけじゃなくて全部、
0:37:30	多分、耐震以外はそんなに、添付の書類も多なくて済むと思うんですけど、竜巻なり溢水なり、
0:37:41	火災なりというのは、耐震なり強度なりに飛ばしている部分があって、少し、
0:37:48	耐震僕増えるかなとは思いますが、ある意味定型的に同じようになると思いますので、そんなに作業負荷にはならないと思いますからよろしくお願いします。
0:38:04	はい。日本原燃清水です今のコサクさんのご指摘、はい。社内でちょっと。はい。池。

0:38:12	整理させていただきたいと思います。
0:38:20	規制庁清水です。他、ここまでに規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:38:27	規制庁の谷井です。一応、今話し合っ外部事象もされるということちょっと認識合わせておきたいんですけど、例えば竜巻に関して言うと0資料のところの別紙4の頭のところで、添付の関係の話が整理されていて、
0:38:44	基本設計方針を受けた上で、方針に関する説明書が書かれていて、選定の説明書があって、設計に係る説明してあって、ちょうど決算の説明書があってっていう形になってると思うんですけど、
0:38:58	今多分、
0:39:01	共通12とかで書かれてるやつさっき長さんから指摘あったように、今書かれて多分更新統設計の説明書分だけ抜粋してきてるようなところになってるんですけど、
0:39:12	原燃1課から作業されるときに、
0:39:16	何か、
0:39:17	変な形でやるとすごいことになる所まで一応なんですけど、もともと設計の話があって、それに対する強度計算のカーの話で、今までも繋がってたと思うんですね。比較表の形になってないだけで、別紙4の後ろの方の共同計算ってあんまり書くようにしてないんですけど、
0:39:34	つながろうが今までもやってきていて、それに基づく共同計算の構造設計の方概念が書かれてるのに基づいて、計算書が要ると思うので、そこらはそこまで、悩むことないかと思ってるんですけどそこは大丈夫ですかね。
0:39:51	はい。日本原燃清水です。今、田尻さんおっしゃっていただいた通り、
0:39:57	外周部消費者竜巻が、上からの繋がりにっていうのを意識して別紙を整理してございましたので、はい。
0:40:06	対応できると思っております。
0:40:08	はい。規制庁谷です。それをやる等、今すでにある設計上の配慮事項を名前が変わるかもしれないんですけど、こういう時代の構造設計っていうの2、

0:40:19	評価の話とかが、もともと評価でどう評価してるかに基づきながらこちらの構造設計整理しとかなきゃねっていうところをようやく繋がる形になるんだと思うんすよ。
0:40:29	今までのやつは、評価の縦に埋めてこっちで見てたんですけど、そこが多分1チャンネル形になるので、本文添付とかの整理はもう今までの制限を並べて通って、それを踏まえた上で右端の欄が多少動いたりするかもしれないのでそこも考慮して整理いただければと思うんでよろしくお願いします。
0:40:50	はい。日本原燃真理です承知いたしました。
0:40:59	成長シミズです。河口内山から確認ございますでしょうか。
0:41:06	よろしければ、続いて、引き続き減免側から説明をお願いします。
0:41:17	日本原燃シミズ一度ここで振り替えさせていただいてもよろしいでしょうか。
0:41:22	規制庁志水です。お願いします。
0:41:27	はい、日本原燃志水です。共通12の整備方針につきましては、
0:41:33	まず資料、そもそもとして等は、こちらが説明したいことがしっかり表現できてないというところはまず直すとして、
0:41:42	大きな話として、まずは、
0:41:46	こちらの別紙関係の別紙234で2ページ目に菅坂野で整理してございますけどもこちらの全体の構成ですね。
0:41:57	関係性しっかり整理して、どういう順番で資料をまとめるのかというのは、検討させていただきたいと思います。
0:42:06	なあ。
0:42:07	あとですね、
0:42:10	別紙3の中で、雑誌を使って、構造設計の説明は必要ないというは、整理を示しておりますけども、これが何でだっということがですねしっかりわかるように、
0:42:20	資料の中と別紙3の、藤丸野設計項目の内訳との関係とかがですね、わかるようにして、
0:42:31	ラッシュでいいんだという考え方がしっかりわかるように整理させていただきたいというふうに考えております。
0:42:37	あとはですねちょっと大きな話として、衛藤。
0:42:41	基本設計方針から紐づいて添付書類の内容を、

0:42:46	として構造設計必要なものを整理する際にはですね。
0:42:50	しっかり今、十分書き切れておりませんが、別紙2の中で必要な添付書類の繋がりがあるところをしっかりと書いて、構造設計の展開に繋がるように全体ちょっと再度サービス見直したいと思っております。
0:43:07	はい後、はい。地震関係につきましては、私の方からしっかり上流側で整理したい方針をしっかりと関係者に物として、
0:43:17	進め方だったり、資料の中身の検討の方をしっかりと進めていきたいと思っております。
0:43:23	まず、本資料については以上でございます。
0:43:28	コサクですすみません、追加でなんですけど、
0:43:37	別紙4のサンプルを見てというところなんですけど、今一番右で別紙2との関係で書いてあるものは、
0:43:48	表番号でなく、隅括弧D、定性的に、
0:43:54	分類を変えて、記載されてるものがあります。
0:43:58	これはまだ作ってないから、ダミーで置いてるということなのかなと思いますけど。
0:44:04	先ほどこの
0:44:08	方針はどれが受ければいいのかという説明という関係からすると、逆にこういう表現の方がわかりやすいなど。
0:44:16	いう気がしてですね。
0:44:18	で、それを踏まえて、これからの説明だと思えますけど、共通12の方の22ページで別紙2の目次を見ると、
0:44:29	全くこの隅括弧と繋がりが見えないところです。
0:44:34	前も
0:44:37	これこの表記でいいのかっていうような話はさせていただいたんですけど、
0:44:43	隅括弧のなものを、この種類の、
0:44:48	その表題にして、具体は何かっていうのを括弧書きで書くとかそういう感じにした方がよくないかって気がするんですけどいかがですかね。
0:45:03	はい。日本原燃清水です。
0:45:06	まず前半の角括弧書いている意図は今コサクさんに解説していただいた通り、私が説明漏れてましたけども、

0:45:16	まだ整理表を作っていないものについては、別紙3の中で、類型分類したときの設計項目の内訳に繋がるような、
0:45:26	設計方針を受ける適用してる、適用を受ける施設がわかるような隅角を書いてございございました。
0:45:33	ですねあとは、後半のですね別紙2のすみません、共通12自体の22ページの目次のところの書き方、
0:45:44	は、
0:45:45	ちょっと今のご指摘を踏まえながらちょっと再度検討させていただきたいと思います。ちょっと実数、実態としては、この部分、隅括弧の分類が綺麗にそこにおさまるものと、それが複数に分かれて出てくるものもあるので、
0:46:03	もう少しちょっと書き方は検討させていただきたいと思います。
0:46:09	はい。コサクです
0:46:12	細かなその対応が舞台が違うので図としては複数出しますよと。
0:46:20	いうものは、枝番つけたり何なりでも対応できると思いますし、隅括弧で書きながら表番号二つ書くと、
0:46:30	いうことでも対応できると思いますので、いずれにしても内容がわかりやすいようにまとめていただければと思います。よろしく願います。
0:46:41	はい、稲毛シミズです承知いたしました。
0:46:49	規制庁シミズ裂創かここまでに規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:46:56	よろしければ、続いて原点側から説明をお願いします。
0:47:03	はい。日本原燃清水です。それでは、資料次の資料に行きます。
0:47:07	共通12でビジョンを令和5年3月14日に提出した資料になります。
0:47:13	まず、1、説明としてはすいません。ちょっと順番前後しますけども、
0:47:23	全体の中を方針の部分からで、通しページの方114ページになります。
0:47:34	こちら、別紙3の申請対象設備率等になります。
0:47:39	こちらですね、前回のヒアリングでご指摘いただいた、2月の会合のお示した別添の作り方と、
0:47:49	すいませんここが合っていないところがありまして、この左側ですね。
0:47:55	ファン号機名数量、まず必要な情報を左に持ってきて、2ページ目以降の115ページであったりというところは、

0:48:05	そこだけを表示するよう表示するようなフォーマットの方に、今回見直しでございます。これで全体ちょっと展開したいと思っておりますというのが、修正点の1点目になります。
0:48:18	2点目になります。
0:48:21	すいません戻っていただきまして、
0:48:29	通しページですけども、
0:48:33	25ページ以降の
0:48:37	まずは防護板の構造設計の別紙の整理表と構造図、概要図の資料のパートでございます。
0:48:50	この具体的内容はちょっと今、別のものからご説明しますが、基本的に直した点としましては大枠としては、
0:48:59	全体のこの右側の構造設計の説明の順番ですね、設計の幹となる部分を先に書いて、その枝葉の部分をちょっと優先順位を考えて記載の順番の方、
0:49:11	全体的にちょっと見直しでございます。
0:49:14	はい。ちょっと具体的の方は、引き続き高森の方からご説明させていただきたいと思います。
0:49:21	規制庁の田尻です。具体に入る前にそれでどういうふうに並べたのかのさっき確認なんですけど、
0:49:28	今25ページ
0:49:30	きょ、住家と共通設計っていうやつを上にかきましたっていうのが今言われた話ですかね。上の段にというか、
0:49:39	日本原燃志水です。まずは、ここ配慮時設計上の配慮事項共通設計ということでバーで、前回書いてたんですけどもそこは共通設計をしっかりと書いた上で、
0:49:50	その共通設計から分岐して、設計上の配慮事項を踏まえて、差分が出ているところに、の記載順番をちょっと変えているというところがございます。
0:50:03	規制庁、佐治です。ちょっと具体化小項目でいうとどれかなんすけどいや構造設計が2列に分かれたりしているんですけどそれぞれが何を表してるかとか、

0:50:13	今の先ほどの話で、上流の谷津甲斐です。その枝葉を後についていう意味でいうと、上流のところがなく江田だけあるやつがいることとかになっちゃうとかいるんで、ここってどういう意図でしたっけ。
0:50:28	はい。日本原燃のサカモリでございますちょっと中身の話に入ってきたかと思しますのでちょっと私の方から簡単にちょっと25ページ以降の表の見直しの方をご説明させていただきたいと思えます。
0:50:39	まず見直しでございますけども先ほど清水からお話ありましたように、設計の流れとかそういうそういったものを考慮してちょっと見直しの方をさせていただきます。具体的に申しますと
0:50:53	竜巻対策設備を設備全体として設計する全体の全体設計のお話をまず上位の方に集めるようにいたしました。これがナンバー1からナンバー7でございます。
0:51:04	これらのうち、各竜巻対策性共通設計となるものをさらにその中でも上位に並びかえたということでございます。8以降につきましてはこの竜巻対策設備を構成する部材の設計の話を集めたということでございます。
0:51:21	こちら各部材の中の設計方針は一番最初に疼痛設計の鍋田と個別具体のものを、
0:51:29	その下に書いてったということで、資料構成の方見直してございます。
0:51:35	簡単ではございますけどまず表の並び替えとか見直しについてのご説明は以上となります。
0:51:44	すいません、日本原燃のサカモリすみません、もう一つちょっと説明するの忘れておりましたの。
0:51:50	構造設計を2列に分けたという点でございますけれども前回の3月10日のヒアリングの時にですねG Aの建屋の動いたこれが
0:52:00	設計思想が少し年排気塔周りや屋外ダクト周りの竜巻防護板とちょっと違うかなというお話があったかと思えます。それを踏まえてですね今回ちょっと、
0:52:10	そう、A D Aの防護板を
0:52:14	別に分けたというところでちょっと2段構成となっております、右側がそちらのGへの防護板を意図した記載となっております左側が、実習は1泊遠く外タップ周りの竜巻防護板の、
0:52:27	背構造を記載しているということでございます。以上です。

0:52:34	規制庁の谷です。どこからいっばいで、ちょっと行動設計はちょっと何かもめそうなんでちょっとははっきりしてないんですけど。
0:52:42	まずうなんか、共通的な上にどうこの話はあったんですけど、
0:52:48	要は、基本設計方針とか第2章で共通的な設計書いた上でd、aポツでも動いたってこういう設計用とか、幾つでって書いてるようなその流れに沿いながら書きましてただその項目の中にもう、
0:53:02	その項目全体に係る内容等、個別の話があるからそこも分けましたよ。
0:53:08	ていうぐらいがまず第1ですかね。
0:53:13	日本原燃のサカモリでございます。佐治さんのご認識の通りでございます。以上です。
0:53:18	規制庁田尻です。なぜまあ、元からを設計方針であるとか添付とかに書かれてる順番の構成を踏まえながら書きましてで、その時に25ページとかんところ最初の1から7が全体にかかるやつですって話があったんですけど、
0:53:34	ここのところっていうのは最初の二つは共通設計で書かれていてそこからさっきの五つは共通設計じゃないっばいんですけど、この差って何でしたっけ。
0:53:47	はい。日本原燃のサカモリでございます1ポツと2ポツはですね全体の竜巻として必ず守るべきものということでちょっと記載の方させてもらっております。
0:53:58	例えば2番というのは当然竜巻対策というのは飛来物があっ竜巻防護対象施設に衝突の後、防止するという思想でございますが、これはすべて共通と。
0:54:08	一方ですりねこの後ちょっとまたご説明させていただこうと思ってるんですけども、竜巻対策には隙間がエース、荘司ているということでございますので、
0:54:18	その隙間に対する設計っていうのはここ、それぞれせ、設備ごとによって考え方が、共通的な考え方あるんですけどどれを採用するっていうのが結構変わってきますので、
0:54:29	それは共通設計ではないということでちょっとこのような、
0:54:35	記載に整理させていただきました。以上です。

0:54:39	規制庁谷です。なので、今回報告板が対象ですね特に降灰の防護板が対象ですとなっていて、最初の二つに関しては、本当にすべての合意に係る内容になっていて、
0:54:51	その次からの五つは、防護板がその
0:54:55	例えば三つ目からメンテナンスの考慮しなきゃいけないとか四つ目だったら、建屋が近くにあるかとか、そういう条件に合致するのだったら共通して適用するもんなので一応共通項に入れていって、
0:55:08	8行目からだったら、これも北野関数とか二名白衣の話がヒアリングで個別でっていうか立入なので、一応共通と個別に分かれていくから個別の項目に分かれてると思えばいいですかね。
0:55:22	古作です。ちょっと下から入っちゃってるの混乱するような気がするんですけど、もともと先ほどお話いただいたように、第2条に、
0:55:33	第別紙2の、この表については、上流から展開をしていくということだったと思います。そうすると、基本設計方針でこう書いてあるものの具体が、
0:55:46	これとこれとこれがありますよということになり、さらに次の添付に行くときにさらに分割されてこれとこれとこれになりますと、場合分けもされています。
0:55:57	いうことになって、それを落とし込む等、設計上の配慮事項ということになっていきますと、
0:56:03	いうことなはずなんですけど。
0:56:06	今の3番だったり、
0:56:09	4番だったりといったところは、本当に添付書類のこの記載からぶら下がってるものですか。
0:56:17	そうは思えないんですけど。
0:56:23	はい。日本原燃のサカモリでございます今回、この資料を見直すにあたってですねこれ多分
0:56:31	今ご指摘いただいたところまさしく個別具体のところなんですけれども、どのように防護対象を守るかという構造を決める要因かなとちょっと考えまして一番上位に持ってきたということでございます。
0:56:45	考えは、以上の、以上となります。
0:56:50	古作です。そうするとまたさっきの資料に戻りますかね。
0:56:56	表のつくり方の考えが説明しきれてないということですよ。

0:57:07	はい日本原燃のサカモリでございます。ちょっと
0:57:12	今の上流文書のどこにぶら下げるかっていうのをもう一度ちょっと考えさせていたideきたいと思います。以上です。
0:57:23	コサクですけど、どこにぶら下げるから考えるっていうのは、
0:57:28	現時点でおかしくてですね。
0:57:31	ええ。
0:57:32	申請書を作るときに、
0:57:35	配慮することについては添付書類に1、基本帰っていつているはず。
0:57:42	なので、その具体説明してくださいと言ってるわけだから、
0:57:49	悩むことなく単純に書けばいいと思ってたんですけど、そういう精査はできないまま申請しちゃったってことですか。
0:57:59	はい日本原燃のサカモリでございます。私の思いといたしましては、今記載しているところに、ちょっとその意図がどこに直接的に書いてあるんだというところちょっと苦しいところはございますけれども、
0:58:11	ここの中にこの意図が込められていると考えておりました。以上です。古作です。精査をせずに出しちゃったということですね。
0:58:20	配慮事項として考えているということ、添付書類ではちゃんと書いてませんでしたということ、今言われたので、今後そういうことがないようにしっかりと整理をしてくださいと。
0:58:31	ということです。で、例えば、
0:58:36	3行目のメンテナンス生保考慮であれば、これは個別条文対応というよりは全体の条文から
0:58:46	試験検査性という要求事項があって、それを個別の設備に展開をします。
0:58:53	ということになっているはずですよ。
0:58:55	先ほど重大事故の方でも話をしたんですけど、そういう共通の方針に対して、個別がどう受けているのか、それを踏まえてこの表でどう入れていくのかと。
0:59:06	いうことをちゃんと考えて次回提出してくださいねということ、申し上げたので、ADDでも一緒ですけどねっていったところがまさにできていると、ということだと思います。
0:59:18	なので、これはサカモリさんのこの竜巻のところで考えるべきことではなくて、全体で考えた上で展開をしていくということなんですけど、

0:59:31	個別先行してやっているの、その全体の考え方っていうのが自分の作業と合致するのかどうかという関係で、一体となって議論をして、
0:59:42	どういう整理方針にすると、対応できるのかと。
0:59:46	いうことを、ぜひ議論してください。
0:59:56	はい。日本原燃清水です。はいおっしゃっていただいた通り、竜巻のところと共通的なところ、リンクしますので、
1:00:05	基本設計方針からの流れ、上流から流れをちょっと意識して再度ちょっと全体整理させていただきたいと思います。
1:00:13	はい。コサクですそれがこの資料のどの場所っていうだけじゃなくて添付書類のどの場所にそういうのを明確にするかということにも繋がりますので、よく考えていただければと思います。
1:00:26	規制庁の田尻です。そのミスが発生し、ミスと言えはですけどこの抜けが発生した要因の一つとして、基本設計方針なんですけど、
1:00:37	よかれと思ってないのか多分、一部を省略してると思うんですね。
1:00:41	例えば、竜巻防護対策設備の第2章の頭のところだったら、交通的な設計方針として、共通項目の地震とかその他の自然現象とか安全機能を有する施設に基づきますよっていうから、
1:00:54	耐震との影響の話だって当然見なきゃいけない。環境交流の話出てくるし、保守の話が出てくるCなんですけど、多分そこがないので、
1:01:04	つなげようがないはずなんで本当は、いう形になるので、添付に関しては、
1:01:11	今後今回整理されると思うんですけど、全体の基本設計方針部分、先ほどすべてがここにぶら下がるっていう話をされたように、何かしらどうにかぶら下げてるやつが消えてしまう可能性があるんで、1回そういうふうな最低限載せたほうがいいので、
1:01:26	載せてください。結果それです。載せてくださいということをお願いします。
1:01:35	本減免シミズ、はいちょっと考えさせていただきたいと思うんですけども、ちょっと別紙4とこの別紙2の関係をちゃんと整理しないといけないと思っておりまして、
1:01:46	別紙4の中で、
1:01:51	今、2章の冒頭で書いてあるような、冒頭制限の部分につきましては、日本の中で整理して、

1:01:59	ここは、具体の構造設計関連するところじゃないなりの整理をして、
1:02:05	いうところもありますのでちょっと全体ちょっと整理を考えたいと思います。すいませんコサクですけど、そういうことを言っているのではなくて、そこを冒頭宣言にするならそれでもいいんですけど、だったら、
1:02:18	そこについては、具体にここで対応しているのでそれを抜き出せば十分ですと。
1:02:24	いう説明があるはずなんですけど、その受けるものがないのに、
1:02:29	捨てちゃってるから、こういう議論漏れが生じるっていうことなんですよ。
1:02:33	なんでそう局所的な対応で言われちゃうと話が止まっちゃうんで、よく考えてください。
1:02:40	はい。日本原燃清水ですちょっとさ、はい。説明すみません足りなくて申し訳ありません。
1:02:45	竜巻以外の他の事象、地震だったりそれ以外の事象、
1:02:54	ですね、ちょっと頭の整理の助けと思って、間割り込みますけど、先ほどのメンテナンス性で言うそうですね、
1:03:06	今言われたところで、
1:03:09	最初の文章はやや読み込み等省略しますっていうとしたら、その呼び込んでるやつは、費用別紙2の表で、しっかり全部挙げてますよと。
1:03:21	個別にと。
1:03:23	いう説明になるんだと思うんですよ。で、今回は省略されてますけど枝番の1は地震になってて、呼び込んでいる地震というのは表がついてますと、そっちの方で整理しますと、
1:03:35	いうことなんですけど、であれば、試験検査性についてはIUの条文で拾ってますよということなのかとかですね。
1:03:45	いうところの整理をしていくということなんです。で、すみません条文どうなったか覚えてないですけど、重大事故だとそこに入るといことなので、言ってるんですけど。
1:03:56	それで上げたときに、じゃあ受け皿どこかっていうと、健全性説明相なはずなんです。健全性説明書D、メンテナンス性を確保するという考えが書きくだされているのかほんとにと。
1:04:10	いう古藤あって、
1:04:14	そこで書き下して、飛来物防護盤については云々と書く。

1:04:19	つもりなのか、竜巻防護の方のこっちの設計方針に飛ばす形にしてこっちで書くのかによって、この表の書き方っていうのもまた変わってくるんじゃないかなと思っています。
1:04:32	そこまで議論をして、この項目について、どうしようかと、いうことを考えていただきたいなと思います。
1:04:39	以上です。
1:04:43	はい、宮部シミズです。はい。今言っていた点、社内でしっかり議論してこの表上でどう整理するのも含めて検討させていただきたいと思います。
1:04:56	清町の谷です。先ほどパワポてやった整理方針のところでも、後藤宣言で言っていたのは、冒頭宣言以降の基本設計方針で具体的な設計方針を示しているためっていう理由が書いてあったからなんぼなものであって、
1:05:12	冒頭に書いてあるから重要なことはそこにはないんだっていう話ではないので、後ろに書いてるからかぶるからやりませんよっていう方針なんですけど1000年だと思っているので、後ろにないけど消していいっていうふうにやると意味がわからなくなるのでよろしくお願いします。
1:05:27	はい。日本原電シミズで承知しました今、おっしゃっていただいた補考え方で整理したいと思っておりますので、はい。再度ちょっと見直したいと思います。
1:05:43	古作です。で、構造設計のところ列にしているということ物が違ったりあえず並べてみましたっていうことなんですけど。
1:05:55	何となくその違うところが多くてですね。
1:05:59	である等、
1:06:00	今日分けたらっていう感じもしちゃうんですけど、どういうつもりでいますか。
1:06:08	はい。日本原燃のサカモリでございます。決して今の記載が私も妥当かどうかっていうと妥当ではないのかなとちょっと思ってるんですけどとりあえずすいません今日横に並べていらっしゃいましたというのがすみません、本当正直なところでございます。
1:06:21	今小阪さんがおっしゃっていただいた通り、二つの表に分けて出す、見すいません。二つの表に分けてご提示するっていうのも一つ見やすい形

	かなと思っておりますのでこの後ちょっと適切に見直したい、整理するってというのは、
1:06:37	ちょっと考えております。以上です。
1:06:43	はいコサクです。ここまで違うぞっていうところはあるんですけど一方でその選択肢として、こういう場合とこういう場合が具体ありますよっていう程度であれば、
1:06:54	横に並べずとも縦2 その枠の中で並べてもいいぐらいかなと思うんですが、幾つかの図面を
1:07:04	示すというところで違いを変え、書くのは、おかしくはないかなと思います。その程度感というのをどこに置くかというので改めて検討して、状況を説明いただければと思います。
1:07:33	元聞こえてますか。
1:07:35	すいません。はい。日本原燃聞こえてございます。
1:07:38	はい。今ご指摘踏まえましてどういう差分があるのかの程度も踏まえまして、まとめるのか悪いのかちょっと考えさせていただきたいと思います。
1:07:56	規制庁シミズです。ここまでで規制庁が他区にございますでしょうか。
1:08:02	規制庁の田尻です。
1:08:05	具体的話に入ると武部隊の話に入ってしまうんですけど、今25ページ26ページで竜巻の話が書かれていて、後ろにはいろいろ図面がつけていただいているが増えたなと思うところなんですけど、
1:08:21	前から少し話に出している隙間があいてるところの考え方なんですけど、
1:08:26	ナンバーで言うと木場のところ要はよりちっちゃいやつに関しては、風により隙間がちっちゃいところ大丈夫ですよっていう話と、ナンバー6のところラビリンス構造っていう話が書かれていて、
1:08:39	後ろの方の図を見ると、あの前1回話して進入角度とかの話がありそうな気がするんですけど、結局あそこは明確化せずにこのどこかで読めますよっていうところを行くんですけど、
1:08:54	はい日本原燃のサカモリでございます。すいませんこの後ちょっとご説明させていただこうと思っていたんですけども、隙間の設計についても今回整理をして参りました。

1:09:06	スキーマでございませけれども、まず大きく分けて二つのパターンがあると考えております。まずは、この 25 ページのナンバー2 のところですねこれに基づき、
1:09:20	必要なところ竜巻の観点で必要なところに防護板を貼った結果、何ですかね、必要防護板を張る必要はないと判断した空間。
1:09:30	その空間が結局防護板と、隣接設備との間に隙間ができるということでまずこれが一つで、もう一つが地震時の支持学校の変位をすねこれを考慮して作る隙間、
1:09:44	こちらが 5、25 ページのNo.5 と 6 のところに記載してる隙間でございませ。
1:09:50	こちらの地震時の変位量で考えた隙間というのは当然竜巻納棺天井の確立されていると言い切れるものではないので、その隙間を竜巻の観点で埋めていく必要があるということでございませ。
1:10:05	その隙間を埋める 2、対しまして大きくこれも、対応方針として二つございまして一つがナンバー2 の方針に基づくに鉄板を張っていくことで隙間を埋めていく。
1:10:17	方法でもう一つはラビリンスを採用するという方法でございませ。
1:10:21	基本的にはすねナンバー2 に基づき血判を貼っていくというのが一番基本ケースとなります。この時、それ隙間が 40mm 以下まで隙間を埋めることができれば繋ぎ向後は、
1:10:36	確実に守れているということになるんですけれども結局周辺環境との位置関係を踏まえたときに、40mm のものについても守れているものがあればそこで防護板を止めるということになります。
1:10:50	一方すね地震時の主事学校の変位量が大き過ぎて、別個梅野ではちょっと竜巻防護の観点で後半の評価すねそちらの観点で厳しいと判断した場合は、ピース構図を採用して、
1:11:04	こちらの空間を埋めていくということになります。こちらがナンバー25 -5 登録で表現させていただいたところございませが、今このNo. 5 だすねちょっとすみません
1:11:15	提出後に再度文書読み直したら、この隙間ペーパーを貼るものは何でもかんでもすべて 40 ミリを下回るように鉄板を貼るといったような記載にちょっと読み取れてしまうので、

1:11:25	この記載はちょっとすいません再度見直させていただきたいと今考えているところがございます。以上です。
1:11:32	規制庁の谷井です。設計方針で足りないところは書かれるというところをまず認識したんですけど、ちょっと頭が混乱したんで確認なんですけど、一番最初に説明された話だと、1と2が共通の話
1:11:46	参加中そこは生の話だっという形だったので、
1:11:50	2棟7が並列にいるというよりは2の方は2、全体の1と2の中2、その下がいるイメージだったんですけど、まずそれで認識合ってますかね。
1:12:02	はい日本へのサカモリでございます原理原則竜巻の観点で設計していくときは1と2を最優先で進めていくということになるのでこれが一番上位に値するなってくるかと思えます。以上です。
1:12:16	支店長2人ですね、最優先ということバーの伊藤なんですけど、2番の設計方針の中で、さっき言った建物を考慮したらぶつからない部分であるとか、隙間をせないように板を設置するであるとか、ラビリンス構造というのが入っているという話ではないんですっけ。
1:12:36	はい。日本原燃のサカモリでございます。舘さんおっしゃる通り2の中に包絡されることになると思いますこれを結局満足できないと、立間キー上ですね飛来物から守るという要求が満足できなくなるので、
1:12:50	そういう意味で言うと2を下にぶら下がるものになるかと思えます。以上です。はい。規制庁谷です。なんで1取りでぶつけないようにしますよという共通がうたわれた上で、ただ堀田条文との関係とかを考慮した上で、特徴を踏まえて設置しなきゃいけない部分に関してはそれぞれ特有の設計の話が書かれていて、
1:13:09	ただここに書かれてるいずれかに置いて、少なくともぶつけられるキャリー以上のものはぶつからないようにしますよっていうのが書かれているんですよ、ちょっと。
1:13:20	はい。日本原燃のサカモリでございます田尻さんのご認識の通りです。以上です。
1:13:25	はい。規制庁鍛冶です。先ほど書き直されるという話だったので、早めにそれを見せていただきたいところなんですけど、前からお伝えしている通り前の表に書かれてない設計方針の後ろにいるように見えると、せ

	<p>っかく整理したものがよくわからなくなってしまうので、その点は考慮して記載をいただければと思います。</p>
1:13:47	<p>はい日本原燃のサカモリでございます。ナンバー2とNo. 56の関係をちょっと再度よく考えて記載の内容見直していきたいと思います。以上です。</p>
1:13:59	<p>古作です。ラビリンスの話があったので、クリアランスの関係の話もしたいんですけど、耐震要求があってということ聾との関係っていうのが、</p>
1:14:12	<p>まだ明示されてないようなんですけどどういう作業方針なんですか。</p>
1:14:21	<p>すごい。</p>
1:14:32	<p>はい。日本原燃清水です。すいません今耐震側の今整理表を、をまず入れてない状況であるんですけども、一応、このA棟、</p>
1:14:44	<p>変位量のところについては、例えばナンバー5なりで、構造設計の列のところ、堤括弧で、地震等のリンクを貼った整理はしたいということで、</p>
1:14:57	<p>記載の方を書きたいと思ってるんですがまだちょっと是正自身側の整理表ができたのでこのスキームを付けというのがまだ十分できない状況です。</p>
1:15:05	<p>古作です。</p>
1:15:09	<p>なるほど。角。一番最後の隅括弧Noのところdナンバー0って書いてあるのが</p>
1:15:16	<p>どの場所かまだ確定してないからってということですね。</p>
1:15:20	<p>はい。日本原燃清水です。その通りでございます。</p>
1:15:28	<p>コサクsわかりました。</p>
1:15:30	<p>た、それでいうと、No.5とNo.6食うがあって、No.6はアンダー引いてませんけど、これは前から書いてあったけど、考えたらNo.5だということで追記したってことですか。</p>
1:15:52	<p>日本原燃の佐久間でございます。小阪さんおっしゃる通り整理していく中でこれも紐づくなということで追加いたしました。以上です。</p>
1:16:02	<p>はい。補足ですわかりました。で、なんか6側になるんですけど、この枝番9の図面っていうことで見た時に、</p>
1:16:14	<p>す。今の関係がどういうふうに見えるのかなあとちょっと先走っちゃって申し訳ないんですけど、</p>

1:16:21	見ててよくわからなかったと。
1:16:25	ことなんですけど、
1:16:27	はい。
1:16:32	40 ページですね。
1:16:38	これ寸法だけ書かれてクリアランスって書いてあるんですけど、これがその地震のその部分カラーを踏まえた設定になっているのかと。
1:16:50	いう。
1:16:52	こととかは、
1:16:54	一番上のところが文章でよねということなん。
1:16:59	ですね。
1:17:03	日本原燃のサカモリでございますちょっとどのタイミングでやっぱ正直ちょっと悩んでたところでだったんですけども、
1:17:11	今回ですね隙間の設計をちょっと整理していく中ですねちょっと今までは、1 個ちょっと間違っただ説明をしていたという点が判明しております、これをちょっと訂正させていただきたいと思います。
1:17:25	今までですねこの隙間についてですけども竜巻防護対策設備全体として、地震時の変位量をこういう考慮して、周辺施設と接触させないように設計すると。
1:17:36	このようなちょっとご説明をさせていただいた、いたかと思ひます。ですからですねちょっとすいません、事実を確認したところ、竜巻防護対策設備全体が接触しないようにするというのではなくてですね支持学校が、
1:17:50	接触させないようにするという設計であったということが判明いたしました。事実ですねこの防護いたの。
1:17:57	に着目してですねこのですね周辺施設とちょっと衝突している。すいません接触してるものが数ヶ所確認されておまして、こちらについてはこの耐震側の方でちょっと今ご説明させていただこうという。
1:18:09	ことで考えているところでございます。ですので今小崎さんがおっしゃった例えば 40 ページのですね、下、右下のクリア出す 30 のところですけど本当下位クラスとかいう、竜巻と竜巻になりますけれども接触をするということがわかっている箇所となっております。
1:18:28	以上です。
1:18:30	古作です。次聞こうと思ってたんですけど、

1:18:34	このクリアランスは絶対接触するようなと思っていたので、
1:18:43	そうだとすると今言われたのは接触するけどう。
1:18:47	構造としては健全ですというように設計しますと。
1:18:54	その構造ってというのが支持（サ）大丈夫ならいいんですと思っていると大間違いで、
1:19:01	竜巻防護としての機能も維持しなきゃいけないと。
1:19:06	いうことだと思ってるんですけど、違います。
1:19:18	そのクライテリアもう竜巻から自身に預けて、地震側で、この接触はこの変形量、
1:19:28	荷重を加えることになるルールでそれは弾性範囲だから大丈夫ですみたいな説明までするってことですか。
1:19:42	法人発生ですね、少々お待ちください。
1:19:46	18
1:20:01	規制庁コサクですけど、整理できてないみたいなので改めてまとめたいただければ結構ですが、後から同時発生という言葉が聞こえましたけど、同時発生しなければいいということではなくて、
1:20:13	同時じゃなくてももうその後来たらどうするんだといったときに、機能維持をしないと駄目だということがありますから、そういった点で設計方針、
1:20:24	示されてると思いますので、これまで提示している設計方針に合致しているということから、全体体系整理して説明するようにお願いします。
1:20:36	はい日本原燃のサカモリでございます。今小阪さんがおっしゃったこと地震時ですね訴訟、接触を踏まえても、きちんと竜巻の防護機能が維持できていることを確認する必要があるといったようなご指摘だと思いますのでその辺り整理してまた、
1:20:50	ご回答させていただきたいと思います。以上です。
1:20:55	いただきたいと思います。以上です。
1:21:00	はいコサクですそれ
1:21:06	せっかくこう吹き出し書かれてい、吹き出しじゃないよ四角囲み書いていただいて、この構造で本当にいいのかっていうのは、ここは2-1の説明としてあるの
1:21:19	2-2の有井さんの2の説明っていうことではないので、具体まで示し評価結果の舞台まで示していただかなくてもいいんですけど、

1:21:29	こういう評価しますよっていう2-2に繋がるルーポイントみたいなのは、付記していただいた方がいいかなと今聞いて思ってます。
1:21:38	何で添付書類のどの章ですとか、今は書いてないから、どこに入れるつもりですみたいなことになるんですけど、
1:21:48	こういう評価で対応していくものですってわかるようにしていただけるとありがたいなと思ってて、それを代表の方へ行っても、
1:21:59	評価方針カラー展開してる項目っていうのの受け手の構造っていう説明のところも、同様な発想があるんじゃないかなと思いますので、
1:22:10	その点2-2への繋がりっていう関係では何か書けませんかっていうことなんですけど、いかがでしょうか。
1:22:22	うん。
1:22:24	はい。日本原燃清水。
1:22:26	まずは先ほどのコメントのまず考え方は整理させていただくんですが、その前の米田ですね。
1:22:34	その整理結果も踏まえまして、確かおっしゃる通り確かにこの構造の中で、評価に繋がるように、構造側でこういうことを求めるというのをしっかり書き込まなきゃいけないので、
1:22:47	そこの繋がりがわかるような記載を考えたいと思います。
1:22:55	はい。コサクですよろしくお願ひします。具体的には、耐震、この耐震評価で、変位量を出すので、その変位量がクリアランス入っておさまってるということを確認。
1:23:09	2-2の方です。
1:23:10	ついていきますとかっていうことが書かれていればいいか。
1:23:14	いうところのイメージです。よろしくお願ひします。
1:23:18	大江シミズです。具体のアドバイスありがとうございました。はい。その点踏まえましてちょっと検討させていただきます。
1:23:26	規制庁カミデです。ちょっと細かい話かもしれないですけどさっき湯浅確保できなくてよく使っちゃうやつありますって言ってましたけど、具体的に114ページの、
1:23:38	表だと、ナンバーの番号
1:23:41	を置いたとか、今説明できます。
1:24:02	違う。日本原燃のサカモリでございます。ちょっとすいません私あの紙で印刷してちょっと字が見えないんで申し訳ないんですけども、

1:24:12	衝突するポーターですね。
1:24:16	主排気孔、No.す。
1:24:22	仲さん 61 日
1:24:26	支配と接続用屋外配管及び及び屋外ダクトし配置と回り、
1:24:34	それが一つ。これが竜巻対策ないでしょうとするものでございます。次が 3612。
1:24:43	いわゆる防護板、P A C 主排気塔接続用屋外作業の声がある。最後は分離建屋屋外
1:24:51	5、3614、平井坪井、
1:24:55	その分やろ。
1:24:57	浅野勝部さん 613 の精製建屋屋外
1:25:03	物になります。
1:25:07	あれ、阿曾部長、石渡医師、すいません 3612 と 3614 ですすいません。
1:25:19	3612 と 3614 は建屋の境界のところは隙間があいていうと、説明させていただきましたがそこが衝突をしていくと。
1:25:31	また、3614 の方は、これ建屋とも接触しているというのが判明してございますので、
1:25:41	3ヶ所ですかねちょっとちょっとすいません。
1:25:46	誤解を招かないために本日の資料ですねちょっとご説明させていただきたいと思います。
1:25:52	まず、主排気塔周りでございますけれども、37 ページ。
1:26:05	37 ページに
1:26:09	7 ページの図 1 です西銘側の絵があるかと思えます。で、
1:26:15	ここの下にですね、道路があってですねここ白抜きにしてあると思いますが、ここの青色の線のところが、竜巻対策と道道が接触している。
1:26:27	ところとまず一つあります。続いて 38 ページの方でございますけれども、こちらですね東面の方になりますが、堂々と竜巻対策の防護板が接触しているということになります。
1:26:43	次のページでもらって、すいません、40 ページですねこちらは先ほどご説明させていただいた通りでございます。
1:26:54	これが主排気と周りの竜巻防護の接触箇所となります。
1:26:59	続いて屋外だと、周りの方につきまして、
1:27:05	思う。

1:27:07	右下 48 ページです。
1:27:14	48 ページの真ん中頃に直角の青の線があるかと思います。こちらの条件といますかね
1:27:22	火、右から左にまっすぐ引かれている青線のうちの左端のところが防護板と接触をしているというところでございます。
1:27:34	一方、
1:27:36	こちらの、
1:27:40	竜巻対策の境界部ということで終わりかな。
1:27:46	56 ページ辺りがいいんです。
1:27:54	56 ページの、こちら系建屋上の竜巻対策になりますけどもこちらの右端のところですね、こっから右端にさらに A B 建屋の竜巻対策が始まるんですけどもそこと接触をしているということになります。
1:28:11	以上です。
1:28:15	はい。規制庁、上手です。
1:28:19	ぶつかっているところは、ぶつかったもの。
1:28:24	例えば、建屋とぶつかる場所だった建屋の計算書、
1:28:30	見るとぶつかった影響分の荷重が加わって入ってるかっていうと、今そういう状況ではないってことですか。
1:28:47	カミタイラです。建屋側ではそういった監視は使っておりません。現時点の計算書を扱っておりません。
1:28:53	以上です。
1:28:55	成長カミデスわかりました。今後はどうするんですか。
1:29:04	浜崎です。
1:29:07	富田です。ちょっとこちらの整理、今行ってるところでして、今後対応、検討していきたいと思っておりますが、
1:29:17	ジェネックス、
1:29:19	はい。規制庁管です。わかりました。
1:29:24	別に絶対クリアランスをつけなきゃいけないかっていうとそうではない。
1:29:30	ですけど、
1:29:35	話すか一体とするかが基本で、
1:29:39	時々当たりますっていうのはなかなか

1:29:42	それも計算できると思うんですけど、すごいコストパフォーマンス悪いなっていう感じがします。
1:29:49	いずれにしてもその設計方針としてどうするかっていうところも、
1:29:53	含め、また説明してもらえれば、
1:29:56	とりあえず状況わかりました。以上です。
1:30:04	規制庁の田尻です。多分なんですけど、図面で幅 40 よりちっちゃいぐらいに書かれてるやつ大体当たりやすいと思っただけいいですか。いや何かたまにちっちゃいと言ってますゲートもないんじゃないかってちょっと竜巻としたらよかったなと思ったんですけど。
1:30:19	使わないのかなと思ったらやっぱり使うんだなっていうのが今認識なんですけど大体そこらのやつですね今言っていたってか大体メモってたらちょっと大体隠したので、
1:30:28	そういうことでいいですかね大体イメージは。
1:30:32	日本原燃の坂元でございます。今、谷井さんがおっしゃった 40mm 以内に狭めたところは、大体、
1:30:49	規制庁、鍛冶です。サカモリですいませんちょっとば温泉してまして、今谷さんがおっしゃった 40mm 以下のところがほとんどなんか周辺施設と、
1:30:59	接触するのではないかといったご趣旨の、
1:31:03	ご発言だと思ったんですけどもほとんどのところはへの接触回避しております、数ヶ所接触をしてしまったということになります。以上です。
1:31:14	規制庁、田尻です。岡山さんなんて、どれぐらい動くかとかも込みで、ぎりぎりセーフのやつと当たるやつがいてってということですね。今後個別には聞いていきますけど助教わかりました。
1:31:26	規制庁コサクです。で、
1:31:30	次が一番、本当は一番使ったところだったんですけど、40 ページで、便数にしていますよと。
1:31:38	ということなんですけど、この田部井していいのってという説明がないと、
1:31:44	いう古藤だと思ってて、タジリから言ってたと思うんですけど。
1:31:49	そのあたりはどう説明スルーつもりなのかお考えを。
1:31:54	お聞かせいただけますか。

1:32:01	はい。日本原燃のサカモリでございます。今細木さんのご発言はラビリンス構造できちんと進入角を消せているかをどうやって示すんだということかと思えます。
1:32:12	その時それはですねちょっと今準備してございますけれども進入経路をきちんと、何ですかね斜線引いてその先に、竜巻防護対象施設がないというのを、
1:32:23	示すことになるのかなというふうに今考えているところでございます。以上です。
1:32:30	はい、古作ですよろしく申し上げます。その話はおそらく、防護ネット側でも、
1:32:37	出てくると思いますので、展開よろしく申し上げます。
1:32:43	はい。日本原燃坂場でございます。承知いたしました。
1:32:47	規制庁の谷です。若干反転してたんですけど、例えば 61 ページ、60 ページに図面があったあと断面図があって、60 ページから、
1:32:58	駄目会见ちゃんと上から見た図が書かれたって形なんですけど。
1:33:02	これ、今日直接衝突しないっていうのをちょっと書かれてるんですけど、
1:33:07	正確に聞いたわけではないんですけど何かまっすぐの町鳥羽郡ぶつかりそうぐらいの角度のような気はするんですけど。
1:33:14	基本的には、
1:33:16	1 回何かにぶつかって、菩提寺にあたり部類に入るかおさまってるからっていう概念ぐらいまでは持ってもいいですかね直接衝突っていう何か割と明記されてる気がするんですけど。
1:33:32	はい。日本原燃のサカモリでございます。これも先ほどのコサクさんのご指摘に繋がるかと思えますけれども、きちんと進入角を消していることを確認しておりますのでその資料、またわかるような資料を準備する必要があるかなというふうに考えているところでございます。
1:33:48	以上です。
1:33:50	支店長、佐治です。だってとりあえず直接当たらないのがそれで示された上で、何か割と、
1:33:57	ちょっとこの 60 ページ右側が何者かってのがちょっと見つらいんですけど、壁だとするとはね返ってきそうな感じもするので、ただはね返ってくる時は意欲が弱いですよとかの説明な気もしたので、

1:34:07	どこまで何を説明されるのかというところを今後整理いただければと思います。
1:34:16	はい。日本原燃のサカモリでございますまず 11 ページの右側の、何で二重線の右側に何があるんだという、きちんと整理してお示しできるようにしたいと思います。以上です。
1:34:28	はい規制庁館ですよろしく申し上げます。
1:34:31	あと、ちょっと戻って恐縮なんですけど、26 ページ、今日、前半のところで話し合った、添付の内容を踏まえながら書くってやつをやると直るような気もするんですけど。
1:34:42	26 ページのナンバーで言うと、
1:34:46	14 から 16 のところ、14 から 17 のところですね、14 から 17 のところで、構造設計としては 17 のところ
1:34:55	メーター方向の回転を防止できる構造とするっていうのが書かれていて、BU が支持学校より超えた大きくすることによっていうふうに書かれていて、添付のところの記載を見ると、
1:35:06	これ、第 1 回申請の時もそうだったと思うんですけど
1:35:11	話をしたとしてもっていう形で要はボルト 2 本以上生き残らせることでみたいな方針をうたわれてたと思うんですけど、そこらの話は今回は対象になってないと思えばいいんですかね。
1:35:27	はい。日本原燃のサカモリでございます防護板の取付ボルトンについてもですねちょっと自営建屋は除きますけれども屋外ダクトとしては 1 回りは、
1:35:39	今回の評価対象としておりまして第 1 回申請時と同じ考えで、評価し、問題ないことをお示しして、申請いたしました。はい。以上です。
1:35:51	規制庁谷です。そういう評価をしているということは、
1:35:57	それは 14 万で読むんですかね。17 番と 14 番の関係を聞けばよかったのかもしれないけど、18 日のところそのいつかボルトが倒れても大丈夫っていう形になるんですかね。
1:36:09	はい。日本原燃のサカモリでございますちょっとすいませんちょっと質問うまくいと掴み切れておるやつ申し訳ございませんでした丹治さんおっしゃった通りですね、14 番のところ、それをちょっと意図した記載となっております。これは第 1 回の時もこういった記載をしておりましてちょっと、

1:36:28	わかりやすい表現かって言われるとちょっとよくないような気もするんですけども一応ここにその意図を込めさせていただいております。以上です。
1:36:37	はい、清町の田尻です。ここは共通設計共通設計個別の後にもう1回共通設計が来てるような形なので、順番の問題と、
1:36:49	その前の設計方針テープとかに書かれてるやつをどこで受けてるかの整理の竹井の話なのかもしれないんですけど、位置関係とかどこで何を説明してるかっていうところを整理しといていただければと思うんでよろしくをお願いします。
1:37:02	はい。日本原燃のサカモリでございます再度表の方見やすいようにちょっと見直していきたいと思えます。以上です。
1:37:17	規制庁谷ですけど、ちなみに、すみません、途中で遮って僕が質問してしまったところもあるんですけど原燃で何か他に説明する部分があるんですけどつけごめんなさい。
1:37:28	はい。日本原燃のサカモリでございますちょっとぶつ切りになってしまいましたけどすべて説明したいことは説明いたしました。以上です。
1:37:36	規制庁、滝です。これちなみにコンクリーコンクリート、
1:37:42	鉄筋コンクリのやつが後ろについてたんですけどそっちは特に説明なしでいいですかね。
1:37:48	はい。日本原燃のサカモリでございます。すみませんこちらに古いのちょっと忘れておりました今回8G II。すみません80ページですねこちらの方ちょっと見直し言いました。
1:38:01	見直しの観点はですね先ほど防護板でご説明させていただいた通り全体設計とあとパーツの設計に順序が並ぶよう率と見直して、
1:38:11	ご提示させていただいております。以上です。
1:38:18	藤。規制庁大谷です。
1:38:21	今の説明は、今日アンカー金で、鉄筋コンクリいっぱいいろんなところに打ち付けてるんですけどっていうところぐらいの話が、何か付け足されたぐらいかと思ったんですけど、何をつけたって話でしたっけ。
1:38:37	はい。日本原燃のサカモリでございます。項目としてつけ足したところはないという認識でございます。ただ記載のほうを少しちょっとわかりやすく拡充させていただいたところはございますっていうところです。以上です。

1:38:51	はい、規制庁加治です。なぜ特に内容変わってなくて後ろに図面いっぱいつけられてというところだと思うんですけど、ちょっとすみません細かな話にはなるんですけど、
1:39:01	駄目という話ではないんですけどちょっと考え方聞いておきたいんですけど、例えば 91 ページとかなんですけど、
1:39:08	もともと等背景があって、その周りにさらに鉄筋コンクリートの板をつけてっていう、ちょっと特殊な形にはなってるように見えるんですけど。
1:39:17	これは何か鉄筋コンクリートを選んだ理由とかって何かあるんですかね別に中板でもいいけど、ここはどこでもいいけそうなところなんかをとっぱら。
1:39:28	ピックアップに伸びるところさらに手前に鉄筋コンクリートをつけていうのがいたりするんですけど、これって何か考え方がありましたっけ。
1:39:38	あれに反面カミタイラです。
1:39:40	ですね。
1:39:43	設計を担当している部署ごとの得意不得意みたいなのところがありまして建物に直接防護する部分は、土建部門でこの対策検討を実施しておりまして、特異な鉄筋コンクリート造と、
1:39:57	いうものを用いるという考えが生じております。で、一方では必ずしも鉄筋コンクリート製日限定しているわけではなくて、冒頭の共通的な方針でもお伝えしているように、
1:40:12	建物の終了、
1:40:14	また需要増が大きければ、そこは軽量化するために後半の方を使うというようなことも選択をしております。
1:40:23	以上です。成長等にですね、いや、今おっしゃっていただいたように何か授業が無駄にかさんでるところが多々ありそうな気がしたんですけどここらはまあ、耐震考えてもそんなに影響なさそうだからもう、
1:40:36	得意得意の分野、建物側の方が得意な鉄筋コンクリート製やりましたぐらいにまず思えばいいですか。
1:40:44	当面カミタイラです。はい。その認識の通りでございます。
1:40:48	古作です。今の場所もそうですし、後半としてもう 43 ページの風土っていう、
1:40:56	ところの形状にしますっていうのも含め、

1:40:59	単純に板厚がありゃいいっていうもんでもなくてちゃんと受けきれてんのっていう構造上の関係もあると思うんですけどそこって説明できてます。
1:41:16	現在カミタイラです。先ほど、サカモリから説明があったように、左の進入線進入経路を遮断するという考えです。
1:41:28	はい。ものとして、ちゃんとサポートを受けてるからその板圧で受け切れるんだということだと思ってて、
1:41:38	その前提条件を守ってますかっていうことの説明ができてますかっていうことです。
1:41:47	主に学校、
1:41:48	カミタイラです。指示に関しても検討。
1:41:54	をしており、
1:41:58	もちろん
1:42:00	外力がない、町中だけの状態でも長期の検討をしておりますし
1:42:06	竜巻時、衝突があったときとか、風圧力、気圧差とを考慮した時にはもう申請の最大というのは確認できております。
1:42:15	古作です。確認できておりますというのは添付書類上等を扱ってますかっていうのを聞いて、
1:42:21	いるんですけど。
1:42:26	はい。日本原燃カミタイラです。計算書の中でも共同計算で、その申請のについては、示しております。
1:42:37	えっとですね。
1:42:39	少々お待ちください。
1:42:52	菱田です。すべてがすべて計算書載せていない可能性がありましてちょっとそちらも整理をして、
1:43:05	させていただきます。コサクです。よろしくお願いします
1:43:09	図面のところにもう最終受ける評価の体系っていうのも整理をしてというふうにお話しましたので、現状はないのであれば、今後こういうふうにつけるつもりですということで書いていただければ結構ですのでよろしくお願いします。
1:43:25	神戸カミタイラです。承知しました対応いたします。
1:43:29	規制庁、池田強度計算書って、竜巻側、それとも対象はどちらですか。

1:43:39	はい。竜巻、辺りまず竜巻の強度計算書にも記載をしております、その他、
1:43:50	防護対象に対して波及影響をおよぼし得るものに関しては、竜巻耐震ともに、その確認をした結果を載せるということにしております。
1:44:04	規制庁谷です。少なくとも鉄筋コンクリに関しては、何か破口みたいなやつ強度評価ぐらいしか見なかったような気がするんですけどそれちょっと聞いてなかったら申し訳ないんですけど、
1:44:18	今回のやつ、91 ページ載ってるやつに関して言うと、
1:44:22	若干ズラー人しきいを間違え起こさせやすくなってるような気がするんですけど、これだから、上の部分だけ元金ちゅう話じゃなくて、側面方向までいくと、その部分の面分ぐらいに赤く印が打たれてるから、それなりの強度が保っていつてるとかそういうことでもいいですかね。
1:44:39	91 の真ん中の断面図のやつが、左側が最初意味がよくわからなかったんですけど、もともと、
1:44:46	タクトなんかだとか封とか何かが出てて、側面部分に関してはその面部分全体にくっついていて、そこから先は上部分だけがくっついてるんですかねこれ。
1:45:01	はい。2 本目カミタイラです。今ご覧いただいている、91 ページ。
1:45:08	精製建屋の飛来物大分とあるんですけどもおっしゃっているようにですね、側面部分、真ん中の断面図と書かれている左側の、こちらの側面部分。
1:45:21	で、その一行目の平面図を見ていただいても、二つ。
1:45:27	下に凸みみたいな、グレーの部分があるんですけど、この両端、
1:45:32	断面では断面等を示しているところですね、こちらでアンカーで支持をとっていて、アンカーの指示は、上部ではなくて、この大戸両端部、
1:45:42	こちらで構造的には支持を取れるように設計をしております。
1:45:47	規制庁たりですね、その時になんですけど、貫通評価としての話と、
1:45:54	これももともとが風洞風土なのかな。
1:45:57	これ、出っ張ってる風土等言わないんですかね、もともとのやつも結構奥に長い形なんですけど、92 ページの写真のものと同じ場所でいいですかねこれちなみに、
1:46:08	はい、その通りです。

1:46:09	長丹治です。なぜもともとその風土部分を支えてたところから、今回出された鉄筋コンクリの重量分住まいた上で、もうその工務部も含めて全体として研究者が保てますよってということなんです。
1:46:23	山根カミタイラです。はい。その通りでございます。以上です。市場といいですっていう形で、何までが乗っかっていて、今後何まで説明しようとしてるのかっていうところの認識を合わせていければと思ってるので、
1:46:35	こんなところまで書いてなかったような気はしますが、今後別の方に説明しようとして話なのかもしれないので、今後確認していければと思います。
1:46:48	整理した上で今後示していきたいと思います。
1:46:51	以上です。
1:46:53	と規制庁カミデです。今 90 ページですけど、
1:47:00	全般、
1:47:02	あれって思ってるところなんですけど、今回、図面いろいろついてますけど、
1:47:07	この資料のためには、新しく変えたんです。
1:47:17	年々のオガサワラです。
1:47:19	もともとある図面を一部加工したものはありますけれども、はい。もともとある図面でございます。
1:47:27	その計算書にもともと記載しているなどという意味です。
1:47:32	規制庁カミデです。
1:47:35	要は、情報量全然足なくて、ものづくり全然できない図面なん。
1:47:41	ですよ。
1:47:43	もうちょっとちゃん等した図面から引っ張ってきたら、今言ってたアンカーの状況とかもちゃんとわかるんじゃないって思うんですけど。
1:47:54	そうしないのはなぜですか。
1:48:33	山北です。
1:48:35	筧に関しては、脱落防止が必要な波及影響の応答処分については、
1:48:45	リスコミの計算書上も示すというスタンスで書き分けをおりまして、ご指摘のように、すべてがすべてタンカーの新宿材の支持できているかという観点でお見せできていなかったということになります。
1:49:02	規制庁甲斐です。話がなかなか通じないんでもうちょっと話をすると、

1:49:08	この図面で、
1:49:12	この程度の図面で、我々の知りたいことを表すするとですね。
1:49:17	まず、平面図であったら、
1:49:21	アンカー金を、
1:49:24	入れずに、書き表してください。
1:49:28	線が2本入ると思うんですけど、
1:49:31	そこで吹き出しを出して、アンカー金で、Dの幾つで設計があります。ダブルです。立地が幾つですっていうことを書き込んでくださいますってことなんですけど、まず、
1:49:43	図面ってそういうもんだと思うんですけど、認識できます。
1:49:49	はい、井上根井カミタイラですか。
1:49:54	そういった対応、
1:50:09	規制庁カミデですけど、現在今回答されてます。
1:50:14	すいません。
1:50:15	小関の作業を次回の更新時させていただきます。
1:50:20	おりますでしょうか。
1:50:22	どう規制庁カミデです。対応しますということをお聞きしましたが、
1:50:27	AM図にも書きますよね。
1:50:30	断面図にも当然、
1:50:32	同じ記載があるじゃないですか。
1:50:37	まずそういう理解ですよ。
1:50:43	はい。
1:50:45	江藤山根カミタイラです。まず防護盤の
1:50:50	鉄筋情報も、何か形を書くのであればそちらもあわせて記載が必要と認識しております、5番の配筋情報と、
1:51:00	シール部のハンガー金の配筋情報。
1:51:03	こちらをすべて合計を表そうと考えております。
1:51:06	以上です。
1:51:08	藤規制庁深見です。5番自体の拝見状況はなんているのか私には。
1:51:15	ですね。
1:51:22	うん。規制庁、館です。鉄筋コンクリート製動いたとしても最近には別に、元から日キャッシュアチャーシビアアクシ決めながらやってる話

	なんで、そんな事細かに書かなくても説明できるんじゃないかと思うんですけど。
1:51:36	何か意図ありました今、書いたほうがいいって。
1:51:39	後はカミタイラです。方アンカー金というのはその接合部の配筋であって、通常鉄筋コンクリート製といったときには、コンクリートの使用鉄筋の使用、配筋情報って書くのが、通常の作法ということでそういう発言をしましたが、
1:51:56	田崎さんおっしゃるように、チャージ期限式で評価する際には、配筋量というものは規定されておられませんので、審査する、いただく上では不要な情報かと思います。
1:52:09	それで
1:52:11	先ほどの発言訂正いたしまして接合部のアンカ金のみ、明確に記載するという対応いたします。
1:52:17	以上です。
1:52:21	規制庁神谷です。あと 91 ページの図面だと、平面図があって、
1:52:28	四角にバツテンしてありますよねこれが
1:52:31	空気の通り道で、
1:52:33	その上側は何も印の入ってないしカクウだと思う資格なんです、これもう、
1:52:44	断面図で言えばですね、ちょうど交換ず壁の貫通してるところを上から見てるのそんな感じなんだと思うんですけど、断面図にこの 1 平面図で切ってますよって書いてないからわかりませんよってということなんですけども、まずそれは理解できますか。
1:53:03	はい。辨野カミタイラです。はい。阿部さんおっしゃる通りの断面を切っているものですので、高さ方向の成分っていうのもいるし、
1:53:14	はい、規制庁、失礼いたしました。はい。
1:53:18	規制庁岡見です。言いたかったのが、
1:53:22	そうやって、
1:53:25	わかりやすく、この図を一生懸命書くんじゃないで、
1:53:29	今ある施工図があればいいんじゃないの。
1:53:31	そしたら、もうちょっとまともな記載になってるでしょって思うんですけど。

1:53:35	だから何でこの図面でやってるんですかって最初聞いてるんですよ。なんで、普通に施工図はどうですかっていうことに対して、原燃と思うんですけど。
1:53:52	はい。日本のカミタイラです。これまでのお作法といいますか、必要な情報をわかりやすくするために、伝えるべき内容に絞って記載すると。
1:54:03	というような、起こるまでもしておりましたので、そういう観点で記載をしておりました。
1:54:09	一方本日ご指摘いただきましたように必要な情報が読めないという意味では、適切に伝えるべき内容をすでに盛り込むというような対応しようと思います。
1:54:22	で、施工図、設計図をそのまま用いるというのは、かなり色は多くてですね。
1:54:30	あまりこう、使うというのは適切ではないというふうに
1:54:34	考えております。
1:54:36	以上です。
1:54:38	規制庁カミデです。
1:54:41	確定にしてくださいというか、事業者にお任せなんですけど、
1:54:47	どれだけここに労力をかけるのかっていうことだけですから、我々は、図面に不具合があった、あって、よくわかんないんだったらまた何回もこういう話をしてですね。
1:54:59	繰り返すってことになる、なりますけど、その辺は、対応として、事業者として考えてくれる場合、
1:55:08	いいと思いますんで。はい。どっちにしても、アンカーの話だけじゃないですけど図面の程度が、
1:55:17	悪いなど。
1:55:19	というのが感想です。
1:55:22	もうちょっと言うと、例えば 68 ページとか、
1:55:27	ですかね、
1:55:30	5 番の
1:55:33	駄目切ってますけど、
1:55:36	何か宇井高は李おそらく学校だと思うんですけど針が浮いた感じでこうあって、

1:55:46	柱みたいなものが全然書いてなくて、普通ここじゃなくて柱あるようなところ。
1:55:52	書けばいいし、ねえ、長手方向の範囲だけじゃなくて、身近て方向にも、梁がある、むしろ身近て報告はありで長竹多田と思うんですけど。
1:56:05	そういうの全然書けてないじゃないですか。だから、ちゃんとした図面使えばっていう、私は思ってます。
1:56:12	事業者がそうじゃなくてちゃんとしたものを書きたいっていうんだったら一生懸命書いてくれてもいいんですけど、すごい時間かかるんじゃないですかと思ってる。
1:56:20	問題意識は伝わってます。
1:56:34	日本原燃の阪本でございます。
1:56:38	鏡さんがおっしゃってることはもちろん認識してございますその上での今ご指摘いただいた 68 ページでございますけどもこちらですね我々のすみません、作成こちらの意図としましては、
1:56:52	ここ隙間を示すどこにどんな隙間があるかっていうのを示すという観点を向きを置いて作成したので、それが素早くわかりやすつつくれる図面ということでちょっと今回これは新規で作成してるんですけども、
1:57:06	今回このような図面をお出しさせていただいたということになります。以上です。
1:57:17	はい。規制庁カミデです。
1:57:22	だからこれで我慢してねってことですか。
1:57:33	浅井日本原燃のサカモリでございます
1:57:38	ちょっと時間との関係もあったというのもすみません、裏事情としてあったりするんですけどもちょっと本当に何が説明したい図なのかっていうのも踏まえて、こういった情報の線が適切なのかってのはきちんとやっぱり考え精査する必要があるとございますので、
1:57:53	その観点でもう一度図面全般的に見直しを図りたいと思います。以上です。
1:58:01	規制庁、上手です。
1:58:07	なんかよくわかんないっすね。
1:58:10	図面全般を見直したいと思っておりますっていうのも、どう、どういう意図で言われているんですか。

1:58:19	日本原燃のサカモリでございます全般を見直すといっても全部見合うという意味じゃなくてですねこの図面は我々として何を示したい図面なのかという目的をきちんと持って、
1:58:31	その目的が達成してる図面ですかっていうのを、確認した上で足りてない情報があればもちろん追記する必要があるといったような趣旨で先ほどご発言、発言させていただきました。以上です。
1:58:45	規制庁、カミデです。
1:58:47	しようかな、なんていうかその一般的な図面のお作法は守って欲しいんですよ。
1:58:56	基本的に、68 ページって、
1:59:00	その紙断面そのまま切っているっていう感じ。
1:59:06	ですよね。でも、普通は、
1:59:09	奥に見えるものが書かれる場合もあると。
1:59:18	その場、その瞬間のところを切っちゃうんだとする等、どこを切りましたかっていうのが、
1:59:29	一応それを書いてあるにしてもですね。
1:59:33	うん。
1:59:34	ちょっと 68 で、ちゃんとした図面ですって言われても、
1:59:39	全然わからないんですよ。隙間だけ見せたいんだったら、もうちょっとデフォルメしたポンチ絵みたいな方がいいっていうことなんですけど、感覚は伝わりますか。
1:59:55	はい。日本原燃のサカモリでございます。今上出さんがおっしゃってるのはおそらく
2:00:01	載せてる情報がすごく中途半端だと、おっしゃってるのかなと理解いたしました単純に隙間を能勢木曾の隙間でちゃんと防護対象が守れているという観点で立つならば、こんなのH本みたいなのは要らなくて、
2:00:14	板の張り方と、防護対象を示してそれがちゃんと守れてますっていうのを示せばいいといったご発言かなと思いましたが認識合ってますでしょうか。
2:00:25	はい。規制庁神です。その通りで非常に中途半端な図面。
2:00:31	なんですよ、変なんで、その辺りちゃんと整理。
2:00:35	してもらえればっていう感じですか。はい。

2:00:39	はい。日本原燃のサカモリでございます。逆に余分な情報が載ってないかという観点でも見直していきたいと思います以上です。
2:00:49	はい。規制庁深見です。他にも、
2:00:52	いろいろハッチングが違う 87 ページとか多分ハッチング間違っていたりとか、
2:00:59	していて、そちらが、
2:01:03	僕たち自分で詰めか君、わざわざ詰め書くんだと、いうことだから、
2:01:10	それは止めませんが、
2:01:12	間違いの元だしそれはそれで大分時間かかるのに、大変ですねと思っているという感じです。私の方からとりあえず図面関係については以上です。
2:01:27	規制庁ハバサキです。私の方からちょっと 1 点だけ、これ確認です 84 ページ 85 ページ。
2:01:34	まず 84 ページ、85 ページのほうの断面のところですね C C 断面下の、
2:01:40	でもいいんですけれども、
2:01:42	アンカーの位置がこう太い黒線が入ってるんですけども、
2:01:46	まずこの紙、本に関しては、建物を、
2:01:51	の外壁から支持をとっているんであって、基礎はないというまず認識で言えば、いいですねまず、
2:02:00	矢内カミタイラですか。はい。その認識の通りでございます。
2:02:04	はい。規制庁浜崎です。その場合に、上側の不凍栓のところと、左下の G L にかかっている。
2:02:15	太線のところ、この 2 ヶ所で指示を取っていると。
2:02:20	いうことでいいわけですね。
2:02:28	はい。日本原燃の方は澤田です。はい。その通りでございます。
2:02:33	越後田崎です。そうすると、84 ページの、
2:02:37	北側立面図になりますけれども、
2:02:40	この図にもアンカーの位置っていうのがある。
2:02:43	定時、
2:02:45	示される。
2:02:47	示すことができるということで理解でいいんですか。

2:02:54	ただ、逆に言うと 84 ページの北川律立面図でアンカーの位置を示してくださいっていうとどうなりますか。
2:03:08	カミタイラです。えっとですね、こちらの 84 ページが、
2:03:14	平面ずーっとメールで立面図が外側から見たという、いう表現でして、そういう意味で考案課金を書かなかったんですけども書くとする、
2:03:26	下のヒーター号立面図でいくと左側の
2:03:31	安部文あ、すみません。
2:03:35	すみません。
2:03:37	ちょっとこれはですね来た田川立面図を見ていただきますと、ごめんなさい。その上の平面図を見ていただきまして、
2:03:45	東面に建屋の外壁面に併走して走ってる、長く、
2:03:58	コンクリー等がついているところがあるんですけども、そちら側にアンカーをとっております。
2:04:04	なので、下の図で言いますと、北立面図の、
2:04:10	外面の面ではなくてそこから 450mm、先方で言うそうなんですけども、もう外壁面の
2:04:20	長谷が書いてある部分ですね、この面はアンカー設置面になるということになります。
2:04:31	ちょっと口頭説明では難しいので、アンカー金を明示するタイミングで
2:04:40	わかるように示させていただきたいと思います。
2:04:44	池田濱田ケース先ほど上出からもあったんですけどもですね。
2:04:49	イベント情報量がやはり少ないと思いますんでですね、例えば 8485 だけでも、そのあたりがしっかりわかるような、
2:04:58	説明を求めたいと思います。よろしいでしょうか。
2:05:03	8815 に限らなくてですね、図面に示すべき情報量、
2:05:09	の話です。
2:05:11	はい。
2:05:12	また、
2:05:16	はさせていただいた案件については、情報をわかるように対応いたします。この辺についても、説明が必要な情報というものが漏れなく入るように、
2:05:29	対応を進めていきたいと思います。以上です。
2:05:34	はい。規制庁の田崎です。私から以上です。

2:05:38	すいません。カミデです以上と言いつつも、ちょっと、
2:05:44	お話ししたいところがありました。59 ページなんかを見ると、
2:05:50	隙間の寸法とダクトの大きさでいうと、ダクト。
2:05:56	最初のダクト結構でかいのは知ってたんですけど、これスケールあってます。
2:06:10	はい。日本原燃のサカモリでございますCADで確認しておりますのでスケールは合っている通りの認識でございます。以上です。
2:06:20	はい。規制庁亀井です。
2:06:22	わかりました。何でじゃ屋上の上、
2:06:25	もう、
2:06:26	10 メーター単位で、学校を組んであるってことです。
2:06:36	はい。日本原燃のサカモリでございます双日寸法ちょっとすぐ言えなくて申し訳ないけどかなりでっかいものがついているという状況でございます。以上です。
2:06:47	はい。規制庁川満まず
2:06:50	代替を、
2:06:51	一つ、基本的にはオンスケジュール変えて、
2:06:53	まず理解しました。あとは
2:06:56	図面の作法でいうと、あれですよこれ天井面なんだから、それがわかったり、もしくは標高が入ったり、あとはここは、
2:07:07	無理ですっていうところまで書かなくてもいいんですけど、大分、
2:07:12	うん。
2:07:13	アキコ見足りないしなあっていう感じはしますね。はい。とりあえず私は以上です。
2:07:28	その他規制庁側から質問ある方いらっしゃいますか。
2:07:31	規制庁岡です。現場側からもう、他の条文も説明はないってことでよろしいですか。
2:07:41	ですから、外部火災関係でちょっと前回、
2:07:46	コメントした 45 ページ。
2:07:48	なんですが、
2:07:50	45 ページの外周ラインの、これも何の線をつないだのかっていうところももう少しわかるようにしてくださいっていうふうに、

2:07:59	伝えてましたがそこって同意どっかでわかるようになってるのかそれとも、主なのか、ちょっと教えてください。
2:08:15	郷。
2:08:16	はい。日本原燃のサカモリでございます。前回ヒアリングお母さんからこの来週範囲の考え方を示したといったそのコメントだと思っております。
2:08:27	こちらについてはですねその表のほうに記載をしております、
2:08:36	これだから、
2:08:38	27 ページの方をご覧ください。
2:08:43	はい、規制庁数 27 ページはわかるんですが、
2:08:48	今の表のどこが木曾。
2:08:50	になってとか、そういったところを、具体的なぶざぶいで、
2:08:58	説明してくださいっていうのも含んでいたんですが、
2:09:02	そこはいかがですか。
2:09:06	明日。はい。日本原燃のサカモリでございます。大川さん、上手く務めておらず、申し訳ございませんそちらの図面まだ筒井化してございませんのでこれからちょっと対応させていただきたいと思えます。以上です。
2:09:20	はい、規制庁奥ですよろしく申し上げます。あともう 1 件、今日前半で設計方針を説明されてる中で、やっと何かわかってきたところなんですが、
2:09:30	80 落雷条文の整理、
2:09:33	114 ページの
2:09:36	A 棟 A'-03 というふうに、飛来物 5 番が全部なっていて、
2:09:43	被害設備ってせ、A 棟設置、
2:09:48	1 回せ。
2:09:50	こっち要求とかで整理されていたからかなと思ったんですが、主排気塔周りだと、主排気塔 270 キロアンペアの落雷を想定していて、
2:10:01	それを直営嫌いをしっかり受け取って、積極的に受け直すっていうような設計方針になっているところ。
2:10:09	この防護番のたくさん下についてしいることによって、その設置局に流すところがしっかりできないんじゃないかという観点がずっとあってで

	すね、そこの整理って、今後どういうふうに説明していきますでしょうか。
2:10:30	1、2本目でしてございます。はいその違いはおっしゃっていただいたように
2:10:35	避雷設備でした機能が、他の設備をつけることによって阻害されてないかと、いうことの説明は必要だと思いますので、ちょっとここ、構成も含めて組み立てて別途説明ができるようにこれに拡充をさせていただきたいと思います。以上です。
2:10:53	はい。補正状況ですよろしく申し上げます。
2:10:56	私から以上です。
2:11:03	なんか、規制庁側から質問ある方いらっしゃいますでしょうか。
2:11:07	いいですか。規制庁浜崎です。ちょっと先ほどのクリアランスの話に戻っちゃって申し訳ないんですけども。
2:11:14	例えば40ページの資料の右下の図、断面図のところ、30ミリ。あ、これ。
2:11:21	有賀プランナー。
2:11:24	開示かもしれません。クリア続けてます。で、
2:11:29	先ほど4ヶ所か5ヶ所、接触しますという話があったんですけども、接触すると言った結果の条件、それS s数の、
2:11:43	地震ごとの結果ですかそれともどういう条件で接触するという条件を入れたらいいんでしょうか。
2:11:51	はい日本原燃のサカモリでございます条件としては1.2S sで確認の方してございます。以上です。
2:11:58	規制庁浜崎です。S s量は大丈夫ということですか。
2:12:13	はい日本原燃のサカモリでございますすいませんちょっと一番厳しい条件でちょっと確認の方は行ったものですのでちょっとS sに当たるかどうかちょっと今把握できない状況でございます。以上です。
2:12:25	1ハバサキです。私が心配してるのはS Tでもぶつかるんじゃないかというようないはい。
2:12:30	違うセンスでそこら辺しっかりS s - D S Dでも大丈夫。大丈夫なのかそうじゃないのか等の検討は今後、説明してもらいたいと思うんですが、よろしいですか。

2:12:47	日本原燃の成田でございます。ここのはっきりの施設になり、耐震上は旧の施設になりますのでここについては、S sの評価に対して、
2:12:57	当検討不会社となりますので、1.22、すいません、1.0S sに対してやりとり検討したいと考えております。以上です。
2:13:08	規制庁浜崎です波及的影響評価S sに対してわかってるんですけども、
2:13:13	いや、すべてもしぶつかったらどうしましょう。
2:13:21	じゃないすか。
2:13:24	はい日本原燃のサカモリでございますそういった地震の条件とあと何と何がぶつかるっていうのも、すべてそういったことを整理してきちんと問題ないといったところをご説明していく必要があるかと思っておりますので、
2:13:36	その辺これからの整理してまたご説明させていただきたいと思えます。以上です。
2:13:41	はい、瀬崎です。よろしく申し上げます。以上です。
2:13:45	規制庁カミデです。整理してもらうべきは
2:13:52	相手が、竜巻防護設備等後それが取りつく建屋とか、常に相手がありますよっていうことをちゃんと理解するっていうことをちゃんと整理してください、今の。
2:14:05	須田は9だからS sだけですって言うてるのはそれは竜巻対策のことしか考えていなくて、取りつく分離建屋とかっていうのは中にS Dのききますから、
2:14:18	S Dでも評価をしなきゃいけないし、S Dのときの暴騰というのを把握しておかなくちゃいけないと、そういうときに、実は取りついているものからぶつかってきてみたいと話があると話が可能。
2:14:29	設計がより複雑になってきてしまうということですから、ちゃんと相手が相手あって乗ってさらに相手にどういう設計要求を凶ってるかっていうのをちゃんと整理してくださいということ
2:14:46	はい。日本原燃原田です。はい。承知いたしました。被害者側、
2:14:52	についても、ちょっとあれですね、要求事項が何なのかを確認して、その辺、問題あるのかないのかっていうところをしっかりと整理して、
2:15:03	確認いたします。以上です。
2:15:21	他、規制庁側から質問ある方いらっしゃいますでしょうか。

2:15:38	特にもう質問はないようですので、原燃側から、今日の振り返りと今後のスケジュールの方をお願いしてよろしいですか。
2:15:49	はい。日本原燃市民で、
2:15:52	共通 12 につきましては、まずは、整理表の部分ですね、25 ページ以降、
2:16:00	こちらについては基本設計方針行動できず、当検討する基本設計方針から添付書類の繋がり、移行構造設計の説明に繋がり、
2:16:11	流下の繋がりっていうところをしっかりと整理して、構造設計の記載中なり、これ、今の形で正しいのかというところであったり、他条文等のメンテナンスの話もありましたけども関係もしっかり整理して、
2:16:26	資料全般的にちょっと見直したいと思います。
2:16:28	あとは 25 ページの構造設計の表ですけど 2 段で書いてますけども、こちら、一つにまとめるのか、この別表でまとめるのかっていうのをですね、
2:16:39	類似するところの関係もちょうと考慮した上で検討させていただきたいと思います。
2:16:47	はい。あとは図面概要図の方でございますけども、大枠としては、それぞれの図で、
2:16:56	何を示したいのかということ意識してその情報がしっかりと書き込んでいるのかということ全般に見直しであったり、
2:17:06	後のアンカーの位置ですね、しっかりどこで、その物を固定してるのかというところがわかるような情報であったり、一般的な詰めの方というのをしっかり
2:17:21	はい、守るようにし、概要図の方を全般に見直したいというと、
2:17:27	ラビリンス構造のところの説明ですね、しっかり進入経路を防げているかふさいでいるのかどうかというところをですね、今の説明では見えませんので、そこの方、しっかり書き込むように、
2:17:40	対応させていただきたいと思います。
2:17:43	あとは、
2:17:46	隙間のところですね。
2:17:49	全般的にちょっと整理させていただきますけども、
2:17:54	防護板と、相手側、

2:17:56	S s - D2、1.2 であったりそういう関係をしっかり整理して、どういう状況なのかというのをちょっと瀬全般整理させていただいた上で、
2:18:06	ご説明させていただきたいと思います。あとは外部監査のところですね、すいませんコメント対応十分取れてないところにつきましては、必要な図面ちょっと追加して、
2:18:16	ご説明させていただきたいと思います。あとすいません、ちょっと整理表の方でちょっと1点漏れてまして、構造設計の説明の中で、今の隙間あたりだったりというところを
2:18:28	最終、次の2-2との関係もですね、わかるように、示し方の方、検討させていただきたいと。
2:18:38	思います。
2:18:41	あとはすいませんもう1個ね、落雷の観点で、市は1、
2:18:47	平井の県営と設置が阻害されていないような構造になってるのかっていうところをちょっと事実確認した上で整理させていただきたいと思います。
2:18:57	はい対応時期の方ですけども、
2:19:01	今、大分、はい大きなコメントいただいたというふうな認識ですので、まずはスケジュールのほうまず中に1回相談、検討させていただいて、
2:19:13	今後、ちょっと朝日ラバー等でどういうスケジュール感で進めれるのかというのをちょっとご説明させていただきたいと思います。
2:19:25	ありがとうございました。
2:19:27	それでは、スケジュール等について規制庁がご質問ある方いらっしゃいましたらお願いいたします。
2:19:40	特段ないようなのでこれで
2:19:43	ヒアリングの方終わりたいとセトガワさん、規制庁オオハシですけども、この後の会合資料があるので、そちらお願いそうですね。はい。それで、それでは下表資料の方の説明の方は行っていただけたらと思います。はい。
2:20:00	すいません日本エネシェアでございます会合資料変える前すいませんオオハシさ。
2:20:05	明日の午前中の面談のため資料ってどうすればよかったでしたっけ。こちらは提出いただければと日付ですね。はい。

2:20:17	明日付けで出せばいいですか。はい、わかりました。はい。当然岩下付ですけど。はい。今日お答えいただいて構いません。はい、わかりました。はい、承知しました。すみません。すみません。
2:20:33	私がさっき電話したのはその理由です。すみません、出ないんで。はい、了解しました。はい。
2:20:44	はい。日本原燃志水。
2:20:47	それでは、介護資料の方、ご説明させていただきたいと思います。
2:20:54	こちら令和5年3月14日に提出させていただいた資料でございます。
2:21:02	今回骨子として用意してるところが2ページ目になりますが、議題2のところでございます。
2:21:14	2ページめくっていただきまして、4ページ目。
2:21:17	方ご覧ください。
2:21:20	ちょっとこの記載を、今の所、ヒアリング状況踏まえてちょっと検討はしなければいけませんけども、①番ということで、今回は飛来物防護板を題材に取って、
2:21:33	今、どういう説明を展開するのかというところをご説明したいというふうに考えてございます。
2:21:41	5ページ目ですけども、前回の会合から説明済みのところは、グレーにして、今回説明するところ緑にしてございます。
2:21:51	6ページ目になります。
2:21:53	こちらは前回の会合でもご説明した全体の構造設計の説明をどうするんだという大枠の全体の方針、
2:22:03	を書いてございまして、7ページ目、こちらがですね、それ以降、今、3月いろいろご議論させていただいてる共通12の中で、どうやって構造設計の説明を整理していくんだという全体の作業の流れを記載してございます。
2:22:23	8ページ目になります。その流れに従って、飛来物防護板、板の構造設計の説明を、
2:22:31	今、7ページのフローに従って、どういうステップを踏んで整理してきたんだっていうところを8ページ目から9ページ目に、
2:22:40	開けて記載してございます。

2:22:42	最終的には、すみません今添付できてございませんが、共通 12 年、添付している別紙 2 と概要図、こちらを、
2:22:51	A A 形としては、別添とし、してまず、J A E A、
2:23:02	このパワーポイントの店舗をポイントを押さえていかなければいけないところというのを抽出した、条文ごとの表と、それに該当するかよう図というのをちょっとつけなければいけないんですけど、それについては今、添付できない状況でございます。
2:23:19	最後資料のちょっと今作っている骨子の流れ、説明したい流れとしては以上でございます。
2:23:33	それでは、規制庁側から質問ある方いらっしゃいますでしょうか。
2:23:41	清町の田尻です。
2:23:43	衛藤。
2:23:44	これ、結局、前回まで、前回までは前回の会報に説明したことからの進捗としては、とりあえず前回までは 1 ポツも説明してる場所、
2:23:55	2 ポツの 2-1 の部分を少し説明しますそれは防護板は A ですよっていうところになってるんですけど、
2:24:01	今回追加で説明しようとしてるところってどこになるんですか。何か 7 ページとかそこらの整理を説明した上でまだついてない後の構造とかを説明するんですか。
2:24:13	はい。日本原燃志水です。今田尻さんのおっしゃっていただいた認識の通りで 7 ページ以降の説明が、今回の会合での説明内容になります。
2:24:22	規制庁谷です。なんで先ほど共通 12 でやっていた表とかの整理の話は、
2:24:30	あれも後ろにもくっついてる前提でいいんですけど。会合資料はこれでパワポにまとめたものは別途あれが存在してる、共通 12 自体が存在してるんですけど。
2:24:43	はい。日本原燃清水です。共通住人自体のせえくせすいけません、整理表であったり概要図というのは、別添の形で後ろにまとめて付けたいと思っております。
2:24:56	支店長谷です。です。
2:24:58	それはもう、さっききょ共通的な方針みたいなコアコンピタンスがいましたけどあれは台風資料とは関係がなくてこっちには文言としてあんま出てこないんですかね。

2:25:09	それが6ページなんですか。
2:25:16	日本原燃清水です。
2:25:18	そう言いますと大脇の概念のところは6ページで書いてあるんですけども、どういう資料、ツールといたしますか。
2:25:30	整理をしてっていうのは先ほどのパワポの全体が、資料館の関係だったりっていうところになりますので、そういったところもすいません今書き込めてないので、
2:25:41	お示ししたいと思います。
2:25:44	規制庁の田尻です。今後の審査も含めてなんですけど、これ、こういうふうにやってるんですよっていうところを1回クリアにしておかないと
2:25:54	今までもその方向で説明をしてきてるんですけど、
2:25:57	何か固まったのが固まってないのかわからない、ここまできてたところを、ちゃんと構造を示すときにはこういう体系なんか今日設計方針とか受けながら、こういうふうにならなくてやってるんですよっていうところは、
2:26:09	今までと同じ文章中はちゃんとやってることを説明いただいた方が次に繋がってるかなと思うので、その点、説明できるようにしといていただければと思います。
2:26:21	はい。日本原燃清水承知いたしました。
2:26:26	規制庁谷です。
2:26:28	ざっと先言っちゃ言いますが衛藤。
2:26:32	さっき言った構造の話っていうのは今、若干気になってるのはどっか、
2:26:38	今回は何か方針を説明しますみたいにとどまっているんですけど、ここ板に関しては、構造も含めて説明してるでいいんですよね。
2:26:47	はい。日本原燃清水です。すいませんこの会合資料の上各ページの上の部分ですねすいません。説明方針と全部書いてしまってますが、
2:26:57	構造のところを説明しているというスタンスに立ちたいと思っておりました。
2:27:02	はい。規制庁谷です。その時に、今8ページにあるのっていうのは、
2:27:08	まだこれは二つに分類しますよっていうんでそもそもこの二つのBLEVEが一旦わからないところなんで、ここから言うのかもしれないんですけど、こっから先に今何つけようとかっていうのを考えておられるんですかね、なんか。

2:27:21	あっせんに示す予定っていうのはまあそのような気もするんですけど。
2:27:24	どのような考えかっていうところがあれば、聞いておきたいんですけど。
2:27:30	はい。日本原燃清水です。
2:27:32	今考えておったのは、共通 12 の別紙 2 で、条文ごとに整理をつけておりますけども、そのまずは当然刺繍条文になる竜巻の、
2:27:46	今回名野瀬 D 御説明する抜粋のところをつけるのと、それ等か条文でリンクがあるところっていうところの整理表を添付した上で、
2:27:57	さらにその説明にリンクする概要図をつけたいと思っていました。
2:28:03	規制庁谷です。表を抜粋しながらつけるの自体はお任せするんですけど、今回、構造の話をするというのであれば、特異な構造部分、前は本当にパーフォ 1 枚ペラ土地だけでしたけど、
2:28:19	それこそすいませんって空いてる部分に関してはこういう設計にしているので大丈夫ですよっていうところまで聞いて、別に今回全部解決はしないでうちから指摘する形は当然あると思ってんですけどそういったやりとりまでやらないと中身に入ったことにならないかなと思ってんですけどそういったところも、内容としては盛り込まれるんですかね。
2:28:42	はい。日本原燃清水です。はい。そういう
2:28:48	整理になろうかと思います。
2:28:52	はい、規制庁たですな、なんか若干歯切れ悪いけどそういうことですよ。はい
2:28:58	これ、ちなみに中身も入れたやつって、どれぐらいのスケジュール感で用意しようとしてるんですしたっけ。
2:29:07	日本原燃志水です。等ですね。
2:29:11	もともと目指していたのは、次の資料提出が少々お待ちください。
2:29:30	日本原燃志水です。本日のヒアリングのご指摘を踏まえまして、
2:29:38	おい、
2:29:43	あ、すいません、日本原燃清水です。スケジュールとしましては、
2:29:48	本日のコメントを受けた共通時の修正したものをですねももとの計画としては金曜日、それに合わせて会合資料も合わせて提出したいと考えておったんですけども、

2:30:02	ああすいません、ちょっと共通12の本丸の方がですね、本日ちょっと大きなコメントを受けているのでちょっとスケジュールの方、検討させていただきたいと思います。
2:30:15	清町の田尻です。
2:30:18	す、何か細かな部分はともかくとしてイメージぐらいはもうちょっと物をつけた形で見ながらやってた話も早い気がするので、
2:30:28	あまり遅くなりすぎないようにとしか言えない状況でありますけどよろしくをお願いします。
2:30:34	はい。日本原燃清水です介護資料としてのイメージをしっかりお示しできるように、ちょっとスケジュール考え、早目に考えたいと思います。
2:30:44	規制庁コサクです。共通中に細かなコメント対応ワー別紙というのが別添というのか、そちらの方そのままつけるの
2:30:56	進めていけばよくて、
2:31:00	そのエッセンス数をここでどう変えていくのかということなので、今日のコメントそんなに影響受けないと思うんですよね。
2:31:10	なので
2:31:13	さっさと作業をして見せてくださいということだと思ってます。で、それで、
2:31:22	共通12のときにも少し言いましたけど、資料イメージが全然違うんです。
2:31:30	なので
2:31:33	どんなことかというところをお話しいができればと思うんですけど。
2:31:38	当然ですが5ページまでは違いませんと。
2:31:42	6ページについて、
2:31:47	わあ、
2:31:48	6ページ、6ページ、7ページ8ページに、
2:31:54	ついては、
2:31:55	また原燃を得意農作業をこういうふうにやっています、こういうことをヒアリングで説明してますというのを説明したがるような資料になって、基本全部入りません。
2:32:16	いるのは、
2:32:21	どういう内容を整理して説明を、
2:32:25	まだ構造設計しているのかっていうぐらいだけです。

2:32:31	それで言うと、
2:32:35	いつまでも今回は全部を説明するというのじゃなくて1例で説明の方針、
2:32:43	今後次回こういうところで意識説明しますと、その説明のイメージはこんなものです。
2:32:51	ていうのを確認したいと、いうことだと思いますので、6ページはそういう旨が書いてあれば、
2:33:01	いいと。
2:33:03	ということです。
2:33:11	なので、ですね、最初のダイヤの3行目。
2:33:21	類型化しますよという古藤だから、
2:33:25	いいですし、
2:33:30	いいんですけど、
2:33:33	その他は別添で示すっていうので、全体がその共通12の、
2:33:40	関係する部分抜粋ということだと。
2:33:42	思いますけど、別添でさえもう類型化Cなんですよね。
2:33:51	なので、そういう全体の数、別添も含めての方針っていうのは何か書いてもらった方がいいかなと思います。
2:34:03	以降では、そのうち、こういうところを説明し、まとめ、説明しますということでは、
2:34:11	その次に書いてあるのが、
2:34:17	別添でまとめている全体の方針的なことになっているので、その点ではちょっと順番を整理をしていると。
2:34:25	ということだと思うんですけど。
2:34:28	この点二つがすごい曖昧で、
2:34:32	何を言ってるのかわからないんですね。
2:34:34	で、
2:34:37	そこをちゃんと書き下すのかなと思うんですけど、
2:34:43	一つの設備っていうのは、一つの条文だけで構造設計ができるわけじゃないんで、
2:34:52	その関連する条文すべての要求を達成するための構造設計をしています。
2:34:58	なので、一番構造設計に影響を与えている種、
2:35:04	主となる条文と、

2:35:05	いう。
2:35:07	ところ関連するものも含めて、一色説明する方針ですと。
2:35:13	いうことだと思いますのでそれでわかるように書いてください。
2:35:19	レ点の上に一文書いてあるのが、そそれを言いたいところだと思うんですけど、心が書いてないので、それで整理をいただければと思います。
2:35:30	ここまでで、疑問点なりなんなりありますか。
2:35:36	日本原燃清水です。
2:35:38	はい今おっしゃっていただいた方針で、はい。しっかり考え方ここを書きたいと思います。
2:35:46	はい。補足です。その次のダイヤは、
2:35:51	先ほどのカッコ周辺環境等って入りますっていうことを言ったのはこの部分で書かれてきたからなんですけど、
2:35:59	これは書く意味がどれだけあるかと。
2:36:05	いうところなんですけど、
2:36:11	何ですかね。
2:36:19	日本原燃清水です。一応二つ目のダイヤを変えた意図としてはその上のダイヤで、
2:36:27	関連した条文も含めて全部構造設計をしっかりイタレーションして設計します。その整理にあたっては、しっかり条例の要求なり、
2:36:37	から展開して整理したい、整理して示すで整理するに示すにあたっては、ここの設計の際もちょっとしっかり示したいということの方針をちょっと言いたかったところでした。
2:37:02	古作ですちょっとよくわかんないんですけど採用を示すという、よりわあ、その累計として、
2:37:10	どうまとめていくかという時に差異があるものについては、仕分けをして、
2:37:19	同様の差異のあるものをまとめましたとかってそういうことですか。
2:37:26	はいそうですね。はい。日本のシミズすみません。
2:37:30	はいそういうところもはिसいの部分も共通と差があるところをはい。仕分けて類型化してお示するというので整理したいと思います。
2:37:40	古作です。ただですねえ、それもう。
2:37:45	別添の中で書いてあれば、
2:37:47	十分な読むような気もしていて、

2:37:51	開校で、
2:37:52	内容を説明する。
2:37:54	するといったときに、
2:37:58	どうなってますかっていうのは、
2:38:01	結局その関係スルー。
2:38:04	構造設計でポイントとなるものについては一色説明しますと言えば、
2:38:10	それで済むような気がするんですけど。
2:38:14	どうですかね。
2:38:16	はい。日本原燃清水です。確か、おっしゃっていただいた通り一つ目の そもそもダイヤのところで、
2:38:24	別添というのは類型化してお示しするというのをしっかり、
2:38:28	書いて、
2:38:30	利益の話はそちらに預けて、会合でご説明するのは、そういうす際のと ころに着目してご説明しますという趣旨2の展開に見直したいと思いま す。
2:38:44	コサクですその採用っていうのをここで言わなくてもですね、次のペー ジ提示がこれ一つあり、その次のページでもう一つの例示があるという ふうに、
2:38:54	書くときに、
2:38:56	具体のその口頭での説明において、
2:38:59	次、二つ目の例示、三つ目の連中に行った時に先ほどの例示と違うの は、こういう部分ですと。
2:39:07	というようなことを言えばいいだけじゃないんですか。
2:39:14	はい。日本原燃志水はい。ご趣旨理解しましたはい具体の説明の中で、 その旨がわかるように、こういう差異があるんですというところを、具 体の説明の中で展開したいと思います。
2:39:29	はい。なので次のページ以降少し強調するような工夫をし、強調して るのはこういう趣旨ですと。
2:39:40	脇に、
2:39:41	書いてあればいいんじゃないかなと思いますのでよろしくお願いま す。
2:39:47	補足です。
2:39:49	7ページは先ほどの作業のステップなのでこんなの入りませんと。

2:39:56	いうこと。
2:39:58	です。
2:40:00	A B、BはB I Iとかももうそもそも、
2:40:04	その前のページでも言っている話なんで、再掲する必要もないし、
2:40:13	構造設計を考える要件というのを抽出しましたっていう、もう全部当然入れるんでしょっていうだけなので、
2:40:20	不要ですと、
2:40:23	8 ページ。
2:40:30	これは何が言いたいんでしょうか。
2:40:37	日本原燃清水です。すいません。そういう意味ではこの8 ページの結果としてはほとんどいらなくなるんですが、また、もともと書いた意図は、7 ページのす。すいません丸井悪いところですね、作業の流れに沿って作業しましたよということを書いていることだけなので、
2:40:54	そこは説明する必要はないということ会合でご説明するまでもない内容だということは理解しました。
2:41:01	はい。コサクです。あるとしたら、その累計っていうのは、
2:41:06	この後のページ以降に、こういうものをつけますよと。
2:41:11	つける趣旨はこういうことですよというのを書くと、いうことなのかなと思います。
2:41:18	それは先ほど共通 12 で話したように、収納する建屋だとか、そういう趣旨で、確かに、
2:41:29	構造設計として考え方が違うねと。
2:41:32	いうことが見える全体像として1枚1画なら理解ができます。
2:41:38	1枚でいいましたけど、それを、
2:41:43	6 ページでまとめるところにも、
2:41:47	書きちゃいるんだったらまとめて書けばいいし、
2:41:51	少しまとめてきたところでページを分けてというなら分けてもいい。
2:41:55	ある意味、次から図面でしポンチ絵で示すものの目次的になると。
2:42:03	いうところかと思ってます。
2:42:11	いいでしょうか。
2:42:14	はい。日本原燃清水です。はい。今の点、理解しました。ちょっとなるべく6 ページのところの、目次になるような形でちょっと、
2:42:24	資料のほうは見直したいと思っております。はい。

2:42:32	細田です。6 ページというか共通 12 で目次として、別姓じゃない教員 ん。
2:42:40	メッセージだ。
2:42:44	あ、日本医師です。すいません別紙 2 ですねはい。一種 2 のお話をして その目次のところで話したこと、いうのと、その趣旨がちゃんとこの ページに表れるようになっていうことですよ。
2:43:00	日本原燃シミズすいませんちょっと勘違いしましたはい。別紙 2 の久慈 の考え方といいますか、そちら側をこの中で表現して、図具体のポン チ絵の方に繋がるようにしたいと思います。
2:43:13	はい。補足です。9 ページ 10 ページというのがここに具体を示してい くと。
2:43:21	いうところになりますけど、
2:43:27	その前のページ目次的にピックアップしてるので順序に示していけばい いと。
2:43:33	ということですけど、今回それを
2:43:38	防護版で、
2:43:40	示すっていうことでしたよね。
2:43:45	はい。日本原燃シミズですはい。5 番で廃示したいと思っております。
2:43:52	防護パンあコサクです本といっても先ほどの共通 12 で図面結構ありま したけど、どうするおつもりですか。
2:44:03	はい。日本原燃志水です。衛藤。
2:44:08	6 ページ、すいません。
2:44:12	すいません 6 ページですね 6 ページ目でも、いただいたコメントで、そ れを設置する主たる条文もそうですし、関連業務も、
2:44:23	考慮して物を作るんだということの概念は初めに述べますので、そこの 設計のイタレーションといいますか関係性があるところを、
2:44:32	ここの A の中で表、評価の中で表現したいと思ってちょっと具体のもの を、ちょっとどこを示すかという今の佐田。
2:44:41	言い方ですと我々の考え方ですと今の隙間の話になろうかと思っていま す。
2:44:47	古作です。隙間にもいろいろあるんですけど、
2:44:51	それを、そこはあれですかいろいろありますっていうのを示す。
2:44:55	てことですかね。

2:44:58	日本原燃指名です。はい。ちょっともう少しちょっと私の頭の中をちょっと整理させていただいたもらあささせていただいて、
2:45:08	それ何を書くのかをちょっと、
2:45:10	決めたいと思います。
2:45:12	5 番の話は、いつも確保するっていうことに対していろんなバリエーションがあることをちゃんと考えてあげて、そうですね。
2:45:21	はい。ありがとうございます。はい。すいません今イシハラに行ってもらいましたけども。はい。
2:45:27	隙間の設計のバリエーションの考え方っていうのはいい。こういう考えですというのをお示ししたいと思います。
2:45:35	はい。
2:45:37	規制庁コサクです。共通中には、図面としても、
2:45:43	20、
2:45:45	何番まで。
2:45:48	あって、そのうちのどれ。
2:45:52	こういう考えのもと、紹介をしますと、
2:45:56	いうことで、
2:46:01	行っていただいたらいいかな。
2:46:03	そして、それでいう等、
2:46:07	先ほども 9G、別紙に目次のイメージでと申し上げた。
2:46:17	等、現状の 8 ページを加工していくと、加工というか、差し替えると。
2:46:23	いうページは、
2:46:24	竜巻関係脳全体を示す類型として示すということかなと思うんですけど。
2:46:32	そのうち、この部分を、
2:46:36	ていうのは例示としてなので 9 ページの方で例示、
2:46:41	どうこうというのか、8 ページの方に最後に、次ページ以降今回はこういう、こういう観点からこの例示でと。
2:46:49	ということなのか示していただいたらいいかな。
2:46:53	ます。
2:46:54	規制庁の谷です。その時に、井谷に関しては、前にも少しありましたけど、結局貫通評価の話と、高等部として起きてこない話と、今回の話だとその隙間があいて話とかある中で、

2:47:08	要は第1回の時点である程度方向性がもう増えてしまっていて、その範疇から大きく外れないものと、その時点では説明しなかった今回の隙間のものもあるのでかっていう形でその前向きがあれば、何か後でこいつうれしい説明してるのかどうかもわかりやすい気はするので、
2:47:22	かつ、全体として触れた形になればなと思うのでその辺りも考慮していただけると助かります。
2:47:32	はい。日本原燃志水です。はい。今鍛治さんからおっしゃっていただいた、竜巻としての全体の設計のコンセプトといいますか方角のところ、
2:47:42	第1回との関係、それを踏まえて今回、
2:47:46	ここの部分を説明するんだという、ちょっと前回な繋がりを西浦の方書き込みたいと思います。
2:47:52	古作です。もう1点言うと、先ほど言ったところですけど、一条分だけでは対応工数総代会の関係。
2:48:04	ここの部分です。
2:48:09	複数の条文を
2:48:13	受け、それが両方整理するような設計をしなきゃいけないと。
2:48:18	いうことだから関連条文まとめて説明しますよということを最初に述べていただくので、
2:48:25	それがどういう趣旨かというのを説明するにもちょうどいい。
2:48:29	事例だと、いうことだと思いますのでよろしくお願いします。
2:48:35	はい。日本原燃清水承知いたしました。
2:48:43	それでは、規制庁コサクですけど、
2:48:50	それで
2:48:52	デイ・シイ、共通12だとその東海部分でも26図あって、どれを抜いてどうしていくのかっていうのは次回、
2:49:02	明示的に見せていただき、現状のその共通12だと、
2:49:11	どの要求に対してのものなのかっていうのが、番号で書かれちゃってて、表がついてないとわからないと。
2:49:18	いう状況なので、別添の方の表見りゃいいんじゃないかかっていうのは、
2:49:24	あるかもしれないんですけど、
2:49:27	本体だけ見てもわかるように、
2:49:30	行で書いてある要求って何なのかっていうスワー
2:49:34	ちゃんと書いた上で、具体。

2:49:37	確保ですっていうわかるようにしてもらった方がいいかなと思うんですけどよろしいですか。
2:49:44	はい。日本原燃志水承知しました介護資料の本文のところでしたっきり、 どういう要求と関連してこういう構造にしてるんだというのがわかるようにちょっと記載を考えたいと思います。
2:50:00	コサクです本文の方ですっていうとちょっとよくわかんないんですけど、
2:50:05	共通中に図を一つの、パワポのページとしてつけるもんだと思っていて ですね。
2:50:14	その時に、その今吹き出しは今日ありきで書かれているので、今日呼び 込みではなく、その表の具体に書いてあるところ男女何個の、
2:50:25	こういう要求に対して、
2:50:29	実態としてこういう設計をしていますと。
2:50:33	ということが図面だけでわかるように書いてくださいという趣旨だったん ですけど、よろしいですか。
2:50:40	はい。日本原電シミズです。承知しました。この会合資料につけるこの ポンチ絵の中でしっかり所要求との繋がりだからこういう構造にするん だという吹き出しに繋がるように記載をしたいと思います。
2:50:55	はい、古作ですよろしくお願ひします。その上で、別添だとの部分で すっていうのがわかるように書いといてもらおうと、こっ表の方に持って いけると。
2:51:05	いう形になると思いますのでよろしくお願ひします。
2:51:11	はい。日本原燃清水承知いたしました。
2:51:20	他、規制庁側から質問ある方いらっしゃいますでしょうか。
2:51:28	いないようですので原燃側から振り返りと、スケジュールの方をお願ひ します。
2:51:38	さ。
2:51:40	はい。日本原燃清水です。
2:51:41	まずは、介護資料の方ですけども 6 ページ目の一つ目のダイヤですね。
2:51:48	こちら、まず別添も累計して整理しているんだということがわかる趣旨 であったり、
2:51:55	一つの条文その専門を設置する主たる条文、

2:52:00	の設計にあたっては、ちゃんと構造設計にあたっては、関連条文も踏まえて、物を構造的を考えるんだという趣旨がわかるように、資料の方が押したいと思います。
2:52:12	で、
2:52:14	7 ページ目以降の作業の御説明みたいなところは全面的にちょっと見直しまして、6 ページから綱の次の展開として、
2:52:25	この竜巻の構造設計として、
2:52:29	どういうものを共通中に目次ですか。
2:52:34	奥。その全体像がわかるようにするというのと、それらの竜巻設計の全体の主たる設計コンセプトで言えば、設計の考え方をお示しして、そのうち第 1 回との関係で、
2:52:49	ここも示した上で、今回ご説明するのがこの、この部分なんだっていう、なぜこの部分を説明するんだということがわかるようにちょっと資料の方流れるようにちょっと記載の方検討したいと思います。
2:53:01	実際のための具体の説明の中では、共通 12 で添付しております遠地概要図のところを具体的に使って説明していくんですけども、
2:53:14	その説明にあたっては、しっかり所、どの条文要求との関係だということができるような記載にするということと、別添で作る、つける整理表との関係もしっかり
2:53:25	繋がるように惜しみ資料のほうを示したいと思っております。
2:53:29	はい資料のペイジーですけども、今週金曜日にご提示できるように資料の方を全面見直したいと思います。
2:53:40	はい。以上でございます。
2:53:43	ありがとうございました。それでは、規制庁側から何か質問ある方いらっしゃいますでしょうか。
2:53:53	ないようですので
2:53:55	最後に原燃側、規制庁側から連絡事項ある方いらっしゃいますでしょうか。
2:54:03	連絡等特にありません。ありがとうございました。
2:54:06	はい。
2:54:07	それではこれでヒアリング本日のヒアリングを終了します。お疲れ様でした。
2:54:11	5 分程度。

